

駒ヶ根市日本語学習システム

# オリジナル学習教材



平成 26 年 3 月

## はじめに

駒ヶ根市は長野県の南部、中央アルプスと南アルプスに囲まれた人口 33,000 人の自然豊かなまちです。当市には現在、32 カ国・地域、約 600 人の外国籍の方が住んでいます。ピーク時には 1,000 人を超す外国籍住民が居住していましたが、平成 20 年秋のリーマンショックを契機に急減しました。しかしながら、長期的には増加傾向にあり、なおかつ定住化が進んでいます。

こうした中、日本人と外国人との間に生じうる「心の壁」の解消を目指し、市民が主体となった効果的な日本語学習の仕組み（「駒ヶ根市日本語学習システム」）づくりに着手し、平成 24 年度から運用を開始しました。

この日本語教室の特徴は、「病院」「あいさつ」「冬の生活」など、当市の風土に密着したテーマの授業を、ボランティアが主体となって実施することです。日本語教師の資格を持つ「日本語コーディネーター」を中心に、どうすれば駒ヶ根市での生活に役立つ教室が継続できるか、日々議論を重ねてきました。

この教材は、ボランティアの方々が試行錯誤を重ねた 2 年間（24、25 年度）の取り組みの結晶です。実施した教室で得た知見をベースに、多くの方に使ってもらうための一般化を試みました。最初から順番に使う必要はありません。目次を眺め、関心のあるページから開いていただければと思います。

最後になりますが、当市の日本語教室に真剣に向き合い、教材執筆にも尽力くださった日本語コーディネーターの松岡純子さんとボランティアの皆様、教室に参加し改善に向けた貴重なご意見をお寄せくださる学習者の皆様、そのほか本事業を支えてくださるすべての皆様にこの場を借りて御礼申しあげます。

平成 26 年 3 月 駒ヶ根市企画課

この教材は、日本語を少し理解する外国人に対し、駒ヶ根市の生活に密着した日本語を指導しようとする方の参考になればと作成しました。教材に頻出する用語について、以下に説明します。

コーディネーター…日本語教室の企画、教案指導等をする方

指導者的日本語ボランティア…教壇に立ち、実際に日本語指導をするボランティア

サポーター…学習者に寄り添い、レベルに合わせた支援をするボランティア

ゲスト…学習内容について専門的な知識を有する方

〜〜 本教材の見方・使い方 〜

No.	病院	総合病院の受付で診療申込書もらったけれど...	活動のタイトルです
<背景>		<p>活動を実施するに至った背景です。</p> <p>私たちの教室では駒ヶ根市の生活に密着した場面や話題を取り上げています。駒ヶ根で暮らす外国人が感じる「言葉の壁」を明らかにする手がかりにもなります</p>	活動内容の分類テーマです
<学習目標・ねらい>		この活動での学習目標・ねらいです。この目標が達成できるよう意識することを心掛けています	<p>会話</p> <p>会話・読み</p> <p>学習のタイプを示しています。会話学習、又は会話・読み学習の2つのタイプがあります</p>
<準備するもの>		活動で使用するものです	
<ゲスト>			学習目標達成のため教室にお招きした外部の専門家の方々です
活動の流れ	進行 (学習者の発話は「→」の後、※小文字は心得)	備考 (教材等)	
導入	・~~~~~		活動を牽引するボランティアの発話内容です。「ボランティアの台詞」ともいえるものです
活動①○○○○	→~~~~~		ボランティアの問いかけや指示に対し、予想される学習者の発話内容です
各活動のテーマ			
まとめ①	※~~~~~		ボランティアが活動を牽引する上で有用な情報、学習者をサポートするボランティア (サポーター) の動きなどです
活動②○○○○			
サポーターと話す			
サポーターと一緒に書く			
発表する			
ゲストの話聞く			
まとめ②			使用する副教材や、説明が必要と思われる語彙です
各活動をふり返り、サポーターらとまとめます。主に学習者による発表を行います			
終わりに			活動の最後に学習内容をふり返り、わかったこと、覚えたいこと、感想などを話したり、書いたりする時間です。活動をやりっぱなしにするのではなく、振り返ることで定着を図ることがねらいです

<駒ヶ根 ごほれ話>

駒ヶ根の地域情報や、教室でのエピソードなどです。ここを読むと、駒ヶ根市、私たちの教室、そこに参加するボランティアや学習者像が見えてくることと思います。是非、読んでください!

～～～\* \* \* もくじ \* \* \*～～～

1. はじめに・・・ i  
 2. 本教材（活動案）の見方・使い方・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ii

No.	分類テーマ	タイトル	活動のタイプ	
1	安全(防災)	火事を伝えることができる	会話	・ ・ 2
2	安全(交通)	雪道の歩き方と運転の仕方	会話	・ ・ 5
3	病院	総合病院の受付で診療申込書をもらったけれど・・・	会話・読み	・ ・ 7
4	病院	問診票で聞かれること	会話・読み	・ ・ 9
5	病院	市報から日曜日の病院情報を読み取って、電話する	会話・読み	・ ・ 12
6	薬局	薬局で薬を買う時に困ったことってある？	会話	・ ・ 15
7	薬局	市販の薬箱の表示に何が書いてある？（用法・用量・効能）	会話・読み	・ ・ 18
8	薬局	市販の薬箱の表示に何が書いてある？（用法・注意書）	会話・読み	・ ・ 21
9	健康	健康診断の問診票で聞かれていることについて	会話・読み	・ ・ 23
10	健康	健康保険の皆保険制度ってなんだろう	会話・読み	・ ・ 25
11	健康	夏の健康予防 熱中症について聞いて、話して、伝える	会話	・ ・ 28
12	健康	冬に罹りやすい病気について、予防方法、対処方法を友人に話す	会話	・ ・ 31
13	健康	太らない体をつくるためにはどうしたらいいか話す	会話	・ ・ 33
14	買物	あれ、なんて言うんだっけ！？ 日本語で説明してみよう	会話	・ ・ 35
15	買物	商品表示・店内表示を読んで、お得に買物しよう!!	会話・読み	・ ・ 38
16	買物	交換・返品の申し出を上手に伝えられる？	会話	・ ・ 41
17	買物	レストランで上手に変更依頼・クレームを言えるようになろう!!	会話	・ ・ 44
18	美容	美容院でなりたい髪型を伝える	会話	・ ・ 47
19	美容	毎日の洗顔、どうしていますか？ 肌は体内の調子から!!	会話	・ ・ 49
20	美容	春に似合うメイク、メイクの言葉	会話・読み	・ ・ 52
21	行政	市役所での届出や手続き、受けられるサービスについて	会話・読み	・ ・ 54
22	文化	おせちの由来・調理方法を聞き、説明・調理できるようになろう！	会話	・ ・ 56
23	文化	入学祝に関する習慣について	会話	・ ・ 58
24	文化	日本の入学式ってどんなことをするの？	会話	・ ・ 61
25	人間関係	来客① どんな言葉づかいがいいの？ 席順があるの？	会話	・ ・ 63
26	人間関係	来客② 席順って難しい！？（座敷・会議室・車・エレベーター）	会話	・ ・ 66
27	人間関係	訪問 手土産を渡す時、どうしてる？	会話	・ ・ 69
28	人間関係	ちょっとしたお礼が言える、ちょっとした話ができる	会話	・ ・ 72
29	人間関係	日本の文化や習慣を友人にきいてみる	会話	・ ・ 75
30	人間関係	地域行事のお知らせがきたけれど・・・	会話	・ ・ 78
31	人間関係	友達や同僚に上手にお願いをしたり、誘いを断ったりできる！？	会話	・ ・ 81
32	電話対応	電話対応どうしてる？ 緊張する？	会話	・ ・ 84
33	電話対応	忘年会の幹事になって、電話でお店の人と交渉しよう!!	会話	・ ・ 87

資料・・・ 90

1	防災	火事を伝えることができる
---	----	--------------

**<背景>**

寒い冬が到来しました。空気が乾燥しているため、風邪に罹りやすいだけでなく、火事も心配です。火事が起きたら動揺して日本人でも冷静に119番できるかどうか・・・ましてや外国人はなおさらです。命に関わることなので、できないでは済まされません。一度でもシミュレーションしておけば、実場面でも何とかできるのではないのでしょうか。

そのような思いで、実際に消防士さんにお越しいただき、119番するとき「最低限必要な情報は何か」を説明いただきます。

今回の授業はこれだけではありません。消防署の全面協力のもと、実際に119番をかけて消防士さんに対応していただきます。当然ですが、学習者には直前まで119番してもらうことを伝えません。今から学習者の反応が楽しみです。

**<学習目標・ねらい>**

火事発生時、必要な情報を119番に伝えることができる。

会話

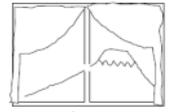
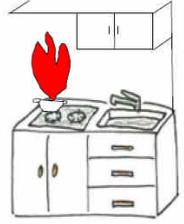
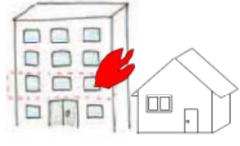
**<準備するもの>**

今日のゴール(絵と文)、A4用紙、ホワイトボード(WB)小、駒ヶ根市文化センター付近・郵便局・および農協付近の写真、ストーブとカーテンの絵、台所と天井の絵、ビルと隣の家々の絵、携帯電話

**<ゲスト> あり(消防士)**

活動の流れ	進行 (学習者の発話は「→」の後、※小文字は心得)	備考(教材等)
<b>導入①</b> イメージをつかむ① 学習者に質問の投げかけ  イメージをつかむ② 学習目標の提示	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本では冬になると火事になりやすいです。</li> <li>・もし、火事になった場合、どうしますか。</li> </ul> <p>→火を消す/家の人に言う/消防車を呼ぶ</p> <p>※発話内容をホワイトボードに板書する。その際、ひらがなのみ、漢字+ひらがななど、学習者の日本語水準により使い分ける</p>	
<b>活動①</b> 119番に伝える情報について サポーターと話す	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分で火を消そうとしても消せない場合があります。また、家の人がいなくてもあります。そこで、今日は「火事のとて、必要な情報を伝えることができる」ように勉強します。</li> </ul> <p>※今日のゴール(絵)と今日のゴール(文)を学習者に提示し、学習目標を共有化する</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> <li>・次の様な場面で火事が起きました。119番に電話します。その時、何を伝えれば良いですか。隣のサポーターと話して下さい。場面は“自宅が火事です。ストーブから火が出ています。火がカーテンに燃え移りました。</li> </ul> <p>※上記場面設定をWB大に板書しておく。</p> <p>※学習者に、会話の中で覚えてたい言葉や気が付いた言葉等を記録するためA4用紙を配布する。</p> <p>※学習者とサポーターとの会話を円滑に行うため、メモ用紙の代わりとしてWB小を活用する</p>	提示： 今日のゴール(絵)、今日のゴール(文)     配布：A4用紙 使用：WB小

<p>ゲストと話す</p> <p><b>まとめ①</b> ゲストの話を聞く</p> <p>単語の説明</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ それでは実際に 119 番をするつもりでゲストの消防士さんと話してください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>消：火事ですか、救急ですか</li> <li>学：家事です</li> <li>消：場所はどちらですか</li> <li>学：自宅です</li> <li>消：住所を教えてください</li> <li>学：駒ヶ根市〇〇〇の△△△です</li> <li>消：どこから火が出ていますか</li> <li>学：ストーブからです。</li> <li>消：どのような状況ですか</li> <li>学：火がカーテンに燃え移りました</li> <li>消：けが人はいますか、</li> <li>学：いません。皆外に出ています。</li> </ul> </li> </ul> <p>※ゲストと会話を行う学習者の人数は時間配分を考えて決める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今、消防士さんと 119 番をしたつもりで話しをしました。それでは消防士さんから火事起きた場合、伝えて欲しい情報を話してもらいます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>【消】・ 火事か救急か？ <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 発生場所の住所。 (住所が分からない場合は目印となる目標物)</li> <li>・ 火元と火事の状況</li> <li>・ けが人がいるか。いた場合のけが人の状態</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul> <p>※ゲストの話を聞く際、学習者が理解できないと思われる単語を WB 大に板書する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 難しい言葉を書きました。皆さん分かりますか。 <ul style="list-style-type: none"> <li>※学習者が理解できないと思われる単語の説明を行う。(例：救急、目標物、状況)</li> <li>※学習者から質問があれば時間を区切って受け付ける。</li> </ul> </li> </ul>	
<p><b>活動②</b> 住所不明時の対応方法 メインと話す</p> <p><b>まとめ②</b> サポーターと話す</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 火事がおきた場所が自分の家であれば住所を言うことができます。しかし、買い物に行く途中で火事を見つけたときなど、住所が分からない時はどのように 119 番に伝えますか？ →〇〇のとなり/〇〇の近く</li> <li>・ 住所が分からない場合“〇〇の近く”と言え、消防車が行くことができます。では練習です。皆さんは友達の家遊びに行きました。友達の家はこの写真の建物の近くにあり、友達の家が火事になりました。どのように 119 番に伝えますか。隣のサポーターと話してください →駒ヶ根市文化センターの近く/郵便局の近く/農協の近く ※目標物となる駒ヶ根市文化センター、郵便局、農協の建物自体の写真および周辺の写真を撮って、その写真を学習者に見せる。そして周辺の写真から目標物が何</li> </ul>	<p>提示： 駒ヶ根市文化センター付近の写真。 郵便局および農協付近の写真</p> 

<p>活動③ 火元の言い換え演習 メインと話す</p>	<p>かを推測してもらう。分からない場合、建物自体の写真を見せる</p> <p>・火事が起きた場所を伝えることができました。それでは次にどこから火が出ているか言って下さい。 →ストーブから/台所から/2階から火がでています。 ※学習者に火元(ストーブ, 台所, 2階)の絵を見せてどこから火が出ているか尋ねる</p>	<p>提示： ストーブとカーテンの絵、台所と天井の絵、ビルと隣の家の絵、</p>  
<p>活動④ “燃え移る”の言い方演習 メインと話す</p>	<p>・次に、火事がどのようなようになったかを説明する練習をします。最初ストーブから火がでました。その後、カーテンが燃えました。このような時、“火がカーテンに燃え移りました”と言います。次の場合どのように言いますか。 →カーテンに/天井に/隣の家に燃え移りました。 ※学習者にカーテン、天井、隣の家の絵を見せてどこに燃え移ったか尋ねる ※学習者の理解度により「燃え移る」の語彙説明を行う</p>	
<p>活動⑤ 火事を想定した演習 サポーターと話す</p>	<p>・最後に次の場面で火事が起きました。119番にどのように伝えればよいかサポーターと話して下さい ※学習者に下記場面を提示する</p> <p>「1. ①駒ヶ根文化センターの近く、②ストーブ、③カーテン」 「2. ①郵便局の近く、②台所、③天井」 「3. ①農協の近く、②2階、③隣の家」 ※学習者とサポーターの会話例は“活動①ゲストと話す”を参考下さい</p>	 <p>使用：携帯電話</p>
<p>まとめ⑤ 実際に119番へ電話する</p>	<p>・では<b>実際に119番に電話をして</b>サポーターと話した内容を伝えてください。 ※119番通報に通話料は掛かりません。事前に携帯電話会社に確認下さい</p>	
<p>終わりに ゲストの話を聞く</p>	<p>・それでは消防士さんに119番に伝えた内容について、良かった点と注意点を説明してもらいます。 ※時間が許せば、消防士に今回の感想も述べて戴く</p>	

<駒ヶ根 こぼれ話>

思ったとおり学習者は緊張した面持ちで119番していました。なぜか私も緊張しておりました。小心者ですね。消防署に119番を実際にかけてさせていただきたいと依頼した際、消防署から本教室へリクエストがありました。

それは「“日本語ができる人にかわってください”と流れる多言語版音声メッセージがあるのだが、今まで一度も使用したことがない。そこで、この多言語版音声メッセージが正しいか確認してほしい」とのことです。授業の最後に学習者にそれぞれの音声を聞いて理解できたか確認しました。結果は理解でき、そして機器の操作ボタンについてもわかったようで、お互いに協力できました。地域に貢献できてよかったです。



2	交通安全	雪道の歩き方と運転の仕方
---	------	--------------

**<背景>**  
 日本で生活する外国人は南方出身の人が多く、雪道の歩き方、運転の仕方に不慣れな人が多い。したがって、厳冬期を迎えるに当たって対応策を話し合う。

<b>&lt;学習目標・ねらい&gt;</b> ① 雪道の歩き方、運転の仕方、その他注意することを理解し話すことができる。 ② ~と~、~ので~ の表現を理解し使えるようにする。	会話・読み
---	-------

**<準備するもの>**  
 ノーマルタイヤ、スタッドレスタイヤの写真・説明資料 FF・4WDなどの説明資料

**<ゲスト>**

活動の流れ	進行 (学習者の発話は「→」の後、※小文字は心得)	備考 (教材等)
<b>導入</b> 学習者に質問を投げかける。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ これからもっとも寒い冬になります。                どんな準備をしましたか?                ※学習者に準備したことを一人一人答えてもらう。                → 不凍栓の水抜き／水道管のヒーター／こたつ                灯油タンク／塩カル準備／防寒靴／タイヤ履き替え</li> <li>・ 今日、               <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 雪道を歩くときに気を付けること。</li> <li>2. 雪道を運転するときに気を付けることを話します。</li> </ol>               ※学習者とボランティアでペアを組みグループとする。             </li> </ul>	
<b>活動① 雪道の歩き方</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 雪道ですべてって転んだ事がありますか?                ※学習者に答えてもらう。                ※どうして転んだかも話してもらう。</li> <li>→ つるつるの靴ですべてって転びました。                「~と~」の導入                つるつるの靴で歩くとすべります。                ※ほかにどうするとすべりやすいかグループごとに話し合い                「~と~」を使ってWBに書き出してもらう。                全グループ書き上がったならそれぞれ発表してもらう。</li> </ul>	
<b>まとめ①</b>	※ゲストにまとめとして追加説明などしてもらう。 道が狭くなるので車に気を付ける。 軒下にいると屋根から雪が落ちてきて埋まる。 電線につもった雪が落ちてくるので注意 ※学習者とボランティアのペアを交代する。	
<b>活動② 雪道の車の運転</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 雪道を運転するときどうすると事故になりますか?</li> </ul>	



- 急ブレーキをかけます。
- ・急ブレーキをかけるとどうなりますか？
- スリップします。
- ・スリップするとどうなりますか？
- 事故になります。

※～、～ので～の導入

急ブレーキをかけるとスリップするので事故になります。

※ほかにどうすると事故になりやすいかグループで話し合い

※ホワイトボードに書き出してもらおう。

※「～と～、～ので～」の文型を使う。

- スピードをだすと急に止まれないので事故になる。
- 急ハンドルをするとスリップするので事故になる。
- 車間距離が短いと止まれないので事故になる。
- スタッドレスタイヤに変えないとスリップしやすいので事故になりやすい。



※スタッドレスタイヤの説明

ゴムがやわらかく溝が多く深いのですべりにくい。

ゴムがやわらかいので摩耗しやすい。

プラットホームマークまで減ってきたら交換する。

寿命は通常3年～5年

タイヤの側面に矢印がありその位置にプラットホームがある。

・車のタイプについての説明

FF、FR、RR、4WDの説明図により説明。

4WD>FF>FR≒RR の順で雪道に強い。

・ゲストに補足説明などしてもらおう

※日頃感じていることなど質問等を警察署の人に回答してもらおう。

平タイヤ、スタッドレスタイヤの写真

FF、FR、RR  
4WDの説明図

危険箇所マップ



まとめ②

終わりに

## < 駒ヶ根 こぼれ話 >

駒ヶ根市は長野県の南部、伊那谷のほぼ中央に位置します。同時に日本のほぼ中央でもあります。西に駒ヶ岳、空木岳、南駒ヶ岳など中央アルプス、東に甲斐駒ヶ岳、仙丈、北岳、間ノ岳、塩見岳など南アルプス諸峰を望み、大変雄大な景色のところどころです。

春は、桜、花桃、ツツジなどの写真を撮りに全国から写真家が集まります。夏は最高気温33℃くらいで暑いですが、からっとしてクーラーがなくても過ごせるくらいです。秋は紅葉。ロープウェイで千畳敷に上がれば見事な紅葉が楽しめます。冬、最低気温はマイナス十数度になり、北海道の札幌並になることもあります。雪は少ないです。

外国人は2%くらい。リーマン後急減しましたが回復しつつあるようです。

3	病院	総合病院の受付で診療申込書をもらったけれど・・・
---	----	--------------------------

**<背景>**

総合病院の受付で診療申し込みをする際、私たち日本人でも記入の際は間違いがないか気をつけるので、読み書きが苦手だとか、漢字が読めない外国人にとっては大きな関門に思えるのではないのでしょうか。そんな思いを持って申込書を見ると、自分の生年月日はわかって、和暦の年号は外国人にとっては分かりにくいのかも・・・とか、漢字表記の診療科も見ただけでは分かりにくいのかも・・・と想像しました。また、説明などは相手に失礼がないように丁寧な表現が使われ、固い言葉も多いです。読んでわかる人もいれば、読んでもらってもわからない人もいるでしょう。具合が悪くて訪れた病院なのに、入口に入って早々に頭が痛くなるような関門が待っているのでは、嫌ですよ。

こういった言葉の壁を取り除く方法はいくつか考えられますが、あなたが伝えようと思ってやさしい日本語に言い換えて例を見せながら話したら、通じることは多いはず！！健康はお金に変えられませんから、自分自身でも関門を突破できるように市内の総合病院の受付の流れを知ることや、ちょっとした協力を求める表現ができるようになることも大切ではないかと考えました。

**<学習目標・ねらい>**

総合病院の受付で書く診療申込書の内容がわかる

会話・読み

**<準備するもの>**

市内の総合病院の診療申込書と記入方法の説明書き、記入方法の説明1の書き下し文、市内の総合病院の外観画像、保険証

**<ゲスト> あり（長野県看護大学教員（看護師）、看護大学生）**

活動の流れ	進行（学習者の発話は「→」の後、※小文字は心得）	備考（教材等）
<p><b>導入</b></p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・風邪のとき、病気の時、どこの病院へいきますか。（手をあげてもらおう）</li> <li>・一人でいきましたか。家族と？それとも友達と？通訳と一緒に？</li> <li>・その時困ったことはありますか。</li> <li>・病院へ行ったときに、「（紙を渡されて）これに書いて下さい」と言われたことはありますか。</li> <li>・初めて病院へ行ったとき、どんなことを書きますか。</li> <li>・皆さんの国ではどうですか。</li> </ul> <p>※問診票のようなものを書いたことがあればよいが、なければ初診の際に必ず記入が必要となることを説明する</p> <p>※もし学習者の中に“問診票”を知っている方がいれば、知らない人に簡単に説明してもらおう</p>	<p>提示：</p> <p>市内の総合病院画像</p> <p>配布：</p> <p>診療申込書、診療申込書記入方法</p>
<p><b>活動①</b> 記入方法の説明書きを読む</p> <p>サポーターと話す</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ここはどこですか。〇〇病院へ行ったことがありますか。</li> <li>・例えば、初めて〇〇病院へ行きました。これを書きます。</li> </ul> <p>※診療申込書、診察申込書記入方法を配布</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これは診察申込書の書き方の説明です。読むことができますか。</li> </ul> <p>※注意事項の1を読む。意味がわかるか確認。 やさしい言葉に言いかえる。</p>	

<p>サポーターと一緒に書く サポーターと一緒に読む</p> <p>まとめ①</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「1. 下記のとおり赤線の枠内に記入してください。」→「(赤線の枠を指して)ここを見て、同じように書いてください。」</li> <li>・サポーターは最初に読むことができるか聞いてから、書いてある通りに読んでください。そのあとに、意味がわかるか聞いて、やさしい言葉に言い換えてください。それを紙に書いて。できたらそれを読んでください。</li> <li>・他の人が書いたものを見ましょう。 ※紙を交換する、または立って読む。一緒に取り組んだ学習者とサポーターが一緒に行動になるようにする。一人でやらない。</li> </ul>	<p>提示： 説明1の書き下し文</p> 
<p>活動② 初診の診察申込書に何を書く？どこに書く？</p> <p>サポーターと話す</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・書き方の説明がわかりました。 次に、この申込書の中でわかるものがありますか。わかること、わからないことをサポーターに話してください。 ※サポーターは学習者のわかること、わからないことを紙に記録 ※サポーターは学習者が話し始めやすいように「これはわかりますか」など適宜はなしかけるようにする。 ※サポーターは学習者が気になる言葉、必要な内容・項目が出てくればそちらを優先して対応するが、下記代表的な語句を確認するようにする。 例：初診、保険証、記入、住所（現住所）、氏名、生年月日、年齢（歳・才）、連絡先、職業紹介状（/かかりつけ医）など。</li> </ul>	<p>語彙確認： 紹介状、かかりつけ医</p>
<p>まとめ② 発表する</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ではこれに何を書きますか。話したことを教えてください。 →名前、住所、仕事（職業）、誕生日（生年月日）、行きたい科（受診希望の科）・・・ ※上記に挙げた代表的な語彙について確認するようにする。そのほか学習者の興味関心のあったものについても発表してもらう。</li> <li>※その他に確認以下のことも確認する <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 一緒に出す物があるか → 紹介状</li> <li>2. 受診者の意味は？ → 見てもらう人</li> <li>3. 被保険者はだれ？ → 各自保険証で確認</li> <li>4. 被保険者との続柄は？ → 各自確認</li> </ol> </li> </ul>	<p>提示： 保険証</p> 
<p>終わりに サポーターと一緒に書く</p>	<p>※診療申し込みに実際に記入してみる ※今日覚えたこと、覚えたいこと、感想を参加者全員発表</p>	

**<駒ヶ根 こぼれ話>**

駒ヶ根市内の総合病院の受付から診察までに2つの受付を通るそうです。最初の総合受付と診療科の受付があるのだそうです。その受付が済んだら問診票の記入や看護師とのやり取りを経て診察になるようです。

4	病院	問診票で聞かれること
---	----	------------

**<背景>**

漠然と問診票を書くという行為は難しいだろうと思い、当初は問診票を題材に聞かれることについて話す活動のみを考えていました。しかし私たちは内科で診てもらえる病気ばかりするわけではなく、整形外科や外科にかかることもあり、また検査や健康診断など、問診票は多種多様であることに気づきました。

今日、「多言語の問診票」とネットで調べるとたくさん出てきますし、長野県でも「外国籍県民医療のための問診票 長野県」とネットで検索し、ダウンロードして利用できるようになっています。

教室ではこういった情報を周知するとともに、共通して聞かれる「いつから、どこが、どうして、どのように痛い」という情報をどんなふう言えば伝わるか、話し合うことを取り上げてみました。

これは、現場の看護師の方への聞き取りの中で「外来に来た患者さんへの処置について緊急性が高いかどうかを一番に判断するために5W1Hの質問をする」とおっしゃっていたことから、必要性が高いと伺えますね。

**<学習目標・ねらい>**

問診票がイメージでき、看護師に尋ねながら書けるまたは応えられるようになる。

会話・読み

**<準備するもの>**

市内の総合病院の問診票、長野県の「外国籍県民医療のための問診票」のうちの【問診】と「全身症状」の箇所を日本語を消して加工したものと原本、「発熱」の書き下し文

**<ゲスト>** あり（長野県看護大教授（看護師）、看護学生）

活動の流れ	進行（学習者の発話は「→」の後、※小文字は心得）	備考（教材等）
<b>導入</b>	※ゲストの紹介 ・例えば熱があります。病院へ行きました。最初に何をしますか。 →受付 ・それから？ →待つ。熱を計る、看護師と話す ・それから、ようやく医者に診てもらいますね。 ・医者にどうしたか、どこが痛い、いつから…話しますね。こういうの何と言いますか、医者にしよ…を話す。 →症状 ・症状を上手に話すことができますか。 ・症状を医者に話す前に看護師と話したり、紙に書いたりしますよね。この症状を書く紙を何と言いますか。も… →問診票 ・問診票書いたことがありますか。皆さんの国の言葉の問診票がある病院はありますか。 ・今日は問診票を見ながら、症状を上手に伝えるにはどうしたらいいかを話します。	語彙確認： 症状 問診票
<b>活動①</b> 記入方法の説明書き	・例えばお腹が痛くて病院へ行きました。症状を話す時、「お腹が	

<p>を読む サポーターと話す</p> <p><b>まとめ①</b> 発表する ゲストの話を聞く</p>	<p>痛いです」「どこが」「どうした」の他にどんなことをいいますか。 サポーターと話してホワイトボードに書いてください。</p> <p>※書くのは学習者の様子を見てどちらが書くか話して決める。</p> <p>・「お腹が痛いです」「どこが」「どうした」の他に何を話しますか。 →いつから／どうして（何を）／どんなふう（どのくらい） ※板書する いつから／どこが／どうして（何を）／誰が（自分・家族）／どんなふう／どのくらい／どうした」</p> <p>※看護師に補足してもらおう。この5W1H when, where, why, who, how (how much), what を意識して話すことが大切だということ、どうして大切かを押さえる。</p> <p>※症状を伝える例文を提示して、伝える内容が十分か確認する。 例：私は 昨日、〇〇を食べてから お腹が ゆるくなって、今日も少し痛いです。</p>	<p>提示： 症状を伝える例文</p>
<p><b>活動②</b> 長野県外国籍県民のための問診票をつかって5W1Hの表現を言ってみる</p> <p>サポーターと話す サポーターと読む</p> 	<p>・今日の問診票は皆さんの国の言葉と日本語と両方あります。 長野県のホームページからダウンロードできます。 ※アドレスを紹介する</p> <p>※日本語を消した各国語のみに加工した問診票を学習者に、 加工前の日本語が印刷されたままの物をサポーターに配布</p> <p>・「どのような症状ですか」を見てください。皆さんはこれ、日本語で言えますか。 ※同様に「いつからですか」「症状はどの程度ですか」についても聞いてみる。 ※「いつから」についてはここで5つ全ての言い方を確認しておく。</p> <p>※サポーターが持っている問診票を学習者に見せる</p> <p>・最初に国の言葉のみの問診票を見て、日本語で何と言うか考えて言ってみてください。あまり長く考えないでください。 サポーターは日本語が付いている問診票を見ながら、聞いてください。</p> <p>・次に日本語も一緒に見てください。漢字もあります。学習者の皆さんは「症状」と「症状はどの程度ですか」のところを読んでください。</p> <p>・わからない漢字、例えば「発熱」これがわからない時、サポーターはそのまま読んでください。それからやさしい言葉で何と言うか一緒に考えてください。 言い換えた言葉を問診票の余白に書いてください。 ※例：発熱：ねつがあります。</p> <p>※症状は全部やらなくてもいい、「発熱」から「眠れない」までを基本とし、できる</p>	<p>配布： 長野県外国籍県民のための問診票のうちの【問診】と【全身症状】の図の前までのもので、日本語を消したものと、原本のままのものを用意</p> <p>※言語によってページ数が異なるので注意</p> <p>提示： 発熱の書き下し文</p>

<p>まとめ② サポーターと一緒に読む</p>	<p>人は「しびれるところがある」から「しこりがある」までとする ※症状が終わったら「どの程度」について述べる表現を同じ要領でやる。</p> <p>※看護師、看護学生に間に入ってもらうか、いろいろ回ってみてもらう。</p> <p>※問診票にある以外のことが知りたい、言いたいかもしれないので、切り上げないで一緒に考える。</p> <p>※それぞれのペアで書いたシートを学習者が読む</p>	
<p>終わりに</p> 	<p>・ 今日、話した「症状」、「いつから」、「症状はどの程度ですか」の3つを使って、会話をしてみましょう。</p> <p>※各国語のみのシートを使い、一緒に話したサポーターに3つの項目にそれぞれ✓をいれてもらう。</p> <p>※その✓が入ったシートを基に、学習者と看護師、看護学生でロールプレイをする。</p> <p>※会話例：</p> <p>A: どうしましたか。 B: 熱があります。それからだるいです。 A: いつからですか。 B: ○日前からです。 A: だるい症状はどの程度ですか。 B: ずっと続いています。 A: そうですか。わかりました。</p> <p>・ 今日は「5W1H」のうち「いつから (when)」「どこが (where)」「どの程度 (how much)」「どうした (what)」を話しました。</p> <p>※今日、やったことをふり返る ※今日覚えたこと、覚えたいこと、感想を参加者全員発表</p>	

<p>&lt; 駒ヶ根 こぼれ話 &gt;</p>	<p>看護師さんへの聞き取りを終え、私はこんなことを感じました。どうということなら日本語で言えるのか、自分自身が把握しておくことも大切だということです。病院が必要と判断する以外は基本的には患者自身が必要に応じて通訳を手配するのだとか…。そうになると頼める人がいても、時間や内容によって事情が変わることもありえますし、全く日本語ができないといつも誰かの手を借りて動かななくてはならず、もどかしいと感じることもあるのではないかと思います。</p> <p>だからこそ、自分の言葉でどんなことを伝えられるのか、日本語教室の場を利用して知っておくというのも有効なのではないかと思います。</p>
---------------------------	--

長野県 HP より 「外国籍県民医療のための問診票」

<http://www.pref.nagano.lg.jp/iryo/kenko/iryo/hoken/gaikokuseki.html>

5	病院	市報から日曜日の病院情報を読み取って電話する
---	----	------------------------

<背景>

今日は日曜日。自宅でのんびり過ごしています。そのような午後、突然おなかが痛くなりました。いつも行く病院は今日お休みです。救急車を呼ぶほどではありません。病院で診てもらいたいのですが、今日開いている病院を探すにはどうすれば良いのでしょうか？ また、仮に分かったとしても、どうやってその病院まで行けばよいのでしょうか？ 日本人でも良く分からないと思います。外国人であればなおさら分からないのでないでしょうか。そこで、今回はこのような事態になったとき、どのようにすれば良いか考えます。

<学習目標・ねらい>

- ①市報から日曜日に診察可能な病院が書いてある個所を見つけ出せる
- ②日曜日に受診可能な病院へ行くことができる

会話

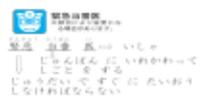
<準備するもの>

駒ヶ根市市報

<ゲスト>

なし

活動の流れ	進行 (学習者の発話は「→」の後、※小文字は心得)	備考 (教材等)
<p><b>導入①</b></p> <p>イメージをつかむ① 学習者に質問の投げかけ</p> <p>イメージをつかむ② 学習目標の提示</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 皆さん仕事をしていますか？仕事をしていると簡単に休むことはできませんね。私の経験を話します。ある日曜日、私は熱があるため寝ていました。明日、月曜日に名古屋へ出張しなければなりません。しかし、熱が下がりません。そこで病院で注射をして熱を下げたいと思うのですが、どこの病院が開いているか分かりません。このようなときどうすれば良いのでしょうか。</li> <li>→ 家の人に聞く/インターネットで探す</li> <li>※ 発話内容をホワイトボードに板書する。その際、ひらがなのみ、漢字+ひらがななど、学習者の日本語水準により使い分ける</li> <li>・ 簡単に分かる方法があります。皆さん「市報」を知っていますか。市報には日曜・祝日に開いている病院が書かれています。そこで、今日は「市報から日曜日に開いている病院を探すことができる。そして、その病院に行くことができる」ように勉強します。</li> <li>※ 今日のゴール(絵)と今日のゴール(文)を学習者に提示し、学習目標を共有化する</li> </ul>	<p>提示：</p> <p>今日のゴール(絵)、</p>  <p>今日のゴール(文)</p> <p>※日曜日に開いている病院が市報のどこに書いてあるかわかる</p> <p>※日曜日に開いている病院へ行くことができる</p>
<p><b>活動①</b> 休日受診可能な病院・薬局を市報から探し出すサポーターと話す</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市報を配ります。市報の左側にいろいろな種類の絵(アイコン)が書いてあります。どの絵(アイコン)が①休日に開いている病院②休日に開いている薬局を表しているかサポーターと一緒に探してください。</li> </ul>	<p>配布：</p> <p>駒ヶ根市市報</p>

<p>単語の説明</p> <p>サポーターと話す</p> <p>まとめ① 発表</p>	<p>※学習者に、会話の中で覚えたい言葉や気が付いた言葉等を記録するため A4 用紙を配布する。</p> <p>※学習者とサポーターとの会話を円滑に行うため、メモ用紙の代わりとして WB 小を活用する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・絵(アイコン)の横に漢字が書いてあります。意味は分かりませんか。少し難しいので、説明します。</li> <li>※学習者が理解できないと思われる単語の説明を行う。</li> <li>※学習者から質問があれば時間を区切って受け付ける。</li> </ul> <p>・それでは毎週日曜日に開いている病院と薬局の名前を隣のサポーターと話しながら WB 小に書いて下さい。</p> <p>→7月7日に開いている病院は“〇〇〇いいん”です。薬局は“△△やっきょく”です。</p> <p>※病院名および薬局名は漢字で書かれています。WB 小に書く際には学習者のレベルに合わせてローマ字、ひらがな、漢字のどれでも構いません。</p> <p>・それでは〇〇さんは7月7日に、△△さんは7月14日に開いている病院と薬局の名前を発表してください</p>	 <p>配布：A4 用紙 使用：WB 小</p> <p>提示： 緊急当番医</p>  <p>当番薬局</p> 
<p>活動② 実際に受診可能な病院・薬局の確認方法</p> <p>サポーターと話す</p> <p>まとめ② 発表</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日曜日に開いている病院と薬局が分かりました。でも安心していきません。市報を見てください。何と書いてありますか。“都合により変更になる場合があります”どういう意味でしょうか。隣のサポーターと話してください。</li> <li>→“都合”はどういう意味ですか？/“変更”は“かわる”の意味ですか？</li> <li>・そうですね。市報に書いてある病院や薬局が実際には開いていないかもしれません。本当に今日開いているかを確認するためにはどうしますか。隣のサポーターと話してください。</li> <li>→市報に書いてある病院・薬局に電話を掛ける/実際に行ってみる</li> <li>・それでは発表してください</li> <li>※WB 大に板書する</li> </ul>	
<p>活動③ 実際に受診するために必要な情報を確認する</p> <p>サポーターと話す</p> <p>まとめ③</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今日開いている病院や薬局が分かりました。では実際に病院に行く前に聞く必要のある情報があります。それは何ですか。隣のサポーターと話してください。</li> <li>→受診時間は何時から何時までか/今から行ってもすぐに診てもらえるか/本日受診できる病院は内科が主だが、足をくじいてしまった。診てもらえるか</li> </ul>	

<p>発表</p> <hr/> <p><b>活動④</b> 行き方の確認方法 サポーターと話す</p> <p><b>まとめ④</b> 発表</p> <hr/> <p><b>活動⑤</b> 行き方を伝える演習 サポーターと話す</p> <p><b>まとめ⑤</b> 発表</p> <hr/> <p><b>終わりに</b> 感想を述べる</p>	<p>・ それでは発表してください。 ※WB 大に板書する</p> <hr/> <p>・ 今日、開いている病院で診てくれることが分かりました。しかし、病院の場所が分かりません。その時どうしますか。隣のサポーターと話してください。 →病院に電話をしてどこにあるか尋ねる/インターネットで場所を調べる/隣人に場所を聞く</p> <p>・ それでは発表してください。 ※WB 大に板書する</p> <hr/> <p>・ 今日開いている病院はいつも行く病院ではありません。そのため、どのように行くか分かりません。そこで、隣のサポーターに病院の地図を渡します。サポーターはその病院までの行き方を学習者に口頭で説明してください。</p> <p>学習者：すみません。そちらに行きたいのですが、場所を教えてください。 サポーター：駒ヶ根市役所分かりますか？その隣です。 学：線路側ですか？それとも国道側ですか？ サ：線路側です。</p> <p>・ それでは発表してください。</p> <hr/> <p>・ 今日の感想を言ってください ※時間が許せばサポーターの感想も聞く</p>	<p>配布： 各病院の地図</p>
--	---	-----------------------

<p><b>&lt;駒ヶ根 こぼれ話&gt;</b></p>	<p>駒ヶ根市が毎月発行している「市報」には日曜・祝日に受診可能な病院だけでなく、市民生活に必要な様々な情報が記載されています。皆さんが住んでいる市町村でも同じようなものが発行されているのではないのでしょうか。私も今までは目を通すだけでしたが、今回の授業の進め方を考える際、改めて市報を読んでもと様々な情報が載っていて便利だなと思いました。皆さんも、今一度ご覧になり、日本語学習に利用してみたいかがでしょうか。</p> <p>なお、各自治体のホームページに休日緊急当番医の案内ページがある場合も多いので、活用してみてもはどうでしょうか。</p>
--------------------------------	--

6	薬局	薬局で薬を買う時に困ったことってある？
---	----	---------------------

**<背景>**

日本語学習の活動テーマを考える時、緊急性があることで、必ず日本語で話さなくていけない時、または日本語がわからないと情報が取れなくて困る場面を優先度が高いものとして考えます。そうすると防災、救急、病院・病気などが活動テーマの上位にあがります。病院での場面はもちろん取り上げていますが、風邪をひいた時や頭痛、体調が悪い時など、必ず病院へ行くかと言うと、私たちは決してそうではないですね。市販の薬を飲んで済ませてしまうこともあります。

ですが市販の薬はたくさんあって、どれがいいのか迷う時もあります。特にアレルギーを持っていると、それが自分の体に合っているか、気をつけて選びたいところです。

日本へ来てから病気をしたことがない人もいるかもしれませんが、体調が悪くても病院へ行く時間がとれなくて市販の薬を買ったという経験がある人もいるでしょう。また薬に限らず、日本語がわからなくて初めての経験で失敗したとか困ったという思い出を持っている人はきっと多いでしょう。

今回は特に市販の薬を買った時の失敗した経験、困った経験などをふり返りながら話すことに挑戦しました。

**<学習目標・ねらい>**

薬を買う時に困ったこと、失敗したことなどの経験を話す。

会話

**<準備するもの>**

市販の薬・薬箱、イラスト（ドラッグストア、店員、お客、頭痛、薬）、困った経験のモデル文、薬剤師に困った状況を伝える時のモデル文

※事前に家にある市販の薬を持ってきてもらうように連絡して持ってきてもらった。

**<ゲスト> なし**

活動の流れ	進行（学習者の発話は「→」の後、※小文字は心得）	備考（教材等）
<b>導入</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ここはどこですか。この人たちはなにをしていますか。 ※ドラッグストア、店員とお客、病気、薬などのイラストを順番に見せる。</li> <li>→ドラッグストアで頭が痛いから薬を買う。</li> <li>・では皆さん、今日もってきた薬を見せてください。 ※買ったことがない人、持ってこない人もいることも心得ておく</li> <li>・その薬はどんな時に飲みますか。 →疲れている時、頭が痛い時…</li> <li>・その薬をどこで買いましたか。 →〇〇薬局、△△ストア…</li> <li>・たくさんある薬のなかで、どうしてその薬を選びましたか？ →家族の人・友達が勧めたから、CMで見た、なんとなく…</li> <li>・いろいろですね。今日は、ドラッグストアで薬を買う時のことについて勉強します。</li> </ul>	<p>提示：</p> <p>ドラッグストア、店員、お客、頭痛、薬のイラスト</p>

<p><b>活動①</b> 薬を買う時に困った経験を話す</p> <p>サポーターと話す サポーターと一緒に書く</p> <p><b>まとめ①</b> 発表する</p>	<p>・皆さんはその薬が自分に合っているから持っていると思います。じゃあ、薬を買う時、薬の箱の日本語を読みますか。</p> <p>・もし、体に合わないとき、どんな薬がいいかわからないとき、どうしますか。</p> <p>→薬剤師に聞く。家族、友達に聞く。</p> <p>・一番は薬剤師に聞くのがいいですね。</p> <p>・皆さんは薬を買う時に、今まで困ったことはありますか？</p> <p>※経験談を話す。なければ友人・知人の経験談を話す。</p> <p>例：私は、今年花粉症がひどかったです。自分にあった薬を探すのがとても大変でした。3回薬を買いました。</p> <p>最初の薬は体がだるくなってしまいました。だから別の薬を買いましたが、その薬も私に合いませんでした。鼻水が止まりませんでした。</p> <p>それでまた別の薬を買いました。今度は眠くなりました。</p> <p>花粉症の薬はたくさんありますが、どれを買ったらいいかととても困りました。</p> <p>※話が理解できたか、内容について確認の質問をするのもよい。</p> <p>例：私はどうして薬を買いましたか。</p> <p>何回薬を買いましたか。</p> <p>どうして3回も薬を買いましたか。</p> <p>・薬を買う時に困った経験、いつも難しいと思うことを話してみましよう。サポーターの人も薬を買う時に困った経験があれば話しましょう。話してから、紙にどうして困ったかを書いてください。</p> <p>例：・くすりが あわなくて こまった。 ・じょうずに しょうじょうが いえなくて くらうした。 ・こどもようのくすりか わからなくて こまった。</p> <p>※サポーターは聞いたことを踏まえて、モデル文のようにまとめる。学習者がその作った文がわかるかどうか確認しながら、作文する。レベルに応じて、単文にわけたり、複文にしたりする。学習者が読んでわかるようにする。</p> <p>・では、どんなことで困りましたか。発表をお願いします。</p> <p>→薬が自分の症状に合わなくて困った。 →自分の症状がうまく伝えられなくて困った。 →日本語が読めなくて、薬の飲み方がわからなくて困った。…</p>	<p>語彙確認： 薬剤師</p> <p>語彙確認： 花粉症、だるい、合う</p> <p>提示： 困った経験のモデル文</p> <p>語彙確認： 症状、子ども用</p>
<p><b>活動②</b> 困ったことをどうやって伝えたらいいか考える</p> <p>サポーターと話す</p>	<p>・その時どうしましたか。例えば、ドラッグストアへ行きました。薬剤師になんと言いますか。経験を話して下さい。</p> <p>・皆さんなら薬剤師に困っていることをどう言いますか。サポーターに話してください。それからもっといい言葉があるかサポ</p>	

<p>サポーターと一緒に書く</p> <p>まとめ② 発表する</p>	<p>ーターと一緒に考えましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サポーターの人は話して出てきた表現を書きとめてください。学習者の方が読んでわかるか確認してください。</li> </ul> <p>例：「薬が合わなくて困った」時、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・このくすりが あわないから、べつのくすりがほしいです。</li> <li>・このくすりを のむと ねむくなるので、べつのくすりがほしいんですが。</li> <li>・まだはなみずがとまらないので、べつのくすりがほしいんですが。</li> </ul> <p>※サポーターは紙に書きとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・では、困ったことを薬剤師にどういいますか。発表をお願いします。</li> </ul> <p>→「自分の症状がうまく伝えられなくて困った」とき、 日本語でうまく言えないんですが、ここが…と言うとよかった。</p>	<p>提示： モデル文</p>
<p>終わりに サポーターと一緒に読む</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・皆さんが話した困った経験、それからどう言えばいいか書いた紙を机の上においてください。他の人の困った経験とそれをどう言えばいいか書いた紙を読みましょう。</li> </ul> <p>※今日、やったことをふり返る ※今日覚えたこと、覚えたいこと、感想を参加者全員発表</p>	

<p>&lt;駒ヶ根 こぼれ話&gt;</p>	<p>今回はあらかじめ参加すると連絡をもらっていた人に自宅にある市販の薬を持ってきてもらいました。こちらが用意したものより、薬の一つでも持ってきてもらうと、より学習者にとっては具体的に話しができるのかもしれないと思いました。</p> <p>また、この活動を牽引したボランティアの女性は市販の薬が合わなくて苦労したという経験を持っており、それを例に出しながら進めることができました。自身の経験の引き出しにあるものが、教室活動に活かせることを経験できて、また少し自信が付いたのではないかと思います。</p>
-------------------------	---



7	薬局	市販の薬箱の表示に何が書いてある？（用法・用量・効能）
---	----	-----------------------------

**<背景>**

外国人に聞いてみると、国で買った薬を飲むという人も少なくないようです。市販の薬を買うことはそうないのかもしれませんが。頻繁に体調が悪くて薬のお世話になるのも困りものですし…。

それはさておき、逆になぜ日本で市販の薬を買わない理由を考えてみました。一つは飲み慣れているものがあるとか、日本のものより効き目がいいとか、効能の面で国の薬を選んでいるという理由が挙げられると思います。ですがたくさんの漢字で難しい専門用語の日本語で書かれている薬箱を見ると、内容がわからず安心できないからという理由も考えられるのではないのでしょうか。一人で薬箱とにらめっこしてもわからないものはわかりませんが、誰か日本語がわかる人に聞いて、書いてあることをそのまま読んでもらったり、やさしい言葉で話してもらったりしたら、理解できることが数倍増えると思いませんか。

また読みの活動を入れたのは、薬箱に書いてある情報を読むとともに、やさしい言葉で書き換えられた文を読むということを目的としています。私たちの教室に参加している方はある程度話せる人が多いのですが、読み書きとなるとやはり苦手な人が多いことを踏まえ、話すことを中心に、わかる言葉で「てにをは」を意識した文をまずは読むことを試みました。

<b>&lt;学習目標・ねらい&gt;</b> 市販の薬箱に書いてある用法・用量について読んで・伝える	会話・読み
--	-------

**<準備するもの>**

市販の薬箱、用法・用量・効能の部分を拡大コピーした物、用法・用量の書き下し文、効能の書き下し文

**<ゲスト> なし**

活動の流れ	進行（学習者の発話は「→」の後、※小文字は心得）	備考（教材等）
<b>導入</b>           <b>活動①</b> 薬箱にある用法・用量について話して読む  サポーターと話す	<p>これはなんですか。病院の薬じゃありませんね。            ※市販の薬をいくつか提示する</p> <p>皆さんは日本で買ったことがありますか。            どこで買いましたか。            →〇〇薬局、△△ストア…</p> <p>どんな薬をかいましたか。            →風邪薬、湿布、痛み止め、目薬、花粉症の薬…</p> <p>・例えば、風邪をひきました。風邪薬を飲みます。            ※咳や熱などの仕草をしながら</p> <p>・1回にいくつ飲んだらいいですか。どこを見ますか。            →（わかる人は指し示す）</p> <p>・「用法」この漢字を探してください。これは飲み方が書いてあります。</p> <p>※グループ、ペアで用法に書いてあることを話す前に言葉の整理をしながら、活動</p>	<p>提示： 市販薬</p> <p>提示：市販薬</p>

<p>のやり方の例を示す</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「用法・用量」には何が書いてありますか。わかる言葉をあげてください。</li> <li>・例えばこの薬は、 「次の量を食後なるべく 30 分以内に服用してください。」 15 歳以上は 1 回 1 包、服用回数は 1 日 3 回です。」 わかりますか。</li> </ul> <p>※出てきた言葉の解説をする</p> <p>例：食後、なるべく、服用、1 包、以上など</p> <p>・これをやさしい言葉で書きました。読んでください。 →「1 日、3 回、食後（ご飯の後）、できるだけ 30 分以内に飲んでください。15 歳以上は 1 回 1 つです。」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どうですか。これはわかりますか。</li> <li>・じゃあ、皆さんもやってみましょう。 まず、サポーターの人は書いてある通りにまず読んでください。その後、わからない言葉を確認してください。それからやさしい言葉でどう言うか、一緒に考えてください。そして最後にホワイトボード（小）に書きましょう。</li> </ul> <p>※各ペアに市販の薬箱を 1 つ渡す</p> <p>※書く作業についてはサポーターが相手の様子を見て、書かせるか、自分が書くか話して決める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・では、他のグループの薬の用法の説明を読みましょう。 立って、歩いて、読んでください。 サポーターと学習者と一緒をお願いします。</li> <li>・では、皆さんが書いたものを読んでください。 そして私たちにその薬の用法を教えてください。</li> </ul> <p>→この薬は 1 日…</p> <p>※発表後に表現の補足やよかった所をフィードバックする</p>	<p>提示： 用法の書き下し文</p> <p>配布： 市販薬の箱</p>
<p>まとめ① 発表する</p> <hr/> <p>活動② 効能について話して読む</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・用法・用量がわかりました。では、今度はどんな時飲みますか。それはどこに書いてありますか。わかりますか。</li> </ul> <p>→（探す、指し示す、など）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「効能」はどこにありますか。ここにどんな時に飲むかがあります。</li> <li>・例えば、この薬はどんな時飲みますか。 ※わからない言葉を挙げてもらう</li> <li>・この薬は熱がある時飲みます／この薬は熱がある時に効きます。</li> </ul> <p>提示： 引き続き同じ薬箱</p> <p>提示： 効能についての書</p>

<p>まとめ② 発表する</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ではペアでその薬の効能について説明を考えて書いてください。 ※用法・用量と同様の要領で効能について書き下し文を考える</li> <li>・では、他のグループの薬の効能の説明を読みましょう。 立って、歩いて、読んでください。 サポーターと学習者と一緒をお願いします。</li> <li>・次に皆さんが書いたものを読んでください。 そして私たちにその薬の効能を教えてください。 →この薬は・・・の時、飲みます／この薬は・・・に効きます」 ※発表後に表現の補足、良かったところをフィードバックする</li> </ul>	<p>き下し文</p>
<p>終わりに</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・では、皆さんが今日一緒に考えた薬の用法・用量・効能の説明を皆さんの前でお願いします。 サポーターの人も一緒に前に出てきて、お願いします。 →この薬は「〇〇〇」です。 この薬は・・・時飲みます／に効きます。 飲み方は1日……。以上です。 ※発表の仕方の例を見せる</li> <li>※今日、覚えたこと、覚えたいことを紙に書く</li> </ul>	

**<駒ヶ根 こぼれ話>**

実際の教室活動は「用法」と「注意書き」を取り上げて行いました。この活動はコース開始前のボランティア向けの事前研修で取り上げた内容です。今回初めて「会話・読み」のコミュニケーション活動を行うものを取り入れるため、イメージを掴んでもらうために考えたものです。

参考までに今回、書きおろしてみました。





<p>まとめ②</p> <p>サポーターと一緒に読む</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ではこの「用法」と「注意書」にどんなことが書いてありますか。読んでみましょう。</li> <li>・最初に学習者の皆さんは、こことここ（「用法」「注意書」を指して）を見てください。わかることがあれば、サポーターに話してください。</li> <li>・次にサポーターは書いてある原文通りに読んでください。読んだ後、わからない言葉など、サポーターの皆さんは、別の言葉に置き換えて「用法」と「注意書」を説明してください。</li> <li>・そしてサポーターと学習者の皆さんと一緒に「用法」を説明する文を考えてください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>※できる人は「注意書」の書き下し文もWB小に明記する。用法は全員行う。</li> <li>※「用法」および「注意書」の内容を簡単にした文（書き下し文）を見せる</li> <li>※サポーターは一方向的に説明しないで、相手の反応を確認しながら進める</li> </ul> </li> <li>・説明する文ができたら、学習者の皆さんはそれを声に出して読んでください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>※他のペアが明記した内容を学習者とサポーターが読んでまわる。</li> </ul> </li> </ul>	<p>提示：</p> <p>用法、注意書の書き下し文</p>
<p>終わりに</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今考えた説明文を使って会話をしてみましょう。 <ul style="list-style-type: none"> <li>※例を見せる</li> <li>A：この薬の飲み方（貼り方）を教えてください。</li> <li>B：（ホワイトボード（小）に明記されている内容を読む</li> <li>&lt;注意書まで書いたペアの場合&gt;</li> <li>A：この薬を飲む時、注意することを教えてください。</li> <li>B：ホワイトボード（小）に明記されている内容を読む</li> </ul> </li> <li>※今日、覚えたこと、覚えたいこと、感想を紙に書く</li> </ul>	

**<駒ヶ根 こぼれ話>**

薬箱には「用法」「用量」「効能」「注意書」が書かれていますね。買うときは効能と用法、それと値段を見て選んでいることが多いと思います。買った後、飲む時は用法、用量、注意書なんかを見るのではないのでしょうか。実際教室活動をされたボランティアの方は、薬を買った後、薬を飲む場面に着目して「用法」と「注意書」を取り上げました。

今回参加した学習者は読み書きもかなりできる人たちで、フィリピン出身の方は簡単な漢字も読むことができ、やさしい言葉で書き換える作業は自らがペンを持って書いていました。読みに合わせて書く活動にもなりました。



9	健康診断	健康診断の問診票で聞かれていることについて
---	------	-----------------------

<背景>

健康診断を受けたことはあるが、受けるときに書く問診票に何が書いてあるか理解できないといった問題があります。そこで、実際に問診票には何が書かれてあるのかを知るために、このような授業を設けました。

<学習目標・ねらい>

問診票に書いてあることについて話し、また問診票で何を聞かれているかを知る。普段の生活習慣について話す。

読み・会話

<準備するもの>

絵カード・問診票・生活習慣についての問いのプリント

<ゲスト> なし

活動の流れ	進行 (学習者の発話は「→」の後、※小文字は心得)	備考 (教材等)
<p><b>導入</b> 学習者に質問の投げかけ</p>  <p>健康診断について補足</p> <p>問診票を知っているかを問い、何が書いてあるかイメージしてもらおう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康診断って聞いたことありますか？</li> <li>・健康診断には行ったことありますか？</li> <li>・健康診断では何をしますか？</li> </ul> <p>学習者が答えるのを待ちながら絵カードを提示。 Ex: これは何をしているところですか？ どこで？いつ？一日でやるのか？どうしてするのか？</p> <p>まとめ：体の良い、悪いをチェック これが健康診断です。</p> <p>※日本では、会社で働いている人は健康診断を皆受けることになっている。お金は会社が出してくれるので、自分で払わなくて良い。 自分が働いていなくて配偶者の扶養になっている場合は、2通りある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①配偶者の会社から通知が来て、配偶者と同じように自分も受けられる。</li> <li>②市役所から健康診断のお知らせが来て、検診を各地域で受けることができる。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康診断の前に何かしますか？何か書きませんか？(問診票)</li> <li>・書いたことがあるか？問診票はいつももらうか？いつ書くか？</li> <li>・健康診断の問診票ではどんな質問がありますか？ (学習者からあげてもらい、自分がWBに書く。)</li> </ul> <p>Ex: どんな病気をしたことがあるか？お酒を飲みますか？など。</p>	<p>診察場面の絵カード</p>
<p><b>活動①</b> 問診票の質問を知る</p> <p>サポーターと話す・読む</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それでは問診票にはどんな質問があるのでしょうか。見てみましょう。(A3サイズの大きいものを見せながら話す)</li> <li>・それでは「1」には何が書いてあるか、それぞれペアで読んでみましょう。</li> </ul> <p>①サポーターに読んでもらう→理解しているか確認。 (「どういう意味か」と聞かれたらサポーターが他の言葉に置き換えて解説する)</p>	<p>問診票</p>

<p>まとめ① 発表する</p>	<p>②サポーターに書き下し文を書いてもらい、それを学習者が読む。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・では問診票にはどんなことが書いてあったでしょうか。 (挙げてもらい→あらかじめ自分が用意した書き下し文を張り出す)</li> <li>※5・6・女性のみ項目は全体活動でさらっとふれる程度に説明。</li> <li>※2 自覚症状については前回の授業で配布した症状について確認してもらう。</li> </ul>	
<p>活動② 生活習慣について話す</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今日は、皆さんが毎日していること、生活習慣について話しましょう。</li> <li>※ご飯・運動・お酒・たばこ、などをWBに書く。</li> </ul> <p>Ex：朝ご飯は食べますか？何を食べますか～ 私は～</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※学習者がつまずいていたり、学習者の言葉に対して、もっと適切な言葉があったりした場合、サポーターに「こんな言い方もある、こんな言葉がいいのでは？」などとフォローしてもらう。</li> </ul>	<p>生活習慣についての問いの紙を提示</p>
<p>まとめ② 発表する</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・では、皆さんがペアの人と話したことについて、それぞれ発表してみましょう。</li> </ul>	
<p>終わりに 問診票に書いてある質問に答える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発表が終わったら…</li> </ul> <p>それでは、「問診票1」の質問の意味がわかったと思うので、実際に質問に答えてみましょう。</p> <p>先ほど配った資料に○をつけてもらう。</p> <p>以上で終了</p> 	

<p>&lt;駒ヶ根 こぼれ話&gt;</p>	<p>受講者の皆さんは健康診断を受けたことがあり、内容は知っていました。ただ、話すことはできても読み書きが苦手で、実際に問診票で問いを確認したときに「何を聞かれているか、初めてわかった！」とおっしゃっていました。例えば、一日あたりの飲酒量の問いでは、「何合」というのはどういう意味か、「塩辛いものが好きである」は「しょっぱい」の意味である、など問診票で用いられやすい言葉や表現です。</p> <p>また、活動②では自分の普段の生活習慣を話すことで健康的な生活をしている人、健康のために心がけていることを知り、学習者・サポーター双方で感動し、健康に心がけなくては！ と心を改められるよいきっかけとなりました。</p>
-------------------------	---

10	健康	健康保険の皆保険制度ってなんだろう
----	----	-------------------

**<背景>**

平成25年度の第1期目の教室が始まって最初の回に参加した学習者の皆さんにこの期の後半に病気や病院のテーマでどんなことを学びたいか希望をとりました。その結果、健康保険について知りたいという意見が結構ありました。私たち日本人でも保険制度をきちんと説明出来る人は少ないのでは…!?

私たちがこのテーマを扱うことに躊躇しなかったとは言いません。ですが外国人にとっても日本に長く住む以上、日本の制度について知りたいと思うのだということがわかりました。ただ、それを日本語教室の活動になり得るだろうか、健康保険の何について取り上げたらいいのかなど考えることがたくさんありました。その結果、日本人でも保険証の色は違うけれど、実際何が違うのかわからないということに着目し、そのわからない状況が外国人と同じ状況だと考え、専門家を教室に招いて話しを聞きながら、皆でやさしい日本語で話しあえば今より少し理解が図れるのではないかという考えで臨むことになりました。

**<学習目標・ねらい>**

自分が加入している健康保険制度についてわかったことを話すことができる

会話

**<準備するもの>**

保険証、病院の領収書

**<ゲスト> あり（市役所 国民健康保険担当者）**

活動の流れ	進行（学習者の発話は「→」の後、※小文字は心得）	備考（教材等）
<p><b>導入</b></p> <hr/> <p><b>活動①</b> 保険証の色が違うのは保険者が違うことを知る</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今日は日本の健康保険について勉強します。</li> <li>・市の担当者（〇〇さん）に来ていただきました。 ※自己紹介を簡単にお願いする</li> <li>・病院へ行きます。何を待っていきますか。 →診察券と保険証</li> <li>・皆さん、保険証を持っていますか。</li> <li>・どうして持っていますか。 →お金が安くなるから</li> <li>・持って行かないと、たくさん払わなければなりませんね。</li> </ul> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> <li>・私の保険証です。皆さんの保険証を見せてください。</li> <li>・全員、持っていますね。日本では全員、持っています。でも色が違いますね。どうしてでしょうか。 →…?</li> <li>・保険のグループが違うからです。私とみなさんが働いている会社は違いますね。その会社が入っている保険のグループが違うから、色が違います。 ※板書：色により名前を分けて区分する 国保／社会保険（協会健保・組合健保・共済健保）／医療保険（後期高齢者健保）</li> </ul>	<p>語彙確認： 保険証、診察券</p> <p>提示： 保険証</p> <p>語彙提示：</p>



サポーターと話す

まとめ①  
発表する

※大きく3つのグループ（社保については更に3つに分かれるが、詳しく触れない。後で簡単に触れる）を紹介

※後期高齢者は75歳以上、これについても詳しく触れない

・この3つのグループを合わせて「保険者」といいます。

・保険者はなにををすると思いますか。

例えば、私は風邪で病院へ行きました。

お金を払わなければなりません。

保険証があると、私と保険者が病院にお金を払います。

保険者は病院に払うために、私たちからお金を集めます。

このお金を「保険料」といいます。

保険証がないと保険者が払う分も払わなければいけません。

※板書：フローチャートのように「保険者」と「個人」から病院へお金が流れる仕組みがわかるように書く

・「保険者」じゃない人は何と言うのでしょうか。2つのタイプがあります。

・1つは「被保険者」です。

被保険者は保険料を払っている人、保険に入っている人です。

・もう1つは「被扶養者」です。

例えばAさんは仕事をしていません。

配偶者が働いています。配偶者の給料でAさんの家族は生活しています。

・Aさんは保険料を払っていませんが、保険証を持っています。この人を「被扶養者」と言います。

・被保険者はどうやって保険料を払っていると思いますか。

→給与から

・払った保険料は会社が保険者に払います。

※板書：保険料の流れがわかるように被保険者、扶養者、会社、保険者をフローチャートで書く

・次のことについて、サポーターと話しましょう。

1. どんな保険者がいますか。

2. あなたの保険はどのグループですか。

3. 被保険者、被扶養者はどんな人です。

4. 会社は保険料をどうやって集めますか。

5. 会社は集めた保険料をどこへ払いますか。

※1つずつ確認していく／最後に市担当者から補足してもらう

※保険者の区分の説明を簡単にする

国保・協会健保・組合健保・共済健保・後期高齢者健保に区分

国民健康保険（国保）／社会保険（協会健保／組合健保／共済健保／医療保険／後期高齢者健保

語彙提示：

保険者

語彙提示：

保険料

語彙提示：

被保険者

語彙提示：

被扶養者

語彙確認：

給料から引く

給料から引かれる

協会健保：中小企業／組合健保：大企業／共済健保：公務員／後期高齢者：75歳以上

活動② 療養給付額について考える

全体で考える  
ゲストに答えを聞く



まとめ②

確認する  
質疑応答

終わりに

発表する

※療養給付について考えるため、病院での領収書を配布

- ・私は病院にいくら払ったのでしょうか。
- ・病院は全部でいくらもらえるのでしょうか。

→・・・？

- ・領収書に〇〇とあります。自分で30%、70%は保険者からです。後期高齢者10%です。子どもはどうですか。

※市担当者に確認（15歳まで無料・1回払う・病院のみ適応）

1. 高額療養費について

- ・例えば病院に全部で300万円かかりました。その30%の請求がありました。Sさんいくら払わなければなりませんか？
- ・払えません。どうしますか。

※市担当者の話（助ける制度がある）

2. 仕事なくなった場合

- ・〇〇さん、今、仕事をしていますよね。仕事なくなったら健康保険はどうしたらいいのでしょうか。

※市担当者に話（国民健康保険・被扶養者・任意継続）

3. 死亡した場合5万円ぐらい出る

※医療費について確認する

3割負担、医療費を払わない場合、失業した場合、死んだ場合

※ここまでで、市担当者に質疑応答

- ・自分の持っている健康保険証についてわかったこと、今日の感想をグループで話しましょう。その後に発表をお願いします。

- ・最後に市からのお願いがあればお願いします。

※市からのお願い

1. 医療費は適応される範囲が限定されています。
2. 保険料の支払いをお願いします。
3. 健康でいてください。
4. 状況が変わったら保険の切り替えをお願いします。



配布：  
病院での領収書

<駒ヶ根 こぼれ話>

活動を組み立てるにあたり、長野県庁国際課の係長さんを始め、市内の総合病院の方、市役所の国民健康保険担当の方等、いろいろな方にご協力をいただきました。また、この活動を牽引するボランティアをはじめ、他のボランティアも保険制度について皆で事前に学んだりしました。

11	健康予防	夏の健康予防 熱中症について聞いて、話して、伝える
----	------	---------------------------

**<背景>**

今年の夏も暑かったですね。確か去年の夏も…。ここ最近、駒ヶ根でも熱中症対策が叫ばれるようになりました。私が駒ヶ根に引っ越して驚いたことの一つに、夏にエアコンを使わないというより、エアコン自体がない家が多いということでした。聞けば駒ヶ根では南北に窓があると風の通りがよく、朝晩は涼しい風が入るといのです。私の家は残念ながら東西の向きに窓があるアパートなので、風の通りが悪く、引っ越して最初の夏、わが家は熱がこもり、猛暑の中、過ごした思い出があります。

近年、わが家のあるアパートにも室外機を目にするようになり、やはり暑さが厳しくなってきたことが伺えます。また、学校の運動会でも生徒が熱中症で倒れてしまったことがあり、熱中症予防をどうしたらいいか、保健師を招いてやさしい日本語で話すことを試みました。

ちなみに、駒ヶ根は東西の窓からの眺望は最高で、東を見れば中央アルプス、西を見れば南アルプスが見え、二つのアルプスが映えるまちなのです。

**<学習目標・ねらい>**

健康に過ごすために今後の生活において意識する。

熱中症について人に伝えることができ、助けることもできる・・・話す・行動

会話

**<準備するもの>**

うちわ、保冷材、タオル、ミソ汁、水、スポーツドリンク、霧吹き、画像（エアコン、日陰）、市役所保健福祉課の熱中症予防プリント

**<ゲスト> あり（保健師）**

活動の流れ	進行（学習者の発話は「→」の後、※小文字は心得）	備考（教材等）
導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日暑いんですね。今日は、毎日みなさんが元気になる方法を学びます。保健師の〇〇さんに来ていただきました。 ※保健師の方の自己紹介</li> <li>・毎日暑いんですね。みなさん元気ですか。私は食欲がないです。</li> <li>・暑いとき、皆さんや皆さんの国の人はどうしていますか。 ※サポーターもどうしているか、話してもらうように話しを振る。</li> </ul>	<p>紹介： 保健師</p> <p>語彙確認： 食欲がある／ない</p>
活動① 熱中症の症状について知る	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テレビやネットでこの漢字「熱中症」を見たことがありますか。 ※板書</li> <li>・ニュースで「熱中症」って聞いたことがありますか。 →ある／ない</li> <li>・熱中症になると、どんな症状がでますか。 →体が熱い／気持ち悪い… ※板書する。熱中症の症状の軽い症状から重い症状がわかるように書く。プリント参照</li> </ul>	<p>語彙確認： 熱中症</p> <p>語彙確認： 症状</p> <p>参照： 市役所保健福祉課の熱中症予防プリント</p>
まとめ①	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どうでしょうか。〇〇さん（保健師）補足をお願いします。</li> </ul>	

<p>ゲストの話を聞く</p> <hr/> <p><b>活動②</b> ならないためにどうする？を話す</p> <p>サポーターと話す サポーターと一緒に書く</p> <hr/> <p><b>まとめ②</b> 発表する ゲストの話を聞く</p> <hr/> <p><b>まとめ③</b> なってしまったらどうする？を話す、行動する</p> <p>サポーターと話す</p> <hr/> <p><b>まとめ③</b> 発表する ゲストの話を聞く</p> <hr/> <p><b>終わりに</b> ゲストの話を聞く</p>	<p>※話しを聞きながら語彙など板書する ※保健師の話の後、語彙の確認をする</p> <hr/> <p>・ どうしたら熱中症にならないでしょうか。 →水を飲む、外では仕事しない・・・</p> <p>・ 隣の人と話して、ホワイトボード（小）に書いてください。 ※サポーターが書くか、学習者が書くかは学習者の様子を見て話して決める。 ※学習者が書く場合は、サポーターは不自然なところを適切な言葉に置き換えるサポートをする。 ※サポーターが書く場合は箇条書き。</p> <p>※発表は学習者、自分の言葉で話す。 ※保健師に補足をお願いする。その後、語彙等、確認する。</p> <hr/> <p>・ もし私が今熱中症で倒れたら、皆さんは何をしてくれますか。 ※机の上にタオル等、アイテムがあることを指し示す</p> <p>・ 私を助けるため、どうするか、隣の人と話してください。ここにある物を見に動いていいです。動く順番をメモしてください。 ※サポーターと話しながら、とる行動を順番に箇条書きにする</p> <p>・ 発表です。出てきて、私を助けてください。 ※熱中症になったふりをして寝る →日陰に動く。脇やひたいを冷やす ※学習者は行動を交えて発表する。 ※話しながら発表するのが無理であれば、話してから行動してもらう。 ※一緒に話したサポーターに、発表時もサポートしてもらう。 ※発表後、保健師からフィードバック</p> <p>・ ここまでで、何か質問がありますか。 ※なければ一旦、ここで熱中症についての活動を閉める</p> <hr/> <p>※保健師より、是非お話ししたい病気予防についてミニ出前講座 <b>【糖尿病とは】</b></p> <p>・ 今日は熱中症のお話を〇〇さん（保健師）にお願いしましたが、次に〇〇さんから皆さんに「糖尿病」についてお話があります。聞いたことがありますか。 ※保健師からの説明 ※質疑応答</p> <p><b>【確認の質問】</b></p> <p>・ どうして糖尿病になりますか。</p>	<p>提示： タオル、スポーツドリンク・うちわ・霧吹き・ミソ汁・エアコンの絵・保冷剤、日陰</p>
--	--	---

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・なぜ糖尿病はいけないのですか。</li> <li>・どんな人に多いのでしょうか。</li> </ul> <p>※保健師の説明をうけて、上記例の質問をいくつかする。</p> <p>※質問の正誤は保健師に確認</p> <p><b>【予防について発表】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・糖尿病にならないために、あなたはこれからどうしますか。</li> </ul> <p>※わかったこと、これから気をつけることを話してもらう。</p>	
--	---	--

**< 駒ヶ根 こぼれ話 >**

保健師さんと初めてのコラボレーションでした。普段は高齢者向けに熱中症対策や、糖尿病対策などの講座を開いているとのことで、資料、素材などが揃っており、打合せの際、糖尿病予防についてはお手製の教材を見せていただきました。

打合せでは、こちらは専門のお話をお聞きしながら活動をどう組み立てるかを考え、保健師さんにとっては、どんなふうに伝えればいいのか、どんな言葉を使えばいいのか、要領をつかむことをしていったと、今振り返るとそう思います。

教室ではどうにかして伝える、それが伝わったときの喜びを実感してほしいと思い、「とにかく相手の表情、反応をよく見てください」とお伝えし、「わからなそうなときは別の言葉で言い変える」「出来るだけ短い文で話す」ということをポイントとしてお伝えしました。さすが人前でお話をしている保健師さんは相手の反応をよく見ていらっしゃいました。

この保健師さんとは冬の病気予防の回でもお世話になりました。その際、駒ヶ根市内にある総合病院の感染症対策の専門家の方も、「こういった機会があれば是非に」とおっしゃっていたことを教えていただきました。こうやって、教室外にいる日本語とは別分野の方たちとのつながりが出来ることを嬉しく思いました。次はこのつながりを個人のつながりで終わらせず、もうちょっと大きいグループとしてつながっていけることが課題かなと感じている今日この頃です。



12	健康	冬に罹りやすい病気について、予防方法、対処方法を友人に話す
----	----	-------------------------------

### <背景>

寒い冬が到来しました。空気が乾燥しているため、風邪に罹りやすくなっています。風邪に罹ったら身体だけでなく財布も辛いですよ。そこで、風邪に罹らないための予防方法や風邪を引いた場合の対処方法を各国のお国事情をふまえてみんなで話し合います。私が小さい頃は煎った塩を首に巻いたのですが・・・皆さんはどうでしょうか。どんな予防方法・対処方法が出てくるのでしょうか。

また、風邪だと思って入社し仕事をしていたら、実はインフルエンザだった・・・その後、会社で同僚に何を言われるか、たまったものではありません。そこで、風邪とインフルエンザの違いを保健師さんに説明していただきます。

### <学習目標・ねらい>

冬に罹り易い病気について自ら行っている予防方法、対処方法を他者に話すことができ、また、他者が行っている予防方法、対処方法を聞き取ることができる。

会話

### <準備するもの>

A4 用紙、ホワイトボード大と小、手洗いチェッカー(準備可能な場合)

### <ゲスト> あり(保健師)

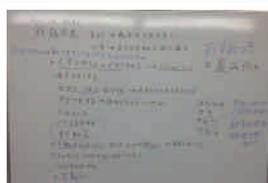
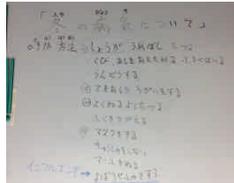
活動の流れ	進行 (学習者の発話は「→」の後、※小文字は心得)	備考(教材等)
<b>導入①</b> イメージをつかむ① 学習者に質問の投げかけ  イメージをつかむ② 例題の提示	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本では冬になると風邪が流行ります。母国ではどうですか。</li> <li>・日本に来て風邪やインフルエンザに罹ったことはありますか。</li> <li>・私は予防策としてうがいと手洗いをしています。これは 2003 年に SARS が流行したときからの習慣です。</li> </ul>	
<b>活動①</b> 予防方法について サポーターと話す	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それでは隣のサポーターと“風邪にならないために自分がしていること”を話して下さい。</li> <li>※学習者の日本語水準によるが「予防方法」の単語を使用せず説明する。</li> <li>※学習者に、会話の中で覚えたい言葉や気が付いた言葉等を記録するため A4 用紙を配布する。</li> <li>※学習者とサポーターとの会話を円滑に行うため、メモ用紙の代わりとして WB 小を活用する</li> </ul>	配布：A4 用紙 使用：ホワイトボード小 (以下 WB 小)
<b>まとめ①</b> 発表	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サポーターと話した内容を発表してください。</li> <li>→外に出る時マフラーをする/お風呂に長い時間はいる/              予防注射をする</li> <li>※発表内容をホワイトボードに板書する。その際、ひらがなのみ、漢字+ひらがなのみ、学習者の日本語水準により使い分ける</li> </ul>	
ゲストの話を聞く	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな方法がでてきました。それでは保健師さんに“それぞれの方法は効果があるか”、“他に良い方法があるか”、話してもらいます。</li> </ul>	

<p>活動② 対処方法について サポーターと話す</p> <p>まとめ② 発表</p> <p>ゲストの話聞く</p> <p>活動③ 風邪とインフルエンザの違い ゲストの話聞く</p> <p>終わりに 発表</p> <p>ゲストの話聞く</p> <p>手洗いの実施 (手洗いチェッカーが準備できる場合)</p>	<p>※学習者から質問があれば時間を区切って受け付ける。</p> <p>・風邪を引かないようにしても風邪を引くことはあります。私は風邪だと思った時はお酒を飲んで早く寝ます。それでは隣のサポーターと「風邪を引いた時どのようなことするか」を話して下さい。</p> <p>※学習者の日本語水準によるが「対処方法」の単語を使用せず説明する。</p> <p>サポーターと話した内容を発表してください。 →寝る/特製スープを飲む/サウナに入る</p> <p>※発表内容をホワイトボード大に板書する</p> <p>・いろいろな方法がでてきました。それでは保健師さんに“それぞれの予防方法は効果があるか”、“他に良い方法があるか”話してもらいます。</p> <p>・風邪と思っているインフルエンザかもしれません。インフルエンザに罹っている時、会社に行くと、たくさんの人にうつしてしまいます。そこで、保健師さんに“風邪とインフルエンザの違い”を話してもらいます。</p> <p>・今日の授業で初めて知ったことを発表してください。 →特製スープが身体に良さそう/予防注射をすること</p> <p>・保健師さんにも本日の感想を言ってもらいます。</p> <p>・家に帰った時、皆さん手を洗っていますね。でも本当にきれいになっているのでしょうか。そこで、本当にきれいに手を洗えているか試すことができます。誰かやりたい人はいますか。</p>	<p>使用：WB 小</p> <p>使用： 手洗いチェッカー</p>
--	---	--

**<駒ヶ根 こぼれ話>**

皆さん「手洗いチェッカー」というのがあるのを御存知ですか？菌に見立てたクリームをムラなく手に塗り込みます。その後、いつも通りに手を洗い、専用の光を当てるとクリーム(擬似菌)が残っているところだけ光るという優れものです。保健師さんに持参いただいて、当初、学習者1、2名に試してもらおう予定でした。

しかし、実際にやり始めると、我も我もと多くの人に試してもらいました。皆さん除菌できていませんでした。私もその一人。帰宅後手洗いはしていたのですが・・・。インフルエンザに罹らないか心配です。



13	健康	太らない体を作るにはどうしたらいいか話す
----	----	----------------------

<背景>

健康をテーマに知りたいことは何かを考えました。秋も深まってくると寒くて動きたくなくなりそうですね。そして年末年始が近づいてきてクリスマスや忘年会、新年会など、食べたり飲んだりする機会が増えてきます。おいしいものを食べたり、飲んだりすることは悪いことではないですから、後は普段の生活から健康のために太らない体を作っておくことが大切です!! けれど1人でやるのはなかなか続かない人も多いのでは…!?

そこで教室でエクササイズもやりながら、どうして太るのか、筋肉を作ることの大切さなどを話すことにしました。

<学習目標・ねらい>

太りにくい体を作る話しを聞いて、わかったことを話す

会話

<準備するもの>

A4用紙、水

<ゲスト> あり (駒ヶ根市教育委員会 社会教育課スポーツ振興係 健康運動指導士)

活動の流れ	進行 (学習者の発話は「→」の後、※小文字は心得)	備考 (教材等)
<p><b>導入</b></p> <hr/> <p><b>活動①</b> 太るとどうして体に悪いか、ゲストの話を聞いて、話す。</p> <p><b>ゲストの話を聞く</b> <b>サポーターと話す</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 皆さんは毎日運動しますか。私は毎日40分ぐらい歩きます。でも寒い時、運動するのは嫌いです。寒くなると歩きません。</li> <li>・ 運動しないとどうなりますか。</li> <li>・ 「運動〇〇になる」何と言うか知っていますか。</li> <li>・ 運動不足になります。太ります。</li> </ul> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 例えば、太ると、どうして体に悪いでしょうか。</li> <li>・ 〇〇さん(ゲスト)が次の話しをします。聞いて、わかったことを紙に書いてください。</li> </ul> <p>※4つの質問をホワイトボードに提示。ゲストにこの4つについて話してもらう。</p> <p>※ゆっくり話してもらうように打合せする。</p> <p>※話しを聞きながら自分も随時わかったことを板書</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 話しを聞いて、何がわかりましたか。</li> <li>① どうして太りますか。</li> <li>② どうしたら太りませんか。</li> <li>③ 筋肉についてわかったことはなんですか。</li> <li>④ 運動した後、何をするといいですか。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ グループで話してください。自分の言葉でいいです。</li> </ul> <p>※サポーターは「わからなかったことある?」「わかったことある?」と聞きだすのではなく、自分がわかったこと、わからなかったことを話すよう学習者に促す。</p> <p>※サポーターは学習者が話す際、言葉に詰まったら、待つ・話しを反復して確認する・いい言葉を提示するなどのフォローをする。</p>	<p>語彙確認: 運動不足</p> <hr/> <p>配布: A4用紙</p> <p>提示: 4つの質問</p> <hr/> <p>語彙確認: 筋肉/ストレッチ/脂肪</p>



<p><b>まとめ①</b> 発表する</p>	<p>※発表は学習者だけでなくサポーターにも発表してもらう。 ※フィードバックをして、語彙や話しの内容を確認していく。 ※ゲストから補足してもらう</p>	
<p><b>活動②</b> ストレッチの効果について知る</p> <p>ゲストの話を聞く サポーターと話す</p>	<p>・ストレッチはどうして体にいいですか。〇〇さん（ゲスト）に話を聞きましょう。2回話します。</p> <p>※1回目：普通に話してもらう ※2回目：やさしい言葉で言い変えてもらう</p> <p>※原文：「筋肉を伸ばすことは、血行をよくし、老廃物を取り除き、疲労回復、コリや痛みを軽減させる効果があります」←ゲストの方に言い変えてもらう</p> <p>・ストレッチはどうして体にいいですか。 ・筋肉を伸ばすと、何がよくなりますか。そして何を取る（なくす）ことができますか。何が軽くなりますか。サポーターと一緒に話して、説明を考えましょう。</p> <p>※サポーターは話したことをホワイトボード小にメモをとる。</p>	<p>語彙確認： 筋肉を伸ばす／血行をよくする／老廃物／取り除く／疲労回復／コリ／軽減／効果</p>
<p><b>まとめ②</b> 発表する</p>	<p>※発表の際、「筋肉を伸ばすと…」と最初に促して、それに続いてストレッチの効果について話してもらう ※表現等についてフィードバックをする</p>	
<p><b>終わりに</b> ゲストによるストレッチ指導を体験する</p>	<p><b>ゲストによるストレッチの指導</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 軽くストレッチ</li> <li>2. 30秒の体力測定実施</li> <li>3. 指標で自分の体カチェック</li> <li>4. 「貯筋」するには</li> <li>5. 「貯筋」の運動一つ行う</li> </ol> <p>※日本語での指示を聞いて、見ながらストレッチ動作ができていないか巡視する</p> <p>※質疑応答／市からの情報提供 ※今日、やったことをふり返る ※今日覚えたこと、覚えたいこと、感想を参加者全員発表</p>	

<p><b>&lt;駒ヶ根 こぼれ話&gt;</b></p>	<p>毎日の生活に即必要な事柄ではないですが、持っている日本語でコミュニケーションをとり、かつちょっとした豆知識が得られたらお得かなという考えから、ゲストの市役所職員の方との打合せを通して活動を作りました。ただし、「ダイエット」をテーマに挙げたのはいいのですが、日本語学習の要素を取り入れた教室活動にどうやって仕上げるか、担当したボランティアさんと一緒に私も悩みました。</p> <p>ゲストの市役所職員の方は普段は日本人向けに健康講座をされているようで、話のネタはたくさんお持ちでした。外に出て行くことに対して意欲的で、初めての試みに熱心に付き合ってくださいました。</p> <p>市の他の課の方とスムーズに打合せができるのは、市の事業として教室があるお陰です!!</p>
--------------------------------	---

14	買物	あれ、なんて言うんだっけ！？ 日本語で説明してみよう。
----	----	-----------------------------

**<背景>**

私たちの身の周りにはたくさんの物があります。それらすべての物の名前を知っていますか。また、地域や職種によってはよく使う物でも、他の地域から引っ越してきた人や異業種の人にはなじみがなく、「何？」と思う物もあります。私の経験を申しますと、草刈り清掃の時に使う「ビーバー」や、同じく草刈り清掃で使う道具で、私はそれを「鎌」だと思って聞いていたら違って「草かき」という名前のもので、これらはこの地域に来て初めて呼び名を知りました。

またトイレやお風呂の排水溝が詰まった時に使う“あれ”の名前を知っていますか。あれは「ラバーカップ」という商品名のようです。ですがラバーカップと言ってもピンときませんね。きっと皆さん手振り身振りを使いながら！「トイレやお風呂の排水溝が詰まった時に使う・・・」と説明をされるのではないのでしょうか。

私たちはその物自体は見ればわかる物でも、手元になく、更に名前がわからない時はその物の用途などを説明します。きっと外国人が日本で生活する上で、このようなことはたくさんあるでしょう。ジェスチャーや絵を書いたり、最近ではスマホで画像検索もできたりしますが、やさしい日本語でそれを説明することができたら、「この人は日本語ができる！！」と、周囲は印象をもつことでしょう。今回は買物の場面で店員さんに伝えることを想定して、活動を考えました。

**<学習目標・ねらい>**

商品名がわからない時、そのものを説明をして、売り場を尋ねることができる

会話

**<準備するもの>**

画像（市内のスーパー、ホームセンターなど）、実物 or 画像（歯磨き粉、歯ブラシ、急須、車の雪かきブラシ、ツメ切り、ラバーカップ、靴べら、しゃもじ、保冷材など）

**<ゲスト> なし**

活動の流れ	進行（学習者の発話は「→」の後、※小文字は心得）	備考（教材等）
<b>導入</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・わかりますか。どこですか。ここへいきますか。</li> <li>・誰と行きますか。 どうやっていきますか。</li> <li>・〇〇で何を買いますか。</li> <li style="padding-left: 20px;">※参加者がどこで買い物をする人が多いかつかむため、いくつか質問する。</li> <li>・これは何ですか。</li> <li>→歯を磨く・・・/ペースト/歯磨き粉/ジェスチャー/歯を磨く時に使う</li> <li>・例えば、皆さんがこれを買いにホームセンターへ行きました。でも、う～ん・・・どこ・・・？ わかりません。</li> <li>物の名前がわかりません。どうしますか。お店の人に聞きます。</li> <li>→すみません。（ジェスチャーをする）どこにありますか。</li> <li>→すみません。歯、磨く時、使うもの どこにありますか。</li> <li>・ちょっと会話をやってみましょう。</li> </ul>	<p>画像提示： 市内のスーパー、ホームセンター等</p> <p>提示： 歯磨き粉</p> <p>画像提示：</p>

	<p>※場面設定</p> <p>ホームセンターにAさんはこれを買いに来ました。</p> <p>売り場がわかりません。 名前がわかりません。</p> <p>例</p> <p>A: すみません。</p> <p>店: はい。</p> <p>A: あの、歯、磨く時、使う物 どこにありますか。</p> <p>店: ん～歯ブラシですか。(ジェスチャー付き)</p> <p>A: いえ、違います。 それじゃないです。(ジェスチャー付き)</p> <p>店: あ、歯磨き粉ですね。 こちらにあります。(案内するジェスチャー)</p> <p>・「歯を磨く時、使うもの」だけでは わかりませんでした。</p> <p>・これは何と言えればいいでしょうか。</p> <p>→歯ブラシにつける</p> <p>・歯ブラシにつける物はどこにありますか。</p> <p>※板書</p> <p>V【辞書形】+N</p> <p>歯ブラシに つける 物 は どこに ありますか。</p>	<p>ホームセンター/ 店員</p>
<p>活動① 物の名前を言わない で説明してみる。</p> <p>サポーターと話す</p>	<p>・生活の中で、名前がわからないものってありますか。</p> <p>例えばこれ。名前を知っていますか。</p> <p>わからないけど、言いたいとき、ジェスチャーとかいろいろありますね。</p> <p>・今日は言葉で説明をすることをやってみましょう！！</p> <p>・サポーターと学習者でどう説明したらわかるか考えましょう。</p> <p>※どれから考えてもいい</p> <p>例: 車に積った雪を落とすブラシ</p> <p>ツメを切る物</p> <p>お湯を入れてお茶を入れる物</p> <p>※サポーターは学習者にばかり言わせるのではなく、自分ならどう言うかを考えて言ってみる。</p> <p>・じゃ、どんなふうに説明しますか。</p> <p>※出てきた表現を板書して、使い方などフィードバックをする</p>	<p>実物、画像提示</p> <p>車用の雪かきブラ シ/ツメ切り/急 須</p> <p>語彙確認: 積もる/おとす/ ツメ/お湯/入れ る</p>
<p>まとめ①</p> <p>活動② いつ使うかを説明する</p> <p>サポーターと話す</p>	<p>・じゃ、これはどう説明しますか。</p> <p>→歯を磨くもの</p> <p>・他の説明はありますか。 いつ使いますか。</p> <p>→歯を磨くとき、</p> <p>・「歯を磨くとき、使うもの」ですね。</p>	<p>提示: 歯ブラシ</p>

<p>まとめ② 発表する</p>	<p>・じゃ、これはいつ使いますか。トイレが… →トイレが・・・詰まったとき</p> <p>※板書 V【辞書形・た形】+とき、 はを みがく とき、 つかうものです。 トイレがつまった とき、つかうものです。</p> <p>・今度はどんなときを入れて、説明を考えましょう。</p> <p>※前の活動と同じ要領</p> <p>※例：靴を履くとき使うもの／ご飯を盛るとき使うもの／物を冷やすとき使うもの</p> <p>※発表してもらう ※出てきた表現を板書して、使い方などフィードバックをする</p>	<p>提示： ラバーカップ画像</p> <p>語彙確認： 使う／磨く／詰まる</p> <p>実物、画像提示： 歯ブラシ／靴べら ／しゃもじ／保冷材／ラバーカップ など</p> <p>語彙確認： 履く／ご飯を盛る ／冷やす</p>
<p>終わりに</p>	<p>・お店の店員とお客さんに分かれて、説明ゲームをしましょう。</p> <p>※やり方</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 今日使った画像と新たに複数枚画像用意</li> <li>2. 店員とお客に分かれる（サポーターも全員参加）</li> <li>3. 客：あのすみません。 店：はい、なんでしょうか。 客：あの……………。 店：〇〇ですね。 客：はい、そうです。</li> <li>4. 店員に伝わったら O.K</li> <li>5. 最後に今日の感想を言ってもら</li> </ol>	

<p>&lt;駒ヶ根 こぼれ話&gt;</p>	<p>駒ヶ根市と言えば、B級グルメでもおなじみのソースかつ丼がご当地グルメですが、やはり長野なので、リンゴを生産する果樹園が多くあります。リンゴの他に洋ナシ、ブドウ、桃、柿などいろいろな果物が作られています。そんな農作業で使う備品がいろいろあります。木から収穫した際に果樹を入れるカゴを「ポテ」といいます。冬を前に落ちた葉を集める時に使う「熊手」など……………。</p> <p>ちなみに果樹園にお嫁に来た外国人は駒ヶ根にはまだいませんが、近隣市町村にはいらっしやるんですよ!!</p>
-------------------------	--



15	買物	商品表示・店内表示を読んで、お得に買物しよう!!
----	----	--------------------------

<背景>

買物を大きいテーマに取り上げた際、どんな場面で日本語を話したり、どんな情報を読み取ったりしなければならないか考えました。買物は正直、話をしなくても大きな支障のない行為ですよ。商品は目で見て触ることもできますし、値段が表示されているので、特別な事情がなければできてしまいます。

ですが、お得に買物をしたいと誰もが思いますよね！？ また栄養を気にしたり、アレルギー体質の人は材料などに目を通しますね。賢く買物したり、特別な事情があったりする場合は表示を読めないと困ってしまいます。今回はお得に買物ができるようになることに焦点を当てて、スーパーの店内表示、商品表示について話して読む活動例を考えました。

教室活動を行う際、臨場感を出すために実際のレシートや値引き等のシールの実物、または画像を用意するといいですよ。

<b>&lt;学習目標・ねらい&gt;</b> 値札に書いてある情報や店内表示を読んで理解する		会話・読み
<b>&lt;準備するもの&gt;</b> スーパーのレシート、値引きシール等の画像、A4 用紙（書き下し文を書くため）、カメラ（携帯のカメラでOK）		
<b>&lt;ゲスト&gt;</b> なし ※市内スーパーを訪問のため、事前にお問い合わせの必要あり		
活動の流れ	進行（学習者の発話は「→」の後、※小文字は心得）	備考（教材等）
導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ どのスーパーへ行きますか。</li> <li>・ いつ行きましたか。 何を買いましたか。</li>   <li>・ 私は昨日、スーパーで買い物しました。</li> <li>・ 肉と、魚と、キュウリと・・・</li> <li>・ 肉はいくらですか。魚は、キュウリは・・・</li> <li>→380 円、298 円、120 円・・・</li> <li>・ キュウリは 150 円ですか。</li> <li>→・・・30%・・・マイナス 45 円</li> <li>・ そうです。キュウリは 150 円－45 円＝105 円です。</li> <li>・ 「割引」。これ、わかりますか。</li> <li>→わりびき</li> <li>・ これは「わりびき」と読みます。これは「今の値段より安くします」の意味です。</li> <li>※意味がわかる学習者がいたら、説明してもらおう</li>   <li>・ じゃ、これは 220 円でいいですか。</li> <li>→ちがう。安い。</li> <li>・ いくらですか。どうしてですか。</li> <li>→120 円。「値引き」とある</li> <li>・ これは「ねびき」と読みます。</li> </ul>	<p>実物：レシート 人数分、もしくは拡大コピー</p> <p>語彙確認： 割引</p> <p>語彙確認： 値引き</p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これも「今の値段より安くします」の意味です。 ※意味がわかる学習者がいたら、説明してもらおう</li> <li>・皆さんは買物をする時「割引」や「値引き」を見ますか。 スーパーで見ますか。 →はい／いいえ</li> <li>・例えば、150 円のキュウリにこのシールがありました。 同じ値段だと思えますか。 ※板書 <ul style="list-style-type: none"> <li>1. 30%OFF    30%割引    3 割引</li> <li>2. 30%値引き   30%OFF    30 円値引き</li> <li>3. 50%OFF    5 割引    半額</li> </ul> </li> <li>・1 は全部同じです。150 円のキュウリはマイナス 45 円で 105 円</li> <li>・2 は 30 円値引きは 150－30 で 120 円ですね。</li> <li>・3 は「半額」は「はながく」です。</li> </ul>	<p>語彙確認： 半額</p>
<p>活動① 表示の意味を考える</p> <p>サポーターと話す</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スーパーにはいろいろな日本語があります。</li> <li>・買物をするとき、安い方がいいです。ですからよく見たほうがいいです。</li> <li>・例えば、アイスを買いますか。いろいろなアイスがありますね。</li> <li>・スーパーのアイスのところこんな日本語がありました。</li> <li>・これ、わかりますか。 →「いちぶ・・・・・・・・く」</li> <li>・「いちぶしょうひんをのぞく」と読みます。 聞いて意味が分かる人はいますか。 →はい／いいえ      きいたことがあるけど、わからない</li> <li>・例えば「アイス半額 ※一部商品を除く」とありました。 どんな意味だと思えますか。 →・・・</li> <li>・「全部のアイスが半額じゃありません。半額じゃないアイスもあります」ということです。 ※書き下し文を提示して読む。意味がわかったか確認</li> <li>・グループやペアで次のものを読んで、意味を考えて やさしい言葉に変えましょう。 <ul style="list-style-type: none"> <li>①お 1 人様 2 個限り</li> <li>②入荷待ち</li> <li>③1,000 円以上お買い上げの方に限り 99 円（タマゴ）</li> </ul> </li> <li>※サポーターはまず学習者が読めるか確認してから読む。</li> </ul>	<p>写真：スーパーの アイスコナーの 表示 「アイス半額※一 部商品を除く」</p> <p>提示： 書き下した文</p> <p>提示： ①お 1 人様 2 個限 り ②入荷待ち ③1,000 円以上お 買い上げの型に限</p>

<p>まとめ① 発表する</p>	<p>その後、わからない言葉を確認した後、その学習者がわかるやさしい表現に言い換える。</p> <p>※書くのはサポーターは学習者の様子を見て、話した上でどちらが書くか決める。</p> <p>・では、どんな意味か説明をお願いします。</p> <p>※前にでて発表してもらい、紙をホワイトボードに貼って皆が見えるようにする。</p>	<p>り 99 円 (タマゴ)</p>
<p>活動② スーパーへ行って、 気になる店内表示をチェック サポーターと話す</p>	<p>・これから近所のスーパーへみんなで行きます。</p> <p>・わからない日本語を携帯で写真を撮ってきてください。</p> <p>帰ってきたら、写真を見せてください。</p> <p>何と読みますか。どんな意味ですか。サポーターと話して発表をお願いします。</p> <p>※戻る時間を伝える (店内滞在 20 分、往復 10 分)</p> <p>※質問を受け付ける</p> <p>※サポーターは学習者がわからないもの、わからなそうなものについて、様子をうかがうようにする。</p> <p>※ボランティアとコーディネーターは少し遅れてスーパーへ行き、様子を写真に撮る。(活動後に学習者が自身の様子を振り返りやすくなるから)</p>	
<p>まとめ② サポーターと話す 発表する</p>	<p>・では、写真をグループで見て、読み方を確認して、意味を確認しましょう。</p> <p>それからやさしい言葉で書き替えて、読みましょう。</p> <p>・どんな日本語がありましたか。発表をお願いします。</p> <p>→○○○○ これは～といういみです。</p> <p>※サポーターがオリジナルの表現を紹介し、学習者が意味を説明する</p>	
<p>終わりに</p>	<p>※今日、やったことをふり返る</p> <p>※スーパーの店内での様子を撮った写真を見せる</p> <p>※今日覚えたこと、覚えたいこと、感想を参加者全員発表</p>	

<p>&lt;駒ヶ根 こぼれ話&gt;</p>	<p>教室を開いている場所とスーパーが近かったので、実際にスーパーへ出かけて行きました。もちろん事前にお電話で趣旨を話した上で行ってきました。おもしろい試みと思ったのですが、賛否両論でした。参加した学習者は主婦でわりと日本語が話せる人だったので、スーパーへ出かけて行ったことについては活動の趣旨は理解できるものの、移動の時間や店内を歩いて探すのは時間がもったいないから、事前に写真を撮っておけばいいのではないかとコメントをくれました。</p> <p>この意見を聞いて、活動の甘さが見えました。活動②のスーパーへ出かける際の段取りとして、あらかじめボランティアが下見をしておき、当日はどのあたりをまわり、話しをふるかなどをサポーターに事前に伝えておくなどの打合せが必要でした。そうすると店内での活動が絞まったものになり、移動の時間もそれほど気にならないのではないかと思います。リアル感を出すための工夫がもっと必要ですね！！</p>
-------------------------	--

16	買物	交換・返品の申し出を上手に伝えられる？
----	----	---------------------

**<背景>**

商品の交換や返品を申し出るとは頻りにあるわけではありませぬ。普通に食料品や日用雑貨、衣類などを買う際、何もトラブルがなければ話さなくてもできてしまいます。ですが買物の場面で日本語でやりとりをしなければならぬ状況というのは、だいたい何か困ったことがある時と言えるのではないのでしょうか。

今回は交換と返品の場合を取り上げました。このお願いをする際、どんな情報をどんな順番で一緒に伝えているかを考えてみました。お店の人に伝える事柄がわかれば、今より上手に伝えられるのでは…!?と思いました。

また、依頼する際の「～していただけませんか」「～させていただけませんか」という表現が使えるようになると、他の場合でも役立つので、この表現を取り上げてみました。

<b>&lt;学習目標・ねらい&gt;</b> 交換・返品の手出し (依頼) が今より上手に言える		会話
<b>&lt;準備するもの&gt;</b> 服、衣類を購入したレシート、店員役の名札、ロールカード (交換)、ロールカード (返品)		
<b>&lt;ゲスト&gt;</b> なし		
活動の流れ	進行 (学習者の発話は「→」の後、※小文字は心得)	備考 (教材等)
導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>・みなさん、どこで服を買いますか。</li> <li>→○○、△△ (衣料店の名前) . . .</li> <li>・服を買う時、お店で試着してから買いますか。</li> <li>→する / しない</li> <li>・私は試着しないで買いました。家へ帰ってから、服を着てみました。着てみたら小さかったです。(残念そうな表情)</li> <li>・皆さんはこんな経験がありますか。</li>   <li>・こんな時、皆さんはどうしますか。</li> <li>→あきらめる / 店に行き換える・返す . . .</li> <li>・私は店にもう1回行って、いいサイズと交換します。</li> <li>・皆さんは買ったけど、やっぱり交換したとか、返す (返品) などの経験がありますか。</li> <li>※あれば話してもらおう。</li> <li>※学習者にまかせてもいいが、人によって、何を買ったか、それでどうしたかを Q&amp;A で聞いて、話しやすくする</li>   <li>・皆さんの国でも返品や交換をしますか。したことがありますか。</li> <li>・返品や交換をする時、お店に買った服の他に何か持って行きますか。</li> <li>→レシート</li> <li>・返品や交換は、いつまでできますか。</li> <li>→1週間 / 10日 / 3日 . . .</li> </ul>	<p>語彙確認： 試着</p> <p>語彙確認： 交換、返品</p> <p>語彙確認： レシート</p>

<p>活動① 交換を上手に申し出る サポーターと話す</p> <p>まとめ① 発表する</p>	<p>・返品や交換をする時、買ったものとレシートを持って行きます。買ってから1週間まで大丈夫です。</p> <p>・例えば、昨日買った服を交換したいです。服とレシートを持って店に来ました。ここは〇〇です。最初にどういいますか。 →すみません。 あの、ちょっと・・・</p> <p>・その次、皆さんならどういいますか。考えましょう。</p> <p>※お客：すみません。 店員：いらっしゃいませ。 お客：→皆さんならどう言うか考えましょう</p> <p>※サポーターは学習者が言った通りにWBに書き、リポートして読んで確認</p> <p>※予想例： ○これ小さいので、交換できますか。お願いします。 ○昨日買いましたが、小さかったから交換したいです。 ○サイズを間違えたので、交換お願いできますか。 ※フィードバックで、おかしいところがあれば適切な文に言い換える。</p>	<p>実物： 服、レシート、名札</p>
<p>活動② 交換を申し出る時に伝える情報の確認、表現の整理</p>	<p>・皆さんの言い方のほかに、次の例を聞いてください。</p> <p>※お客：すみません。 店員：いらっしゃいませ。 お客：あの、昨日これを買ったんですが、サイズを間違えてしまったので、Mサイズに交換していただけませんか。 店員：お取り換えですね。レシートはございますか。 お客：はい、あります。</p> <p>・お客は店員に何と言いましたか。 →昨日買った／サイズを間違えた／交換していただけませんか</p> <p>・「いつ買いましたか」・・・それを言います。 「どうして交換したいですか」・・・理由を言います。 交換のお願いを言います。</p> <p>※板書 ①いつ買った：きのう買った ②どうして交換したい?：サイズを間違えた ③交換のお願い：Mサイズに交換していただけませんか。 ⇒①んですが、②ので、③交換していただけませんか</p> <p>・「昨日買ったんですが」の「昨日」を変えて言ってみましょう。 ※代入例：一昨日、先日、1週間前、〇日（具体的な日付）、今日 ※同様に「サイズを間違えたので」、「Mサイズに交換していただけませんか」の部分も語彙を入れ替えて言ってみる。 「サイズ」：小さい、大きい、色が合わない 「交換のお願い」：Mサイズ、Lサイズ、Sサイズ、黒、赤・・・</p>	<p>語彙確認： V ていただけませんか</p> <p>語彙確認： 色が合わない</p>

<p>サポーターと話す</p> <p>まとめ② 発表する</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サポーターが店員で、学習者の皆さんがお客さんで、次のカードを見ながら会話をしてみましょう。</li> </ul> <p>※①おととい ②ちいさい</p> <p>①せんじつ ②いろが あわない</p> <p>※発表後にフィードバックをする／全員発表じゃなくてもいい。</p>	<p>提示： ロールカード</p>
<p>活動③ 返品を上手に申し出る</p> <p>サポーターと話す</p> <p>まとめ③ 発表する</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・返品したい（返したい）時はどういいますか。</li> <li>・これも①いつ→②どうして→③おねがい の順番でいいます。昨日買ったんですが、サイズが合わないので、返品・・・サポーターと返品のお願いの言い方を話してください。</li> </ul> <p>※板書 ①いつ買った：きのう買った</p> <p>②どうして交換したい？：サイズを間違えた</p> <p>③返品のお願い：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・皆さんは返品する時、どういいますか。教えてください。</li> </ul> <p>→返品できますか。／返品させてもらえますか。</p> <p>※板書の続き</p> <p>③返品のお願い：返品させてもらえませんか。／返品できますか。</p> <p>⇒①んですが、②ので、③返品させてもらえませんか／返品できますか</p> <p>※返品していただけますか ???</p> <p>「交換していただけますか」がよくて「返品していただけますか」がダメなことにひっかかる人がいるかもしれないので注意する。</p>	<p>確認： 誰が返すか 誰が誰にお願いするか</p>
<p>終わりに</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サポーターが店員で、学習者の皆さんがお客さんで、次のカードをみながら会話をしてみましょう。</li> </ul> <p>※①〇日 ②サイズを まちがえる</p> <p>①1週間前 ②サイズが おおきい</p> <p>※即やってもらう。発表後にフィードバックをする</p> <p>※今日やったことをふり返る</p> <p>※覚えたいこと、感想を全員が一言発表する</p>	<p>提示： ロールカード</p>

<p>&lt;駒ヶ根 こぼれ話&gt;</p>	<p>私たちがこのテーマで教室活動を考える際、市内にあるファッションセンターの店長さんにインタビューに行き、外国人のお客さんへの対応の実態をお聞きすることができました。交換や返品、取り寄せなど、具体的な対応を知ることができました。</p> <p>また、何かトラブルやクレームについてお聞きした際には、外国人のお客さんの印象では中国人のお客さんは大声で話すので、周りの日本人のお客さんからクレームを受けたことがあると話してくれました。</p> <p>私たち日本語教室の活動は、外国人に日本人や日本社会、文化習慣を知ってもらうことと同時に、外国人の文化習慣、考え方を日本人に知ってもらい、お互い知らないで誤解しているギャップを埋めることを目的の一つとしています。そう考えると、ファッションセンターの店長さんへのインタビューで、少なくとも日本語教室への理解、そして中国人のお客さんがなぜそうなのかを知る機会を得られたのでは・・・!? と思いました。</p>
-------------------------	---

17	買物	レストランで上手に変更依頼・クレームを言えるようになろう!!
----	----	--------------------------------

**<背景>**

飲食店などの接客ではお客様に対して丁寧な言葉づかいをしています。まだ日本語での会話が不慣れた人にとってはそれらの表現をきちんと理解できないけれど、サバイバル日本語で注文は最低限できる人は多いと思います。切り抜ける手段は日本語がわかる人に任せたり、メニューを指して、数を指で示したり…。つまり日本語を話さなくても注文はなんとかできるわけです。ですが、より自分が満足したり、快適に食事をしたりするために、席の変更やクレームなどを伝えるには日本語での会話は必須です。細かなことを上手に伝えることができれば、お店もお客さんも気持ち良く過ごすことができると思いませんか。

今回は飲食店で必ず日本語で話さなければならない場面を考え、席の変更依頼や料理が来るのが遅いなどのクレームをいう場面を取り上げました。こうした依頼やクレームを上手に言えるようになり、言葉の壁により誤解が生じ、それによってお互いが不快感をもつことは回避されることを願っています。学習者の想定は、注文は日本語でできる人たちです。

<b>&lt;学習目標・ねらい&gt;</b> 店員に変更依頼やクレーム、不明な点を確認できる		会話
<b>&lt;準備するもの&gt;</b> レストランのメニュー（なければレストランのチラシ）、絵カード（レストラン）		
<b>&lt;ゲスト&gt;</b> なし		
活動の流れ	進行（学習者の発話は「→」の後、※小文字は心得）	備考（教材等）
導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ レストランへいきますか。</li> <li>・ どこへ行きますか。</li> <li>・ 誰と行きますか。</li> <li>・ レストランへ行きました。レストランの人は皆さんに最初に何を聞きますか。</li> <li>→ 何人ですか / たばこ吸いますか。</li> <li>・ 皆さんはどう答えますか。</li> <li>→ 4名です / 吸いません</li> <li>・ 注文する時はいつもどうしていますか。例えば〇〇で</li> <li>→ すいません。〇〇を1つ とか…。</li> </ul>	提示： レストラン絵カード          語彙確認： 注文する
サポーターと話す	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ レストランで注文する時や料理について困ったことがありますか。私は困ったことがあります。みんなの料理は来ましたが、私の料理は来ませんでした。遅かったです。みなさんはどうですか。</li> </ul> <p style="margin-top: 20px;">※板書</p> <p>こまったこと：</p> <p style="margin-left: 20px;">ちゅうもんするとき</p> <p style="margin-left: 20px;">りょうり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ みんなのりょうりは きました。</li> </ul>	

でも、わたしのりょうりは きませんでした。おそかったですが、まちました。

活動① レストランで困った  
ことを話す  
サポーターと話す

・注文する時困ったこと、料理が遅いとき、違う時がありましたか。その時はどうしましたか。サポーターと話しましょう。  
※サポーターも自分の経験を話し、相互に経験を話すようにする。

まとめ①  
発表する

・ではどんな困ったことがありましたか。発表をお願いします。

活動② 困った時にどう言う  
か考える  
サポーターと話す

・こんなとき、皆さんはどう言いますか。また、どういいましたか。ちょっと会話を考えてください。

1. りょうりが おそいとき
2. りょうりが ちがうとき
3. せきを うつりたいとき
4. どのぐらいのりょうが わからないとき
5. りょうりの なまえを よんでも どんなりょうりか わからないとき

※1～5は意味がわかっているか確認しながら提示する

※サポーターは学習者が考えやすいものから考えるようにリードする。すべて終わらなくても良い。

※学習者が言った通りにサポーターは書く

※提出数は顔触れによって調節

・では1～5のとき、どう言うか、ちょっとやってもらいましょう。店員をサポーターがやってください。

→お客：すみません。あの、料理まだですが・・・

店員：すみません。少々お待ちください。確認します。

・では1の料理が遅い時、もっといい言い方がありますか。  
・サポーターの皆さんも自分ならどうか例を挙げてください。  
・3はどのようにして席を移りたいんですか。例えば（震えるジェスチャーをする）

→寒いから

・そうですね。お願いする時は最初に理由を言いましょう。

→寒いので席を移りたいんです。

※以下は考えられる表現。この中から選んで提示。3については理由を先に言うことからお願いする順番を確認する。その他理由を入れ替えて確認してみる

※1. すみません。頼んだ料理がまだなんですが・・・

頼んだ料理がまだ来てないんですが・・・

2. すみません。料理が違うんですが・・・

頼んだ料理が違うんですが・・・

3. すみません。狭い／寒い／熱いので、(席が空いていれば) 席をうつりたい

使用：  
ホワイトボード  
小、メニュー

まとめ②  
発表する

	<p>んですが・・・</p> <p>4. すみません。～の量はどのぐらいですか。</p> <p>5. すみません。～はどんなりょうりですか。</p>	
<p><b>活動③</b> 会話を作る</p> <p>サポーターと話す</p>	<p>・では1～5のなかから1つ選んで、サポーターの人と会話を考えてください。</p> <p>※困った部分だけ、レストランに入ったところから、注文するところからのどこからはじめてもいいことを伝える</p>	
<p><b>まとめ③</b></p> <p>発表する</p>	<p>・では発表をお願いします。</p> <p>→・・・</p>	
<p><b>終わりに</b></p> <p>サポーターと一緒に書く</p>	<p>・今日、覚えたこと、今日の活動の中でおぼえたことを書きましょう。</p> <p>※サポーターは書くことをサポートする</p>	<p>使用： メモ用紙</p>

<p><b>&lt;駒ヶ根 こぼれ話&gt;</b></p>	<p>このこぼれ話を書くにあたり、駒ヶ根市内の飲食店のどこに外国人の人は食べに行くのだろう・・・と考えてみました。私が見聞きしたところでは、ファミレス、ファストフード店、回転寿司、中華料理屋、エスニック料理を出すお店、ステーキハウス・・・結構多いなと思いました。立派に駒ヶ根市内の企業にお金を使ってくれているのだと改めて思いました。</p> <p>また、市内には外国人または外国にルーツがある人が経営している飲食店もあります。縁があつて駒ヶ根で国の料理を出すお店を構えていらっしゃるって、この方たちの存在は食を通した異文化体験ができ、私たちの胃袋を満たしてくれます!! こんなところからも外国人の皆さんが多文化共生のまちづくりに貢献しうる存在であることが言えるのではないのでしょうか。ちなみに市内にはネパール、ブラジル、中国などのお店があり、いずれも美味です。</p> <p>その他に駒ヶ根の飲食情報としてはB級グルメのソースかつ丼があります。このソースかつ丼を注文する際には注意が必要です。ボリューム満点なので、どのぐらいの量が確認してから注文することをお勧めします!!</p>
--------------------------------	--



18	美容	美容院でなりたい髪型を伝える
----	----	----------------

<背景>

言葉が分からない土地で美容院に行くのは躊躇するものです。なりたい髪型を伝える、美容師と会話する等、外国人にはハードルが高いようです。美容院で使う言葉を知ることによって、日本でも「美容院に行ってみよう！」と前向きに行動するきっかけになれば、と企画しました。

<学習目標・ねらい>

美容院・理容院で希望の髪型を伝える。  
美容院の語彙を知る。

会話

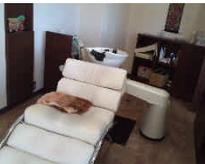
<準備するもの>

美容院の店内写真（鏡の前に座って施術を受けている様子、シャンプー台）

単語カード（カタカナと漢字は振りがなを付ける）「髪」「切る」「カット」「洗う」「シャンプー」「かゆいところはないですか」「染める」「カラー」「梳く」「シャギー」「レイヤー」「くせっ毛」「天然パーマ」「直毛」「ストレート」「前髪」「ドライヤー」「このくらい」「長さ」「分ける」「分け目」「流す」「痛む」「広がる」「似合う」「似合わない」「センチ」「メッシュ」「細く」「広く」

ロールプレイ用小道具（大きめの手鏡、クロス、ヘアカタログ雑誌）

<ゲスト> あり（美容師）

活動の流れ	進行（学習者の発話は「→」の後、※小文字は心得）	備考（教材等）
導入	<p>※学習者：サポーター=1:1~2 で組んでもらう。残ったサポーターは周りで見てもらう。</p> <p>・ここはどこか分かりますか？ →びよう…</p> <p>・そうです。美容院です。〇〇語（学習者の母国語）では何と言いますか？ →〇〇</p> <p>・なるほど。日本でも Hair Salon と英語で言うこともあります。日本で行ったことはありますか。 →ある、ない…</p> <p>・「ある」と言う人、困ったこと、びっくりしたことはありますか。私は、ドイツに旅行に行った時、美容院に行きました。ドイツはどこでしょう？アジア人は多いですか？少ないですか？お店の人が「私はアジアの人の髪を切ったことがない」「でも、あの人（別の店員）は切ったことがある」「今、別の人の髪を切っているのを待ってほしい」と言われました。びっくりしたことは、髪の毛は誰でも同じだと思っていたけれど違ったことです。困ったことは、うまく説明できなかつたので、昔の日本人の髪型になってしまったことです。また、クロス（実物を見せる）を使わないので、切った毛が服に</p>	<p>提示： 美容院の店内写真</p>   <p>提示： クロス</p>

<p><b>活動①</b> 美容院での体験を日本語で話す。 サポーターと話す、発表する。</p> <p><b>まとめ①</b></p>	<p>ついて痛かったことです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・みなさんは、いかがですか？話し合ってください。</li> <li>・サポーターの方は、それを書き出してください。</li> <li>・（書き終わったところを見計らって）今日は美容師の△△さんをお招きしました。〇〇さん（日本で美容院に行ったことがある人）、モデルになってください。 （美容師さんにお客さんを迎えたとしてデモをしてもらう）</li> <li>・では、書いたことを発表してください。 （サポーターが書いた文章を、学習者に読んでもらう。）</li> </ul> <p>発表で出た「困ったこと」「戸惑ったこと」「〇〇だから行かない」のネタを取り上げて、美容院でよく使う語彙を単語カードや板書で掲示する。人によって分かる単語、分からない単語が違うので、個別でサポーターと話し合ってもらおう。</p> <p>※カタカナ語が多いと思うので、語彙の理解と一緒にカタカナを読む練習になると思います。</p>	<p>使用： ホワイトボード小</p> <p>提示： 単語カード 単語カードを用意していない言葉は板書する</p>
<p><b>活動②</b> 美容院を体験する。 サポーターと話す、ゲストの話を聞く。</p> <p><b>まとめ②</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今日は実際に美容師さんをお招きしました。 ここから自分がしたい髪型を選んで、実際に注文してみましよう。まずは、サポーターの方に手伝ってもらって、注文の仕方を考えてみましょう。サポーターの方はホワイトボードにどんどん書き出してください。 ※書いている間に、椅子と鏡を用意する。</li> <li>・（書き終わったところを見計らって）では、実際に美容院に入ってみましよう。 ※持ち時間：1人当たり10分。（残り時間と、人数によって持ち時間を変える）</li> </ul> <p>髪型を注文して、美容師さんとやり取りしてもらおう。うまく伝わらなかった場合、「こういう風に言ってもらえればいい」と美容師さんからアドバイスをいただく。</p>	<p>配布： ヘアカタログ雑誌</p> <p>使用： 椅子、手鏡、クロス</p>
<p><b>終わりに</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今回は美容師さんに来ていただきました。質問ある方どうぞ。→頭皮ケア、髪質改善の質問が出ました。</li> </ul>	

**<駒ヶ根 こぼれ話>**

授業を通じて「民族は違っても髪をきれいに保ちたい気持ちは一緒なんだな～」と実感しました。髪の染め方（の好み）が国によって違うのも面白かったです。私は「美容院はカットやパーマをすところ」と思いがちでしたが、美容師さんは傷んだ髪や頭皮ケアについても相談にのってくれます。



19	美容	毎日の洗顔、どうしていますか？ 肌は体内の調子から!!
----	----	-----------------------------

<背景>

毎回、コースが始まる前に各回のテーマ・方向性を考えるのですが、参加している外国人の方たちがどんな人なのかということを変更して考えました。参加者の多くが女性、国際結婚をしている、日本滞在歴は5年以上、子育て中、長期・短期で職種はいろいろだがほとんどの人が働いている、ある程度日本語が話せるという人たちでした。共通項がそれなりにあり、一言で言えば「主婦層の人たち」です。彼女たちが今持っている日本語で話しができて、かつ、興味があり、教室に来ることでちょっとお得感が味わえる何か…を活動にしようと考えました。そこで初めての試みで「美容」を取り上げ、お得感はその道のプロに教室に来ていただいて、直接話を聞くことを計画しました。

ただ「美容」を取り上げたのはいいのですが、日本語学習を通じた交流ができる教室活動に組み立てられるだろうか手探り状態で始めました。「何を取り上げたら、このテーマで話しが出来るのか」を意識して、プロのエステティシャンから事前に情報収集、打合せをさせていただきました。そして教室への参加も承諾してくださって、感謝の気持ちでいっぱいです。教室活動を作る困難はありますが、教室の外にいる人、企業とゆるやかにつながる試みとして、チャレンジしてみました。

<学習目標・ねらい>

日頃の肌のお手入れ、健康について友人と話すことができる。

会話

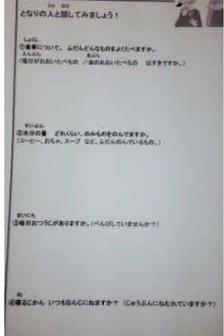
<準備するもの>

普段使用している洗顔料、泡立てネット、石鹸、コットン、例文（洗い方、洗った後、それを使う理由）、活動2のワークシート作成

<ゲスト> あり（保健師）

活動の流れ	進行（学習者の発話は「→」の後、※小文字は心得）	備考（教材等）
導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ いつも顔を洗う時、何か使いますか。例えば石鹸とか、洗顔フォームとかを使いますか。</li> <li>・ 例えば石鹸を手でこうしますか。何か使いますか。 ※泡立てるジェスチャーをして、語彙「泡立てる」を確認 ※泡立てネットを紹介</li> <li>・ 顔をどうやって洗いますか。 → ごしごし／手をまわしながら／やさしく…洗う ※ジェスチャーで洗い方の語彙を引き出す。</li> <li>・ 洗ってからどうしますか。何かつけますか。 → ローション／化粧水／ローションミルク…</li> <li>・ どうやってつけますか。手で？これで？ ※付けるジェスチャーをする。 ※語彙「コットン」を確認</li> <li>・ こうやって付けます。これ、何と言いますか。 → 手で伸ばす／パッティング／たたく ※ジェスチャーで付け方を提示して、語彙を引き出す</li> <li>・ どうしてそれを使っていますか？</li> </ul>	<p>提示： 石鹸、洗顔フォーム 泡立てネット</p> <p>語彙確認： ごしごし／手をまわしながら／やさしく…</p> <p>提示： コットン</p> <p>語彙確認： 手で伸ばす／パッティング／たたく</p>

<p>活動① 洗顔の仕方を第3者に説明する</p> <p>サポーターと話す</p>	<p>・これからグループで、次のことを話します。</p> <p>1. いつもどうやって顔を洗っていますか。 「私は顔を洗う時、石鹸を使います。まず石鹸で手を洗います。次に泡立てネットで泡を作ります。そしてその泡でやさしく手をまわして洗います。」</p> <p>2. 洗った後、どうしていますか。 「洗った後、コットンで化粧水をつけます。次にエッセンスをつけます」</p> <p>3. どうしてそれを使っていますか。 「友達が使っていて、いいと言ったからです」</p> <p>・私はこうしています。皆さんは「1. どうやって洗っていますか」、「2. 洗った後、どうしていますか」、「3. どうしてそれを使っていますか。」これを日本語で言ってみましょう。サポーターの人も全員話します。</p> <p>※ゲストの方は、活動のまとめの発表の際、補足、コメントをいただくため、グループでの話し合いを見て回ってもらう。</p> <p>※サポーターは「こうやって洗っています」の「こう」を泡だてて、やわらかく、ごしごしなど、なるべく言葉に置き換えて会話するようにする。</p> <p>※サポーターは学習者がうまく言葉にできないことについて、適切な言葉を紹介したりする。</p> <p>※学習者の発話によって3つ全てができなくてもいい。</p>	<p>提示： 洗い方の例文</p> <p>提示： 洗った後の例文</p> <p>提示： 理由の例文</p>
<p>まとめ① 発表する</p>	<p>・それでは発表しましょう。</p> <p>※発表の仕方のやり方を見せる</p> <p>※学習者とサポーターのペアで行う</p> <p>例：</p> <p>A：Bさんはいつもどうやって顔を洗っていますか。 B：私は～。Aさんは？ A：私は～。じゃあ、洗った後、どうしていますか。 B：化粧水付けてます。 A：そうですか。私は～。どうしてそれを使っていますか。 B：～からです。 A：そうですか。</p> <p>※状態を表したり、形容詞等新しい語彙など板書しておき、発表後に意味、使い方を整理する)。</p> <p>・ゲストの〇〇さん、洗い方、洗った後について、アドバイスをお願いします。</p>	 

<p><b>活動②</b> 肌と体の中の関係を考える（食の好み、睡眠、便秘）</p> <p>サポーターと話す サポーターと一緒に書く</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・みなさん、きれいな肌がいいですね？</li> <li>・肌は体の中が健康になると、肌はきれいになるそうです。</li> <li>・肌は毎日食べているもの、生活の仕方によって変わります。</li> <li>・これから、皆さんの毎日の生活について話していきます。</li> </ul> <p>・毎日皆さんはどんな食べ物を食べていますか。どのぐらい水分をとっていますか。毎日何時に寝て、何時に起きますか。何時間ぐらい寝ていますか。2人1組で話してみましょう。</p> <p>・後で発表します。発表するとき、ペアの人の話を言ってもらいます。ペアの人の答えを紙に書きましょう。</p> <p>※食べ物…塩分が多い／油が多い食べ物が好きかどうか 例：しょっぱいものをよくたべます。</p> <p>※水分（コーヒー、紅茶、お茶、ジュース、スープ、味噌汁など）…1日にどのぐらい飲むか。 例：コーヒー2杯、朝と夕方に飲みます、スープ1杯又は200mlくらい</p> <p>※便秘…毎日お通じがあるかどうか（便秘かどうか）</p> <p>※寝る時間…寝る時間、起きる時間、何時間寝るか 例：11時に寝る、6時に起きる、7時間</p> <p>※一方的に質問をするのではなく、お互いに聞きあいワークシートにメモしていく。 ※ゲストの方にはグループの話し合いを見て回ってもらう。</p>	<p>語彙確認： 肌、健康</p> <p>配布： ワークシート</p>  <p>語彙確認： 塩分、水分、便秘、お通じ</p>
<p><b>まとめ②</b> 発表する</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それでは発表してみましょう。</li> <li>→〇〇さんは油が多いものはあまり好きじゃないです。</li> <li>※表現でわかりにくいものがあったら、発表の後に取り上げて確認する</li> </ul>	
<p><b>終わりに</b> ゲストの話を聞く</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ではゲストの〇〇さんから、肌と食べ物、水分の量、便秘、寝る時間についてアドバイスを聞きましょう。</li> <li>・最後に今日わかったこと、覚えたいこと、感想を話しましょう。</li> <li>※やり方 どれか 時間によって決める。</li> <li>席を立てて自由に誰かと話す／1対1でとなりの人と話す／時間がなければグループで話す。</li> </ul>	

**<駒ヶ根 こぼれ話>**

当日、グループでの話し合いをまわっていたエステティシャンの方が、おもむろに石鹸をネットでごしごしと泡立て始めました。みるみるうちに手にはもこもこの泡ができ上がり、泡を下に向けても落ちない弾力のある泡を見せてくれました。この泡をつくり、泡でやさしく洗うのがコツだと披露してくれました。一人の学習者の掌に泡を載せたとき、その学習者は何とも幸せそうな表情を浮かべ、その泡を見つめていました。

20	美容	春に似合うメイク、メイクの言葉
----	----	-----------------

<背景>

春先、日本では卒業、入学、入社、異動などイベントが多いシーズンです。自分に合う色や肌に合うメイクについて、店員や美容部員に相談できれば選択の幅が広がります。

また、化粧品のカタログや取扱い説明書が読めることで、より自分に合った化粧品を選ぶことができるようになります。日本の化粧品でも自分に合ったものがあることによって、日本での生活が楽しくなったらと願っています。

<学習目標・ねらい>

化粧品用語（日本語、ジャパニーズイングリッシュ造語）を理解する  
 メイクで使うものによって動詞が違うことを理解する  
 化粧品メーカーのカタログを読み解く

会話・読み

<準備するもの>

化粧品の現物（化粧水、美白美容液、パック、目元用クリーム、BBクリーム、チーク、リップグロス、眉墨、マスカラなど）、化粧品メーカーのカタログ

<ゲスト>

活動の流れ	進行（学習者の発話は「→」の後、※小文字は心得）	備考（教材等）
<p><b>導入</b></p>	<p>※学習者：サポーター=1:1~2で組んでもらう。</p> <p>サポーターは自分で化粧品を選んで買っている方が望ましい。</p> <p>・みなさん、スキンケアやお化粧をしますか。          →する。しない。</p> <p>・これらをまとめて化粧品と言います。私が使っているものです。通信販売で買っています。</p> <p>みなさんは、どこで買いますか。          →ドラッグストア。スーパー。</p> <p>・なるほど。ドラッグストアやスーパーではたくさんの化粧品がありますよね。どうやって選んでいますか。          →国で使っていたブランド。安いの…</p> <p>・そうですね。私もいつも使っているメーカーのものを選んでしまいます。</p>	<p>提示：</p> <p>化粧品の現物、化粧品メーカーのカタログ</p>  
<p><b>活動①</b> 化粧品用語の語彙確認。</p> <p>板書、サポーターと話す、発表する。</p>	<p>・私が使っているのは…</p> <p>※持ち込んだ化粧品の通称と製品名を読みつつ板書。基礎化粧品=スキンケア用品。化粧水=ローションなど。メーカー独自の造語が多く学習者はこだわると言うが流して、一般に使われている単語を紹介する。</p> <p>学習者が理解できない単語はサポーターに単語説明してもらおう。</p>	<p>使用：</p> <p>ホワイトボード小</p>
<p><b>まとめ①</b></p>	<p>・みなさんはどんなものを使っていますか。</p>	

<p>発表する。</p>	<p>テーブルで話してみてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・このように、化粧品の単語は辞書に載っている単語とメーカーがつけた名前があります。</li> </ul> <p>メーカーがつけた名前は、メーカーが作った単語＝造語（ぞうご）が多いので、日本人でも分かりにくいです。覚えなくても大丈夫です。</p>	<p>使用：</p> <p>化粧品メーカーのカタログで、季節のメイク例が掲載されているページ。</p> <p>ホワイトボード小</p> 
<p><b>活動②</b> カタログを読み、メイクの動詞を学ぶ。</p> <p>板書、サポーターと話す。</p> <p><b>まとめ②</b></p> <p>グループ内で発表する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カタログを見てください。</li> </ul> <p>（各テーブルにカタログページを切り取って渡す。）</p> <p>どのように書いてあるか、教えてください。</p> <p>例えば、このしわのページでは、ファンデーションは「塗る」です。ハイライトは「のせる」です。マスカラは「つける」。口紅は？色の言葉ではどうでしょうか？この色はピンクベージュと書かれています。どのような色だと思いますか？</p> <p>※コピーだと色がイマイチなので、カタログ原本を使用。</p> <p>※このカタカナ語は変。これは何？などいろいろ突っ込みを入れてくると想定されるので、挙がったカタログの単語と日本語として定着している日本語を板書していく。</p> <p>※学習者がメモを取ろうとするが進行が速くて追いつかないので、メモする時間を待つ。</p>	
<p>終わりに</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これから使ってみたい製品はありましたか。</li> </ul> <p>→〇〇、××</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ドラッグストアでも化粧品の店員さんがいることがあります。</li> </ul> <p>ぜひ、聞いてほしいものを買ってください。</p>	

<p>&lt; 駒ヶ根 こぼれ話 &gt;</p>	<p>この授業を予定していた2014年2月15日は、東日本では前日からの大雪で、この授業も中止になりました。前週2月8日も大雪で中止で、2週連続中止は初めての事態でした。</p>
---------------------------	---

21	行政	市役所での届出や手続き、受けられるサービスについて
----	----	---------------------------

<背景>

在日期間が10年以上になる学習者（日本人の配偶者）でも、市役所での手続きは必ず日本人の家族に付き添ってもらおうそうです。日本人でも戸惑いを感じる時がありますが、最新の多言語化の状況、職員の対応を体験することによって、「一人でも市役所で手続きできる」という自信を持っていただきたいと企画しました。

<学習目標・ねらい>

市役所にはどのような窓口があるかを理解する。  
届出、手続きや受けられるサービスを知り、利用できる。  
(市役所でできること、できないことを知る。)

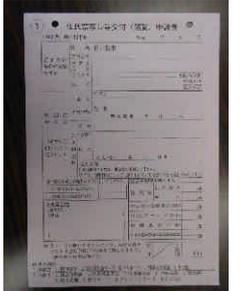
会話・読み

<準備するもの>

市役所の写真（外観、入り口、外国人相談コーナー、市民課窓口）  
文化庁教材 p169（公共機関での諸手続きのリスト。振りがなを付ける）  
文化庁教材 p169 の学習者の母国語訳  
住民票の写しの申請用紙の写真  
窓口でのやり取り録音（ヒアリング用）  
課題カード（手続きの目的「市営住宅に入りたい」「日本語教室に行きたい」「ごみ分別を知りたい」を記載したもの。ロールプレイ用）

<ゲスト> あり（市役所職員）

活動の流れ	進行（学習者の発話は「→」の後、※小文字は心得）	備考（教材等）
<p><b>導入</b></p> <hr/> <p><b>活動①</b> 市役所でできること、できないことを知る 日本語を読む、サポーターと話す。 <b>まとめ①</b></p> <hr/> <p><b>活動②</b> 市役所を利用する 日本語の会話を聞く。サポーターと話す。</p>	<p>※座席：1テーブルあたり、学習者1~2人、サポーター1~2人で座ってもらう。</p> <p>・（市役所の外観、入り口、外国人相談コーナー、市民課の窓口の写真を見せて） ここはどこですか。 行ったことありますか。 何課に行きましたか。 どんな時に行きますか。 →〇〇、××</p> <p>・では、今配った紙に書いてあることは、市役所でできることかできないことか、みなさんと話し合ってください。 話し合いの結果を、括弧の中に○×で書いてみてください。 ・（母国語訳を配り）では、駒ヶ根市役所でできるかどうか、答えを言います。</p> <p>・たとえば、みなさんは住民票が欲しいです。 市役所に来ました。 窓口の人と話します。</p>	<p>提示： 市役所の外観、入り口、外国人相談コーナー、市民課の窓口の写真</p> <p>配布： 文化庁教材 p169 （答え合わせとして）母国語訳を配布</p> <p>提示： 住民票の写しの申請用紙の写真</p> <p>提示： 窓口でのやり取り</p>

<p>まとめ② 発表する。</p> <hr/> <p>終わりに サポーターを話す、ゲストと話す (ロールプレイ)</p>	<p>(録音を聞いてもらい)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どんな話をしていましたか。</li> </ul> <p>→じゅうみんひょう、〇〇、××</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本語が分からない時、どうしていましたか？</li> </ul> <p>→分かる人がいる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本語で書けましたか。</li> </ul> <p>→〇〇、××</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本語が書けなくても、ローマ字でも OK です。</li> </ul> <p>・例えばこんな時、どうしましょう。 エリンさんは、手術をして入院をしていました。 お金がたくさんかかりました。 友達から、「病院で払ったお金が戻ってくるかもしれない。市役所でできる」と聞きました。 今、市役所に来ました。市役所の人になんと言いますか。 グループで話し合ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発表を聞いて板書し、1文ずつ感想を求める。</li> </ul> <p>※病院で払ったお金を戻してほしい。と、直接表現が出たら、「本当にできるかどうか、分からない時に聞く便利な聞き方があります」と以下の表現を紹介します。 「～聞いたんですか、できますか。」「～聞きましたが、できますか。」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・では、これから紙を配ります。 市役所に行く用事が書いてあります。 どのように聞くのがよいか、グループ内で話し合ってください。</li> </ul> <p>市役所職員を窓口役として、話してもらおう。 ※「～聞いたんですか、できますか。」「～聞きましたが、できますか。」が、できれば OK。</p> <p>終了</p>	<p>録音</p>  <p>使用： ホワイトボード小</p> <p>配布： 課題カード「市営住宅に入りたい」「日本語教室に行きたい」「ごみ分別を知りたい」</p>
--	---	--

**<駒ヶ根 こぼれ話>**

事前に取材した結果、駒ヶ根市の場合、各種手続き書類の多国語サンプルがあり、見ながら書くことができます。また、ポルトガル語は相談員の方が週3回いらっしゃいますし、英語と中国語は予約で対応が可能ということです。住民でも知らないことが多くいろいろ知ることができました。



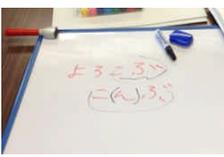
22	文化	おせちの由来・調理方法を聞き、説明・調理できるようになるろう！
----	----	---------------------------------

**<背景>**  
 日本ではお正月の時期、普段あまり食べない（作らない）特別な料理を作ります。これらの料理の由来・意味について理解し、日本の文化に対する知識をさらに深めます。  
 実際に料理等に関する説明をゲストの方から聞いたり、写真を見たりして理解し、その内容を他の人に伝えることができるようになるためにはどうすればよいか、実践して感じてもらいます。さらに調理をする際の計量&野菜の切り方の基本表現について理解し、簡単なレシピであれば、説明を読んで作れるようになります。  
 学習者の想定は調理・簡単な敬語に関して日本語が大体理解出来る人たちです。

<b>&lt;学習目標・ねらい&gt;</b> おせちの由来・調理方法を聞き、内容を他の人にも説明・調理できるようになる	会話
---	----

**<準備するもの>**  
 おせちの写真・イラスト、紅白脛の調理手順写真、計量スプーン・カップ、紅白脛デモクック準備

**<ゲスト>** あり（栄養士）

活動の流れ	進行（学習者の発話は「→」の後、※小文字は心得）	備考（教材等）
<b>導入</b>  サポーターと話す	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 普段作らない特別な料理を作る時、それはどんな時ですか？                ※どんな料理かではなく、どんな時に作るかを質問のポイントを理解した回答になっているか</li> <li>・ お正月のときに食べる料理の名前はなんですか？                →おせち</li> <li>・ お正月のときに聞く料理の名前はなんですか？                →こんぶ、黒まめ、・・・</li> <li>・ お正月のときに食べる特別な料理を「おせち」といいますが、この写真（イラスト）が「おせち」です。それぞれの料理の名前を何と言いますか？                ※板書                おせちのなまえ                ・（こうはく）かまぼこ／くろまめ／こぶまき／えび etc</li> </ul>	使用： ホワイトボード大2 テープ or マグネット 提示： おせち（イラスト or 写真）
<b>活動① おせちの由来</b> ゲストの話を聞く  サポーターと話す	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ おせちとはどんな料理でしょうか？</li> <li>・ おせちにはどうしてその料理が入っているのでしょうか？ これから栄養士の先生に説明して頂きます。聞いてください。                ※学習者から挙げられた Top4, 5 品について説明して頂く</li> <li>・ おせちにどうしてその料理が入っているかわかりましたか？                聞いてわかったことをサポーターの人に話してください。                ※サポーターは学習者の説明を聞き、内容・表現を確認。必要に応じフィードバック</li> </ul>	
<b>まとめ①</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ では、どうしておせちに「黒まめ」や「昆布巻き」などを食べ</li> </ul>	

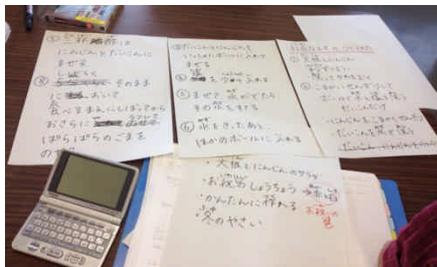
<p>発表する</p> <hr/> <p>活動② 調理の際に使う表現・計量について ゲストの話を聞く</p> <p>サポーターと話す</p> <hr/> <p>活動③ 紅白臈の作り方を表現 サポーターと一緒に書く</p> <p>まとめ② 発表する</p> <hr/> <p>おわりに ゲストの話を聞く</p>	<p>るのか、一人ひとつ（1品）ずつ発表をお願いします。 家に帰ったら家族に聞いて、知らなかったら教えてあげてください。</p> <hr/> <p>・計量スプーン・カップでの測り方と言い方、野菜の切り方について栄養士の先生に説明して頂きます。聞いてください。</p> <p>語彙確認：大さじ、小さじ、1カップ、1/2（半）カップ、すりきり、ひとつまみ、千切り、みじん切り、乱切り、いちょう切り、輪切り</p> <hr/> <p>・今聞いた、計量方法・言い方、野菜の切り方について、サポーターの人に話してください。 ※サポーターは学習者の表現・理解を確認。イラスト等指しながら尋ねてください。</p> <hr/> <p>・これはおせちのひとつ、紅白臈の作り方の写真です。これを見て何をしている写真か、サポーターの方と一っしょに説明を考えてください。 ※ サポーターは、学習者の表現をサポートしながら説明文をいっしょに作る</p> <hr/> <p>・では、紅白臈の作り方について写真を見ながらお願いします。 ※時間を見て一人で全行程ではなく、いくつかに分けながらでも可</p> <hr/> <p>・これから栄養士の先生に、ここで紅白臈を作ってください。よく見て、家でも作ってみてください。</p>	<p>提示： 計量スプーン・カップ（現品 or 写真等） 野菜の切り方（イラスト or 写真）</p> <p>語彙確認：</p> <p>提示： 紅白臈の作り方の写真</p> <p>使用： 紅白臈デモクック準備</p>
--	---	--

**< 駒ヶ根 こぼれ話 >**

「お節」をテーマとして考えるにあたって、日本の慣習について調べて改めて験担ぎとか、洒落のような古人？の豊かな発想に脱帽する限りでした。暦上は大晦日から元旦に日変わりするだけですが、そのことに特別な敬意を払う慣習を生み出した？ご先祖様に尊敬の念を持たずにはいられませんでした。

氏神様を迎えるための門松・お飾りの準備から始まり、それも12/29、31には避けるべきだとか、鏡餅は2段で太陽と月の象徴を表す意味もあるとか等々、何気に食べている「お節」の料理の意味についても今更ながら勉強になりました。

本来は「節日」のお供え料理だった「お節供」から「お節」に変化し、3/3、5/5 他年に何回かある「節句」の際にも作られていたそうですが、昨今は元日の膳のみが残っているだけ。和洋折衷取り込みながらも古いものを形だけではなく、その理由も理解したうえで大切に、次の世代に渡していきたいと感じるよい機会になりました。



23	文化	入学祝いに関する習慣について
----	----	----------------

**<背景>**

寒い冬が終わろうとしています。そうすると春は間近です。春といえば桜。桜といえば入学式を連想される方も多いのではないのでしょうか。このシーズン日本では入学祝いを贈るのが慣例になっています。とはいっても何を贈れば喜ばれるのでしょうか。また、現金を贈る場合の相場はいくらでしょうか。日本人でも分からないことが多いですね。ましてや外国人にとってはもっと分からないことが多いと思います。

そこで、今回はこの様な時に困らないよう、地元駒ヶ根市生まれの主婦の方々をゲストとしてお招きし、一般的な作法やマナーだけではなく、駒ヶ根特有の慣わしやしきたりも教えて戴きます。

**<学習目標・ねらい>**

- ①入学祝いとして贈って良いもの分かる
- ②入学祝として贈って良い金額が分かる
- ③入学祝い(ものやお金)を渡す時に言う言葉が分かる

会話

**<準備するもの>**

今日のゴール(絵)、今日のゴール(文)、人物相関図、お菓子/お金/図書カード/ランドセル/制服/文具/スマホの写真または絵、A4用紙、ホワイトボード大/小、台紙、御祝(結切り)/御祝(蝶結び)/御見舞/寿のご祝儀袋/茶封筒、図書カード、(図書カードの)贈答用梱包形態、包装済空箱+紙袋、ふくさ

**<ゲスト> あり(駒ヶ根市在住の主婦)**

活動の流れ	進行 (学習者の発話は「→」の後、※小文字は心得)	備考(教材等)
<b>導入①</b> イメージをつかむ① 学習者に質問の投げかけ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ もうすぐ冬が終わり春になります。日本では春と言えば「新しい一年の始まり」を思い浮かべます。</li> <li>・ なぜなら、春には卒業式と入学式が行われるからです。</li> <li>・ 皆さんの母国では学校を“卒業”する子どもに何かお祝いをしますか？また、学校に“入学”する子どもに何かお祝いをしますか？</li> </ul> <p>→卒業する子どもたちのためにパーティーを開く/卒業の時も入学の時も特別なことはしない/入学式の前日、家族で食事行く</p> <p>※発話内容をホワイトボード大(以下WB大)に板書する。その際、ひらがなのみ、漢字+ひらがななど、学習者の日本語水準により使い分ける</p>	
イメージをつかむ② 学習目標の提示	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ “卒業”と“入学”を比べた時に、日本では“入学”の時にお祝いを贈る習慣があります。お祝いを贈る時、いろいろな決まり事があります。</li> <li>・ そこで、今日はお祝いを贈る時、「何を贈れば良いか、いくら贈れば良いか、渡す時に何と言ったら良いか」を勉強します。</li> </ul> <p>※今日のゴール(絵)と今日のゴール(文)を学習者に提示し、学習目標を共有化する</p>	提示： 今日のゴール(絵)、  今日のゴール(文)

### 活動① お祝い品の選定

サポーターと話す



サポーターと作業をする



### まとめ①

発表する

### 活動② 適正金額の確認

サポーターと話す

### まとめ②

発表する

### 活動③ お金を贈る時の作法

サポーターと話す

- ・「夫の姉の子ども」が入学した時を考えます。
- ・その子どもが①小学校②中学校③高校に入学したとします。
- ・その時、下記の物をお祝い品として贈ることを考えています。  
お菓子/お金/図書カード/ランドセル/制服/文具/スマホ
- ・どの学校に入学する子どもにどの物を贈ることが適切か、隣のサポーターと話して下さい。

※上記人物関連図を WB 大に貼り付けた後、設定を説明する。

※学習者に、会話の中で覚えたい言葉や気が付いた言葉等を記録するため A4 用紙を配布する。

※学習者とサポーターとの会話を円滑に行うため、メモ用紙の代わりとして WB 小を活用する

- ・ それでは下記の物を台紙上の適切な場所に置いてください。

お菓子/お金/図書カード/ランドセル/制服/文具/スマホ

→お金は①小学校②中学校③高校のどの学校に入学した時に贈っても良い。

※その場合“しょうがっこう”、“ちゅうがっこう”、“こうこう”のすべての円が交わる箇所に置く

→ランドセルは子どもの親が買うため、お祝い品として贈らない。

※その場合、3つの円の外側に置く



- ・ それでは下記の物を台紙のどこに置いたか発表して下さい。

→図書カードは①小学校②中学校③高校の全ての円が交わる場所に置いた。/ランドセルは円の外側に置いた。

- ・ お金や図書カードを贈る時、いくら贈れば良いでしょうか。隣のサポーターと話して下さい。話しながら、サポーターまたは学習者がWB小に金額を記載して下さい。

- ・ それでは各学校に入学した時に贈る金額を発表して下さい。

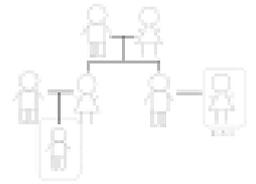
→小学校入学時は5千円ぐらい/中学校の時は1万円。しかし、この地域では中学校は小学校の延長であると考えため贈らない。

- ・ お金を贈ろうと思います。下記のご祝儀袋にお金を入れて贈るのが良いでしょうか。また、どのように贈るのが良いでしょうか。隣のサポーターと話して下さい。

御祝(結切り)/御祝(蝶結び)/寿/御見舞のご祝儀袋/茶封筒

→小さい風呂敷に包み、渡すときにそこから取り出す。/セカンドバックに入れて持ち運び、渡すときにそこから取り出す。

提示：人物関連図

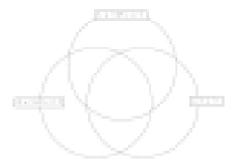


配布：お菓子/お金/図書カード/ランドセル/制服/文具/スマホの写真または絵

配布：A4 用紙

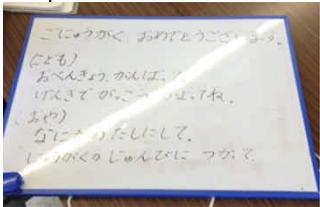
使用：WB 小

配布：台紙



提示：

御祝(結切り)/御祝(蝶結び)/御見舞/寿のご祝儀袋/茶封筒

<p>活動④ 図書カードを贈る時の作法 サポーターと話す</p>	<p>※正解は“御祝(蝶結び)”とのこと(皆さんの地域ではいかがでしょうか)。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 図書カードを贈ろうと思います。どのように贈るのが良いでしょうか。隣のサポーターと話して下さい</li> </ul> <p>→御祝(蝶結び)のご祝儀袋に入れて渡す/そのまま包んで渡す</p> <p>※正解は“図書カードを購入する時に店員に「贈り物用に包んで下さい」と言って贈答用に包んでもらう。それをふくさに包んで持ち運ぶ。ふくさから取り出して渡す”とのこと(皆さんの地域ではいかがでしょうか)。</p>	<p>提示： 図書カード、贈答用 梱包形態</p>
<p>活動⑤ お菓子を贈る時の作法 サポーターと話す</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ お菓子を贈ろうと思います。どのように贈るのが良いでしょうか。隣のサポーターと話して下さい</li> </ul> <p>→包んだ後紙袋に入れてそのまま渡す。</p> <p>※正解は“お菓子を購入する時に店員に「贈り物用に包んで下さい」と言って贈答用に包んでもらう。それを紙袋に入れて持ち運ぶ。紙袋から取り出して渡す”とのこと(皆さんの地域ではいかがでしょうか)。</p>	<p>提示： 包装済空箱+紙袋</p>
<p>活動⑥ 実際に渡す時の作法 サポーターと話す</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 次に「夫の姉さんの家にお祝いを渡しに行きます」その時に何と言って渡せば良いでしょうか。隣のサポーターと話して下さい。</li> </ul> <p>→何かの足しにして/よかったら使って/よかったら皆で食べて</p>	<p>使用： 御祝(蝶結び)のご祝 儀袋、ふくさ、 包装済空箱+紙袋</p>
<p>まとめ⑥ ロールプレイを行う</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ それでは学習者が「夫の姉さんの家にお祝いを渡しに行く」場面を設定します。</li> </ul> <p>&lt;玄関にて&gt;</p> <p>私：こんにちは。〇〇です。ご無沙汰しております。</p> <p>義姉：どうもお久しぶり。どうぞお上がりになって。</p> <p>私：それでは失礼します。</p> <p>&lt;居間にて&gt;</p> <p>私：この度はご入学おめでとうございます。</p> <p>義姉：遠いところありがとうございます。</p> <p>※御祝儀袋をふくさから取り出し、畳んだふくさの上に御祝儀袋を置いて相手に差し出す</p> <p>私：何かのお役に立てていただければと思ひまして</p> <p>義姉：ご丁寧にありがとうございます。</p> <p>私：では私はこれで……。失礼致します。</p>	

<駒ヶ根 こぼれ話>

私ごとで恐縮ですが、このようなお祝い事は全て妻に任せておりました。そのため、現金を贈る場合、いくら包めば良いのか、恥ずかしながら今回の授業で初めて知ることができました。また、お彼岸の期間中は入学祝いを贈るのは避けるべきとのこと。これは全国的な慣わしなのでしょう。それとも駒ヶ根独自の慣わしなのでしょう。まだまだ分からないことが多いです。

24	文化	日本の入学式ってどんなことをするのか？
----	----	---------------------

**<背景>**

日本が母国でない方で、日本で子育てをしている方々は、日本の入学式ではどんなことをするのかイメージできず不安を募らせているケースが多いとききます。その不安を解消するべく日本の入学式で行われること、当日の流れについて学習する運びとなりました。

**<学習目標・ねらい>**

入学式で、当日やることについて知る。入学式の流れがわかる。

会話

**<準備するもの>**

入学式の様子絵カード数枚、記念撮影の写真、小さめホワイトボードとペン

**<ゲスト> なし**

活動の流れ	進行 (学習者の発話は「→」の後、※小文字は心得)	備考 (教材等)
<b>導入</b> 学習者に質問の投げかけ  入学式を思い出すことで今回の学習内容をイメージする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・春になると保育園・幼稚園・学校に入ります。その入るときの催し(セレモニー)をなんというのでしょうか。</li> <li>→保育園・幼稚園・・・入園式</li> <li>→小学校・中学校・高校・・・入学式</li> <li>今日は主に入学式について学習します。</li> <li>・入学式で“すること”とはなんのでしょうか。皆さんの国では、入学式はどんなことをしましたか？</li> <li>→写真撮影・歌を歌う など。</li> <li>・今回は、日本の入学式ではどんなことをするか、最初に何をし、次に何をするのか、その流れについて勉強します。</li> </ul>	入園式・入学式の絵カード
<b>活動①</b> 日本での入学式でやること・流れ  サポーターと話す・読む	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の入学式ではどんなことをするのでしょうか。どんなことが思い出にありますか？</li> <li>・入学式ではどんなことをしたか、日本の入学式に参加したことがある学習者の方と、サポーターの方は各グループで話し合ってみましょう。話し合っただけのことを、ホワイトボードに書いてみましょう。</li> <li>※箇条書きでわかりやすく出してもらおう。</li> <li>ゲストの方には皆さんがどんな話をするか聞いて頂く。</li> <li>→お花をつける、集合写真撮影、体育館に一列に並ぶ、来賓の方が来る、校歌・国歌をうたう・校長先生の話、教科書をもろう。看板の前での写真撮影、クラスのチェック、服装 等。</li> <li>※「来賓」は入学式に来たお客様のこと。</li> <li>※校歌：その学校の歌      国歌：日本の国の歌</li> </ul>	

<p>まとめ① 発表する</p>	<p>各グループ発表（ホワイトボードを見せながら） ※WB に書いていない学習者から発表していただく。 ※実際入学式に参加されたゲストの方々にこれ以外で何かしたことがあれば話していただく。 (みなさんから出してもらったことをホワイトボードに書く) ↓ 出してもらった内容を整理し、入学式の流れがわかるようにする。</p>	<p>記念撮影した写真</p>
<p>活動② ゲストより入学式の際の持ち物・服装の話</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入学式の少し前に、学校または保育園からお便りが（紙）が来て、当日の持ち物などが書いてあります。</li> <li>・実際に入學式に参加されたゲストのみなさんから、入学式の持ち物はどんなものがあったか、お話いただきたいと思います。また、お知らせには書かれてなかったけれど、これ持っていった方がよかった！と思ったもの、当日の服装など気をつけたことについてもお話いただきたいと思います。それではお願いします。</li> </ul>	<p>学校から来た通知書を提示</p>
<p>まとめ② 発表する</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それでは、今日学習して「わかったこと」を一人ずつ発表してみましょう。</li> <li>・今日は入学式の当日の流れ、どんなことをするか、持ち物や服装について学びました。今日やってないことも、あるかもしれませんが、入学式・入園式に行かれるときにぜひ今日学んだことを生かしてみてください。今日の学習を終わります。</li> </ul>	

<p>&lt;駒ヶ根 こぼれ話&gt;</p>	<p>「入学式にやること」で一見提示しないであろう単語が次々とあり、説明に苦慮しました。例えば、お父さん・お母さんではなく、「入学式」のときには「父兄」という言葉を用いられるということや、入学式終了後に教室へ戻って、何順で席に座るのかの場面では、「名簿順」の名簿とは何か などなど。</p> <p>「入学式終了後には写真撮影があります」というのをリアリティに感じてもらえるように筆者の小学校・中学校時代の入学式の記念撮影写真を持っていったところ、「え？何歳？」、「だれだれ？」と会話が盛り上がり、皆必死で探している場面もありました。この部分はイラストではなく、実際のものを見せることによって、少し臨場感がUPし、日本の入学式をもっと身近に感じられたのではないかとと思います。皆さんの顔がいきいきとしているように見えました。</p>
-------------------------	---

25	人間関係	来客① どんな言葉づかいがいいの？ 席順があるの？
----	------	---------------------------

<背景>

教室には国際結婚で来日した女性が多く参加しています。その皆さんは「きれいな話し方がしたい」と言う人が多かったんです。しかもよく日本語が話せる人でも「挨拶やマナー、習慣などは自信がない」と口をそろえて言っていました。そこで彼女たちが遭遇する日本語で話す場面を考え、訪問、来客、電話の取り次ぎが今よりちょっとスムーズに対応できるようになるといいのではと思い、今回は来客を取り上げました。

<学習目標・ねらい>

来客時、今よりちょっとスムーズに対応ができる  
(相手によって言葉を使い分ける、和室、洋室での席順がわかる)

会話

<準備するもの>

画像(敷居、畳の縁、敷居を踏んでいる、縁を踏んでいる、玄関、和室)、和室の見取り図、洋室の見取り図

<ゲスト> なし

活動の流れ	進行 (学習者の発話は「→」の後、※小文字は心得)	備考(教材等)
<p><b>導入</b></p>  <p><b>活動①</b> 訪問時、相手によって言葉を使い分けられる</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これは何ですか。</li> <li>→たたみ</li> <li>・家に畳の部屋がありますか。</li> <li>・畳の部屋を歩きます。これはいいですか。(畳の縁を踏んでいる)</li> <li>・畳の部屋と隣の部屋の間これがあります。これはいいですか。(敷居を踏んでいる)</li> <li>※へり、敷居の語彙、そこを踏まないことを紹介</li> <li>※踏んではいけない理由はいくつかある。</li>   <li>・ここはどこですか。日本語でなんといいますか。</li> <li>→玄関、部屋</li> <li>・どんな人が皆さんの家へ来ますか。</li> <li>→友達、近所の人、子どもの友達、おじいちゃん・おばあちゃん(ご主人のご両親)</li> <li>※他に玄関先で話すだけの人も含めて聞く。</li> <li>子どもの友達のお母さん、郵便局員、セールスの人、友達の家族、学校の先生族</li> <li>※出てきたものを板書する</li>   <li>・この中で部屋へ「どうぞ」とする人はだれですか。</li> <li>・皆さん、人を家に入れるとき、何といいますか。</li> <li>→どうぞ/入って/</li> <li>※「入って」を踏まえつつ、「あがって」を紹介</li> <li>・今から私の家に3人来ます。1番は友達、2番はおばあちゃん(ご主人のお母さん)、3番は学校の先生</li> </ul>	<p>語彙確認： へり、敷居、踏む</p> <p>提示： 玄関、部屋画像</p> <p>語彙確認： 近所の人</p> <p>語彙確認： あがる(上がる) あがって</p>

サポーターと話す



※サポーターに1~3の役をお願いして、ロールプレイをする

例： A：こんにちは。いらっしゃい。どうぞ あがって

B：どうも。

※Bは3人とも全て同じ表現。

- ・全部同じでいいですか。もっと丁寧に言いますか。
- ・(家へあげて話す人たちを指して) この人たちが家に来ました。みなさんドアを開けました。

1. 友達、2. 友達とそこのお主人/奥さん、3. おじいちゃん・おばあちゃん、4. 学校の先生、5. 子どもの友達、この人たちにどう言えばいいですか。グループで考えてください。

※「ガチャ」っとドアを開けたところから考える

※サポーターは「友達には何ていう?」とリードしたり、ロールプレイ的に会話を誘導したりして進める。

※考えられる表現

1. こんにちは。どうぞ あがって。
2. こんにちは。どうぞ あがってください。
3. こんにちは。どうぞ おあがりください。

まとめ①

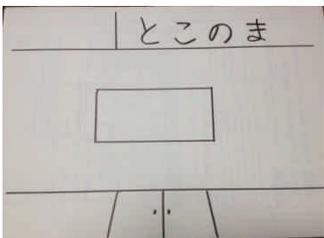
- ・では、やってみましょう。

※ロールプレイをしてもらって発表させる。

※出てきた表現を板書、考えられる表現と合わせて丁寧度、年齢、社会的地位、自分との関係(遠近・仲がいい)で言葉が違うことを整理する

活動② 席順を考える

サポーターと話す



- ・友達/学校の先生が来ました。部屋に来ました。

友達が立っています。皆さんはどういいますか。

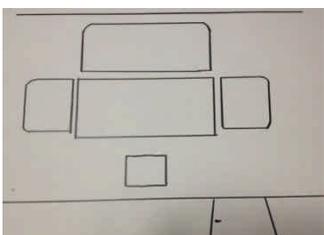
→ここ座って/好きなところに座って

※「ここ座って」の場合はどこに座ってもらうか具体的に聞く。

・日本ではお客さんが来たとき、どこに座るかルールがあります。例えば、この部屋に机があります。どこが1番、2番...4番順番をつけてください。一人で考えて、それからグループで話してください。どうしてその順番ですか、理由も考えて話してください。

※サポーターには相手の反応をみて、わかることばで話すよう心掛けてもらう。

まとめ②



- ・では皆さんで話しましょう。

※全体で席順、理由を確認。

※入口から遠い：上座/入口に近い：下座

・では畳の部屋じゃありません。ソファがある部屋ではどうでしょうか。

※洋室の見取り図を確認(ソファ、肘掛椅子、スツール、出入り口)

提示：

部屋の画像

配布：

和室の見取り図

語彙確認：

床の間

配布：

洋室の見取り図

<p>活動③ どこに座る？どこに座らせる？</p> <p>サポーターと話す</p> <p>まとめ③ 発表する</p> <p>終わりに</p> <p>発表する</p>	<p>※和室と同様に1人で考えてから、サポーターと話し、その後全体で話す。 ※順番はマナーとして覚えておくといいいことを伝える。</p> <p>・次の人が来ました。皆さんどこに「どうぞ」と言うといいでしょうか。 この人たちは皆さんにとって上？下？近い人？遠い人？どうですか。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 家庭訪問で先生が来ました。</li> <li>2. ご主人のお父さん、お母さんが来ました。</li> <li>3. 保険の契約でセールスマンが来ました。</li> </ol> <p>発表</p> <p>・では先生にはどこに「どうぞ」といいますか。 ※「好きな所に座って」と言っても、お客さんはだいたい下座に座るか、どうしようか立っていることが多い ※どうぞと勧めても先生も営業で来た人も下座に座るのが普通</p> <p>・今日、どんなことを話しましたか。 →畳の縁を踏むのはだめ、相手によって丁寧な言葉を使う、お客さんの座る場所 ※学習したことをふり返る ※質疑応答</p> <p>・覚えたこと、覚えたいことはなんですか。 ※覚えたこと、覚えたいことを発表、サポーターも感想など</p>	
--	---	--

**<駒ヶ根 こぼれ話>**

教室のお知らせをした際、どのテーマに興味があるか聞いたら、あるフィリピン出身の女性が「来客」と言ったので、その理由を聞いてみました。彼女は「日本の家はお客さんが座る順番があるよね」と言い、ある失敗した経験を話してくれました。

日本にはお客さんを部屋に通した際に上座を勧めますね。この上座、下座の考えを知らずに彼女は上座に座り、お客さんを下座に座らせる形となったのだそうです。それを見たお姑さんに座る所について注意されたというものでした。

この話をもとに和室と洋室での席順のマナーを取り上げました。参加した皆さんは似たような経験をしているようで、この席順の活動が、その日一番の盛り上がりを見せました。



26	人間関係	来客② 席順って難しい!?(座敷・会議室・車・エレベーター)
----	------	--------------------------------

<背景>

来客①の復習をし定着を図るとともに、より範囲を広げてマナーについて考えるため、会議・宴会・乗車時の席次やエレベーター乗車時のエチケットなどについて話し合う。

<学習目標・ねらい>

来客時、訪問時の挨拶、手みやげの出し方がスムーズに出来る。  
 座敷、会議室、タクシーなどでの席順が理解できる。  
 エレベーターの乗り降りでのマナーを理解できる。

会話

<準備するもの>

会議室・座敷・タクシーの配置図

<ゲスト> なし

活動の流れ	進行 (学習者の発話は「→」の後、※小文字は心得)	備考 (教材等)
<p><b>導入</b> 前回の復習</p>	<p>※新しい参加者の自己紹介をする。            ※前回の復習として次の会話を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お客さんが来てピンポンしました。              ドアを開けて何と言いますか? 客は限定しない。             <ul style="list-style-type: none"> <li>→ どうぞ。 入って。</li> <li>→ どうぞ入ってください。</li> <li>→ どうぞお入りください。 など</li> </ul>             ドアの内側で立ち話。</li> <li>・話が長引きそうです。              お茶でも飲みながら話したいです。              何と言いますか?             <ul style="list-style-type: none"> <li>→ あがって。</li> <li>→ 上がらない?</li> <li>→ お上がりになりませんか?                「入る」と「上がる」の違いをはっきりさせる。</li> </ul> </li> </ul>	<p>玄関→廊下の図を 板書きしておく。</p>
<p><b>活動① 実演</b></p>	<p>※学習者1名・SV1名に出てきてもらって実演をする。            ※お客さんによって表現を変えてもらう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの学校の先生 (サポーター) が家庭訪問で来ました。             <ul style="list-style-type: none"> <li>→ どうぞ (玄関に入れる)</li> <li>→ 子どもがいつもお世話になっております。</li> <li>→ どうぞお上がりください。</li> </ul> </li> <li>・隣の奥さん (サポーター) が来ました。             <ul style="list-style-type: none"> <li>→ お茶でも飲みませんか?</li> </ul> </li> <li>・常会長 (サポーター) が来ました。              普通は上がってもらわない。</li> <li>・宅急便 (サポーター) が来ました。</li> </ul>	

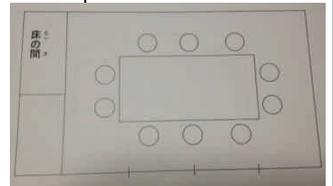
活動② 席順

- ドアの中に入る場合と入らない場合がある。
- これから先生を座敷に案内します。 畳のへりの図、敷居の図を示す。
  - ここを何と言いますか？ → 畳の「へり」  
机の「へり」と同じ  
縁は「へり」とも「ふち」とも  
読むが畳の場合は「へり」  
茶碗・池は「ふち」
  - こうすること何と言いますか？ → 畳のへりを踏む。  
畳のへりを踏んではいけません。
  - どうすればいいですか？ → 畳のへりはまたぎます。
  - これを何と言いますか？ 敷居も踏んでは行けません。  
→またぎます。  
理由：畳のへり、敷居を保護するためと思われる。  
座敷、応接室の図を示し座順の復習をする。  
学習者を指名し回答してもらう。  
応接室の場合入り口の位置を変えて答えてもらう。

畳の写真  
畳のへりの写真  
敷居の写真  
座敷の写真  
玄関の写真

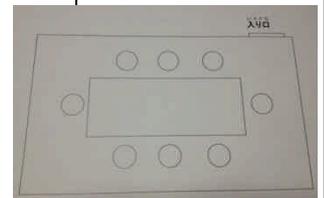
座敷・応接室の図

座敷（宴会場）、会議室の図を学習者に配る。  
SVと相談し順番を記入してもらう。（5分）  
その後学習者に発表してもらう。



まとめ②

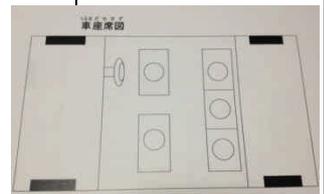
- 皆さんが友達のところ遊びに行く時にどんな手みやげを持っていきますか？  
渡すとき何と言って渡しますか？  
このテーマで討論をする。  
粗品、寸志、厚志の語彙と使い方の説明



タクシー席配置図

活動③ タクシーでの席順

- タクシーの座席を書いた紙を学習者に2枚ずつ配る。
- 務めている会社の新年会が終わりました。  
社長と部長と課長と係長と一緒にタクシーで帰ります。  
どのように座ってもらいますか？  
社長① 部長② 課長③ 係長④ とする。  
Vと相談して各自書いてもらう（5分）  
その後学習者に発表してもらう。  
理由：運転手の後ろ>助手席の後ろ>助手席の順で安全
  - お客さんが運転する車に乗る場合はどう座りますか。  
全員に問いかけ学習者とSVで相談して用紙に書いてもらう。（5分）  
その後発表してもらう。  
理由： お客さんに気を使い社長が対応する。

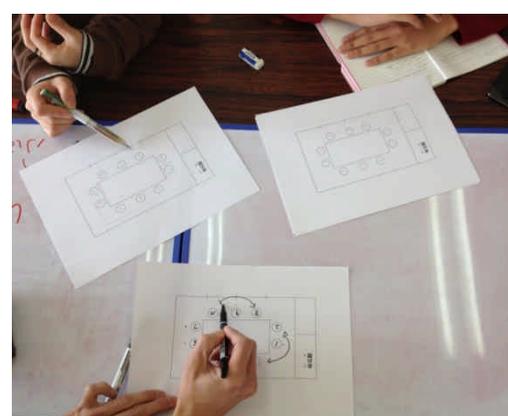


活動③ エレベーターでのマナー

- 皆さんがエレベーターに乗ろうとしています。一緒に乗ろうとしている人が数人おり皆お客さんです。  
どのように乗りますか。  
SVと相談して学習者にWBに書いてもらう。（5分）

<p>終わりに</p>	<p>書くのが苦手な場合はSVが書いても良い。          発表する          → 一番最後に乗り込む。          → ドアが閉まらないように押さえている。          → ドアの左手前側にのり、後で乗ってきた人の行き先を聞いてボタンを押してやる。          「何階ですか？」          → 途中で下りる人がいれば、全員が降りるまで「開」ボタンを押す。          降り終わったら「閉」ボタンを押す。          ・エレベーターから降りるときはどうしますか。          SVと学習者が相談しWBに記入する。(5分)          書き終わったら発表する。          → 最後に降りる。          → 全員が降りるまで「開」ボタンを押している          「開」、「閉」の語彙説明 その他のマーク確認</p> <hr/> <p>・ 前回質問のあった北枕についての説明を行う。          その他質問を受け付ける</p>	
-------------	--	--

<p>&lt;駒ヶ根 こぼれ話&gt;</p>	<p>教室の最後に質問がありました。          「エスカレーターに乗るときのマナーはどうですか？」というものです。          関東ではエスカレーターの上で歩かない人は左側に止まって乗ります。          急ぎの人は右側を登ります。動く歩道でも同じです。          関西では逆です。          名古屋は関東の部類にはいるようです。          駒ヶ根は関東と同じです。          駒ヶ根の文化圏は名古屋に近いのですが大きく分ければ関東の部類に入るようです。          飯田以西になると関西の影響が方言などに入ってくるようです。</p>
-------------------------	--



27	人間関係	訪問 手土産をわたす時、どうしてる？
----	------	--------------------

<背景>

日本人の家庭を訪問した際の話し方やマナーは国際結婚で来日した女性にはなかなか難しいようです。日本語は相手によって話し方を変えなければならないからです。しかし、日常生活で難しさを感じていても、それを秩序立てて知る機会はなかなかないようです。そこで今回は「訪問」の際の会話を取り上げました。

<学習目標・ねらい>

訪問時、今よりちょっとスムーズに会話ができる。  
(相手によって言葉を使い分ける)

会話

<準備するもの>

特になし

<ゲスト> なし

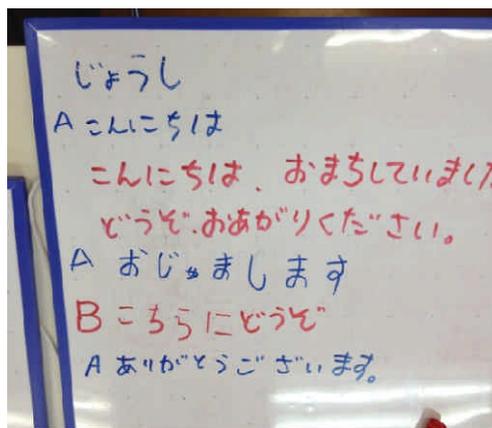
活動の流れ	進行 (学習者の発話は「→」の後、※小文字は心得)	備考 (教材等)
<p><b>導入</b></p> <p>サポーターと話す 発表する</p> <p>サポーターと話す 発表する</p>	<p>・みなさんは、どんな時にほかの人の家を訪問しますか。 →友達の家で食事をしたり、お茶を飲んだりするとき 近所の人に贈り物、おすそ分けを持っていく時 上司の家に招待された時</p> <p>・みなさんは、他の人の家を訪問するとき約束しますか。 どんなとき約束しますか。どんなとき約束しませんか。 →する。用事がある時、渡す物がある時 →しない。近くに来た時</p>	<p>語彙確認： お裾分け、上司、招待</p>
<p><b>活動①</b> 訪問先によって言葉を使い分けられる</p> <p>各自、自由に答える</p>	<p>・みなさんはだれの家へ行きますか。 →友達、近所の人、おじいちゃん・おばあちゃん（ご主人／奥さんの両親）、会社の上司 ※思い付いたものをできるだけたくさん挙げてもらう</p> <p>・この人たちの家に行きました。何といいますか。 →こんにちは、ごめんください、すみません、しつれいします</p> <p>・人の家に行きました。どんな会話をしますか。 今から例を一つ見てみましょう。例えば、友達の家に行きます。 ※サポーターに以下のダイアログを実演してもらう</p> <p>例： A: こんにちは。 B: こんにちは。いらっしゃい。どうぞ あがって。 B: どうも。</p>	<p>語彙確認： ごめんください</p>



<p>まとめ②</p> <p>発表</p>	<p>例： A:これ、つまらないものですが、どうぞ。</p> <p>B:そんな、気をつかわないでください。</p> <p>A: いえいえ、どうぞ。</p> <p>B: そうですね、じゃ、遠慮なくいただきます。すみません。</p> <p>※モデル会話を板書する</p> <p>・では、みなさんグループで練習してください。</p> <p>※学習者同士でロールプレイ形式の練習をさせる。学習者が奇数の場合、サポーターが相手を務める。</p> <p>※モデル会話に特にこだわる必要なし。</p>	
<p>終わりに</p> <p>サポーターと話す</p> <p>発表</p>	<p>・では、やってみましょう。</p> <p>※グループごとに発表</p> <p>※新しい語彙や表現が出てきたら板書し、発表終了後確認</p> <p>・今日、どんなことを話しましたか。</p> <p>※振り返り、質問受け付け</p> <p>※覚えたこと、覚えたいことを発表する</p> <p>※サポーターの感想</p>	

**<駒ヶ根 こぼれ話>**

この日は風呂敷の紹介も行いました。参加者の皆さんの多くは、風呂敷は知っていても実際に使っているところはあまり見たことがなかったらしく、盛り上がりました。四角い箱状のものだけでなく、ビンやリングなどを包むのを興味津々で見っていました。また、お祝いや香典を包んだり、手提げ袋として使ったりと、意外な使い方があるのを知って驚いた参加者もいたようです。風呂敷を使っていろいろなものを実際に包んでもらいましたが、みなさんとても楽しそうでした。



28	人間関係	ちょっとしたお礼が言える、ちょっとした話ができる
----	------	--------------------------

**<背景>**

ちょっとした物をお付き合いのあるご近所の方から頂いた時、その場でお礼を言いますね。そして後日会った際にもお礼を言っていないませんか。あげた人はお礼を言われて嫌な気分はしませんし、喜んでもらえたと思って安心するのかもしれませんが。もらった人は失礼がないように再度お礼を言います。このお礼を言い忘れると「しまった…」と思い、礼を欠いてしまったと悔やまれる人もいるのでは…。

それから長期休みの後に会社に出社した際、どんな話をするでしょうか。当たり障りなく天気や休みに何をしたかを話題にすることが多いのではないのでしょうか。どんなことを話題にしたらいいのかわかっていれば、自分からも話しかけることができるようになるかも…と思って取り上げました。

**<学習目標・ねらい>**

ちょっと前のことについてお礼が言えることで、円滑な対人関係が築ける。  
長期休暇後、隣人とちょっとした会話ができることで、円滑な人間関係が築ける。

会話

**<準備するもの>**

お菓子や果物などの画像、または実物、画像（スーパー、会社、同僚）

**<ゲスト> なし**

活動の流れ	進行（学習者の発話は「→」の後、※小文字は心得）	備考（教材等）
<p><b>導入</b></p> <hr/> <p><b>活動①</b> お礼を言うタイミング、どうして言うのかを考える</p>	<p>・友達や近所の人、会社の人にお菓子や果物をもらったことがありますか。あげたことはありますか。</p> <p>・どんなときにあげたり、もらったりしますか。</p> <p>→国のお土産がある。旅行などに行ったとき。いっぱい作った時。</p> <p>・今日は、皆さんがもらった時、その後、お礼が言えますか。お礼を言わないとどうなりますか。これを最初に話します。それから近所の人と話しますか。会社の人と休み時間に話しますか。これも後で話します。</p> <hr/> <p>・こんな時、皆さんはなんといいいますか。</p> <p>※場面1の設定を説明する</p> <p style="padding-left: 20px;">A: 倉田さん（近所の人で日本人）、B: シランさん（外国人）</p> <p>A: Bさん、こんにちは。</p> <p>B: “私はなんといいいますか”と学習者に尋ねる</p> <p>A: これどうぞ。たべてください。</p> <p>B: “私はなんといいいますか”と学習者に尋ねる</p> <p>A: それじゃ、またね。</p> <p>※「こんにちは」のほかになにか言うか学習者に尋ねる。⇒「お久しぶりです」、「今日も寒いですね」などが予想される。</p> <p>※「ありがとう（ございます）」のほかになにか言うか学習者に尋ねる。⇒「これどうしたのですか」などが予想される。</p>	<p>備考（教材等）</p> <p>使用： お菓子、果物</p>



<p>サポーターと話す</p>	<p>※「どうぞ」のほかにあげるときに何かいいですかと学習者に尋ねる。⇒「たくさんとれたから」などが予想される</p> <hr/> <p>・こんな時、皆さんはどうしますか。 ※場面2の設定を説明する</p> <p>・シランさんは近所の倉田さんにお菓子をもらいました。シランさんはスーパーで会いました。</p> <p>A: Bさん、こんにちは B: こんにちは A: 買い物ですか。 B: はい。…。 A: …。それじゃ、またね</p> <p>・Aさんは、なにかちょっと、変な顔をしましたね。どうしてでしょうか。 ①Aさんはどうして変な顔をしましたか。 ②皆さんがBさんだったら、どのようにAさんと話しますか。 グループで話しましょう。 ※サポーターがグループでの話をまとめられるよう、Vは各グループを見ながらサポートする。</p> <p>・発表の時間にしましょう。 ①Aさんはどうして変な顔をしましたか。 →お礼を言わない ②皆さんがBさんだったら、どのように話しますか。 →この前は、ありがとう／お菓子ありがとう ※Vは出てきたものを板書する。 ※どうしてちょっと前のことについてお礼を言うのか、ポイントを見せて説明する ※「この前／先日」など出てきた言葉は、どれぐらい前のことについて使うのか、学習者に問いかけて意見をだしてもらってまとめる。</p>	<p>画像提示： スーパー</p>
<p>まとめ①</p> <hr/> <p>活動② サポーターと話す</p>	<p>・場面1と場面2を通して、会話を考えてください。その後、みんなの前で発表してもらいます。 ※グループに1枚「分けてあげるもの」の画像を配る。 ※シランさんにあげる理由をグループで考えてもらう。 ※サポーターは分けてもらったものの理由をどうするかの話し合いをリードしたり、練習を促したりする役割を担ってもらう。</p> <p>※各グループ発表 ※フィードバック</p>	<p>画像配布： お菓子、果物</p>
<p>活動③ 長期休暇後に同僚と</p>	<p>・ちょっと長い休みの後、会社へ行きました。同僚（会社の人）</p>	<p>画像提示：</p>

<p>ちょっとした会話をする</p>	<p>と会って、挨拶をしました。その後、何を話しますか。 →天気、休み… ・例えば、休みがありました。何をしましたか聞きます。何と言いますか。 →何をしましたか／どこへいきましたか… ・皆さんの話をまとめると、こんな感じの会話になりますね。 ※場面3の設定をして、以下の会話をVと学習者で行う。 A: 原さん(同僚で日本人)、B: リンダさん(ブラジル人) A: 寒いですね。 B: そうですね。寒いですね。 A: 休みは何をしてましたか。 B: 家で子どもと遊びました。 A: そうですか。</p> <p>※Vは学習者で反応のよい人を相手に、みんなの前でロールプレイを行う。その際、Vは上記の会話を終わらせずに、例えば「そうですか。お子さんは何歳ですか。」とか、「どんなあそびをしたんですか」とか「よくお子さんとあそびますか。」など、一つ、二つ話をふくらませて、例を見せる</p>	<p>会社、同僚</p>
<p>サポーターと話す</p>	<p>・「休みは何をしてましたか。」とペアで話したら、ペアを変えて話してください。 ※サポーターは「何をしましたか」に合わせて、一つ、二つ話を膨らませるようにする。 ※サポーターは学習者が言おうとして言えないところを適切な言葉に置き換える手伝いをする。学習者はメモを取るようにする。</p>	
<p>まとめ③ 発表する</p>	<p>※今のペアのまま発表してもらおう。 ※フィードバックで、いいところ、変なところをコメントする</p>	
<p>終わりに  サポーターと一緒に書く</p>	<p>・今日は何を話しましたか。覚えたこと、わかったことはありますか。 ※学習したことをふり返る ※覚えたこと、わかったことなどをサポーターは学習者が自分で言ったことを文にするときに、手伝う形で、例を見せてあげたり、適切な言葉を伝えたりする形でサポートする。</p>	

**<駒ヶ根 こぼれ話>**

私たちの教室が始まって1年目は、教室活動を軌道に乗せることを最重要課題として取り組んだ1年でした。計画したことと、実際は大きくかけ離れていることが多く、教室活動の内容、展開の仕方、学習者のニーズの把握をどうやってするかなど、課題が山積みでした。教室が今あるのはボランティアの皆さんのヤル気と、教室に期待をして参加してくれる数人の外国人に支えられて、試行錯誤を繰り返してきた賜物だと思います。

手探り状態だった教室活動の形は1年目の3期目(最後)の教室がスタートしたころ、ようやく形が出来てきました。この活動はちょうどその頃に扱ったものです。

29	人間関係	日本の文化や習慣を友人にきいてみる
----	------	-------------------

<背景>

私たち日本人が日本の社会では普通だと思っていることや普通に使っていることが、実は海外の人から見ると不思議に思えることってたくさんあるようです。考えてみれば当たり前ですよ。私たち日本人でも生まれた地域、育った環境が違えば言語面では方言やアクセントが違ったり、食べ物や行事に対する習慣に違いがあったりしますから。日本国内でも違いがあるのですから、国が違えば文化習慣が違うのは当たり前と頭では理解できますね。

では、どんなことに戸惑いを感じたり、不思議に思ったりするのでしょうか。例をあげると、どうして日本では夫や妻を呼ぶ時に、子どもが出来るといつの間にか「おとうさん」「おかあさん」とお互いを呼ぶようになるのでしょうか。それからどうして「つまらないものですが…」と言ってちょっとした贈り物をするのでしょうか。こんなことを外国人の方に聞かれたら、皆さんは何と説明しますか。お互いの文化習慣を知るのにとってもよいテーマだと思いませんか。言いたいことが伝わるかどうかは、お互いの工夫次第です!!

<学習目標・ねらい>

日本についての身近な疑問、日本文化について感じた疑問を尋ねることができる。  
その理由も考え、日本について理解を深める。

会話

<準備するもの>

画像（タコ、卵、夫婦）

<ゲスト> なし

活動の流れ	進行（学習者の発話は「→」の後、※小文字は心得）	備考（教材等）
<p><b>導入</b></p> <hr/> <p><b>活動①</b> 日本について不思議に思うことを挙げる</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これは何ですか。皆さんはこれを食べますか。</li> <li>・日本ではこれ食べます。</li> </ul> <p>※タコ：刺身（生）、卵：生で食べることを紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・〇〇さんです。結婚しています。この人はだれですか。</li> <li>・皆さんはご主人・奥さんのことを何と呼びますか。</li> <li>・子どもが生まれた後も同じですか。</li> <li>・日本では子どもが生まれると「お父さん」と呼ぶことがあります。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・みなさんは日本に住んで何か変だな、私の国と日本は違うと思ったことはありますか。</li> <li>・それを誰に聞きますか。</li> <li>・今日は、サポーターと一緒に日本について不思議だな、私の国と違うなと思うことを聞いたり、その理由を考えたりします。</li> </ul> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> <li>・みなさんは「国と違う。どうして?」と思うことはありますか。例えば、<b>食べ物、挨拶、生活、学校、仕事、行事</b>…について考えてみましょう。サポーターの人はでてきたことを簡単にメモ</li> </ul>	<p>画像提示： タコ、卵、夫婦</p> <p>語彙確認： 食べ物、挨拶、生活、学校、仕事、行事</p>

<p>サポーターと話す</p> <p><b>まとめ①</b> 発表する</p>	<p>してください。</p> <p>※話し始めやすいように上記項目を挙げる。どれから話してもいいし、ここに当てはまらないことでもいい。思っていることを話しながら、出てくればよし。</p> <p>※サポーターも不思議に見えるかもしれないことを挙げ、学習者に聞いてみる。</p> <p>※どうしてか理由を考えこんでしまわないように注意する。理由は後で考える時間があることを伝える。</p> <p>※出てきたことを、自分の言葉で発表してもらおう。</p> <p>※その後、その発表について補足があれば、サポーターにしてもらおう。</p>	
<p><b>活動②</b> 質問の型を考える サポーターと話す</p> <p><b>まとめ②</b> 発表する</p>	<p>・例えば、子どもが生まれると、夫をお父さんと呼びます。妻をお母さんと呼びます。不思議に思います。これを日本人の友達に聞きます。どうやって言いますか。</p> <p>→どうして子どもが生まれると、夫をお父さんと呼ぶんですか。</p> <p>※出てきた表現を板書して、質問の型を整理する。</p> <p>※予想される表現</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ どうして～ですか／～ますか／～んですか。</li> <li>・ なぜ（なんで）～ですか／～ますか／～んですか。</li> <li>・ どんとき、～ですか／～ますか／～んですか。</li> </ul> <p>・ 皆さんが思う不思議を「どうして…」 「なぜ…」 を使って文にしてみましょう。サポーターの人も一緒に考えてください。</p> <p>作った文をホワイトボード（小）に書いてください。</p> <p>※ボードに書くのはサポーターと学習で話して決める。</p> <p>・ ではどんな質問文をつくりましたか。発表をお願いします。</p> <p>※学習者が発表</p>	
<p><b>活動③</b> 作った質問に対して、理由を考える サポーターと話す</p>	<p>・ 質問ができたので、次はその答え、理由を考えましょう。</p> <p>例えば、どうして子どもが生まれると、夫をお父さんと呼ぶんですか。どうしてですか。</p> <p>→名前を言うのが恥ずかしいから／夫婦じゃなくて、家族で考えるから</p> <p>・ 理由はいろいろです。それから答える時は「～からです」で答えます。「どうして～」のときは「～からです」です。</p> <p>・ 作った質問を違うグループにして、質問の答え、理由を考えて、書いてください。</p> <p>※質問を書いたホワイトボード（小）を交換する。</p> <p>※理由はサポーターと学習者と一緒に考える。サポーターは自分の話したことがわかっている様子かどうかを見ながら話すようにする。</p>	

<p>まとめ③ 発表する</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・〇〇さんの質問を××さんのグループが理由を考えました。〇〇さんが××さんに質問します。××さんが答えます。どう話を始めますか。</li> </ul> <p>※友達に質問する設定にして話しかけ方を確認する。</p> <p>※予想される表現</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. あの、ちょっといいですか。</li> <li>2. あのう、すいません。</li> <li>3. あのう、いつも疑問に思うんだけど。</li> </ol> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会話してみましょう。</li> </ul> <p>→A: あの、ちょっといいですか。 どうして子どもが生まれると夫をお父さんと呼ぶんですか。</p> <p>B: そうですね。子どもを中心に考えるからです。</p> <p>A: そうですか。ありがとうございます。</p> <p>※できるだけ書いたものを見ない。</p>	
<p>終わりに</p>	<p>※ホワイトボード（小）に書かれた質問と答えを学習者・サポーター全員が移動して、それを読む。</p> <p>※今日覚えたこと、覚えたいこと、感想を参加者全員発表</p>	

**<駒ヶ根 こぼれ話>**

このテーマで話した時、最初「タコ」「生タマゴ」「納豆」など、外国人が遠慮する日本の食べ物を例に出しました。日本の不思議をイメージしてもらおうと提示してみたわけですが、皆さんの反応が「よく食べます」とか「大丈夫です」という予想を反するものだったので、このテーマで活動を牽引したボランティアさんは驚いたという感想を述べていました。こういった驚きをもたらえるのも教室の醍醐味です。

では外国人は日本のどんなことに不思議だなと感じていたかということ、日本人には思いもよらない質問が飛び出してきて、聞いていて面白かったです。

例えば、「どうしていつも男が先なんですか」。これはレディーファーストの文化、価値観を持っている人からの質問でした。

また、こんな質問もありました。「どうして、夏、お風呂に入りますか。上がった後、暑い暑いと言っているから、暑かったら、入らないほうがいいです。どうしてですか」との質問が出ました。この質問がだされた時、「お風呂に入るとさっぱりするから」と内心は思いつつも、思わず笑ってしまいました。どうしてかということ、夏でも湯船につかってリラックスすることに何の疑問も持たず、季節を問わずシャワーより本当は湯船につかったほうが良いと思っていたので、意外な点をつかれたと思ったんだと思います。

日本という国、日本人、日本の生活について、外国人の見方を知ることができ、日本人としては自分達のことについて客観的に見るよい機会となったと思います。



30	人間関係	地域行事のお知らせがきたけれど・・・
----	------	--------------------

**<背景>**  
 駒ヶ根市では地域行事のお知らせは回覧板でまわしています。これは地区の自治会に入っていないとまわってこない物です。ある程度地域に慣れてきて、ある程度日本語で話せるようになって、なかなか地域の習慣や行事に参加するのは付き合い方がわからないので遠慮しがちになっている人が多いようです。国際結婚で来日したお嫁さんは、ご主人やおじいちゃん、おばあちゃんに任せていることが多いだろうと思いますが、自治会の行事の他に地区子ども会というものがあり、お子さんがいたら地域行事のお誘いは何かしらあるようです。

そんなわけで、地域にどんな行事があるか、お知らせを見てどうする、参加するにはどう伝えればいいのかを取り上げてみました。また、自治会という組織についてもお話しできる方にゲストに来ていただいて、ちょっと話しを聞くことにしました。今回のゲストは市役所職員の方をお願いしましたが、自治会長さんをお願いしてもいいですよ。

<b>&lt;学習目標・ねらい&gt;</b> 地域にどんなお知らせがあるか話す お知らせの内容がわからない時、参加したい時の上手な聞き方、伝え方ができる 自治会について知る	会話・読み
--	-------

**<準備するもの>**  
 回覧板、地域行事のお知らせ（防災訓練、運動会、清掃など）、地区分館報

**<ゲスト>** あり（市役所職員）

活動の流れ	進行（学習者の発話は「→」の後、※小文字は心得）	備考（教材等）
<b>導入</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・何をしていますか。</li> <li>・見たことはありますか。</li> <li>・どんな人たちが参加していると思いますか。</li> <li>・場所はどこですか？</li> </ul> <p>※清掃、お祭り、防災訓練の画像を見せて、それがどんなものなのか聞く。</p> <p>→そうじ、避難訓練、祭り          →近所の人、会社の人、子ども</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校でお父さん、お母さん達が掃除をする時がありますね。</li> <li>・近所の人たちと一緒に掃除をする時もありますね。</li> <li>・他に地区の子ども会、どんど焼きなどがあります。他に知っているものはありますか。</li> </ul> <p>→〇〇〇</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今日は地域の行事について勉強します。</li> </ul>	提示： 市内清掃、お祭り、防災訓練の画像
<b>活動①</b> 地域の行事は外国にはある？どうやってお知らせする？ サポーターと話す	<p>※ここで、町4区分館報を各テーブルに配る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これは何をしていますか。子どもだけじゃないですね？大人もいますね。</li> </ul> <p>→運動会</p>	配布： 地区分館報

<p>サポーターと話す サポーターと一緒に書く サポーターと読む</p> <p><b>まとめ①</b> 発表する</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どこの運動会ですか。わかりますか。(地区の運動会です)聞いたことはありますか?</li> <li>・このお知らせはどうやって来ますか?「〇〇さん今度運動会があります」と電話が来ますか?来たことはないですよね?</li> <li>・自分の国、町では、こういう集まりがありますか?ある場合は、どうやって知りますか。話してください。サポーターの皆さんには話を聞いて、わかったこと、日本と違うこと等、感想を発表してもらいます。</li> <li>・では皆さんの国、町ではどんな集まりがありますか。どうやって知りますか。発表をお願いします。</li> <li>・サポーターの皆さんの感想はどうですか。</li> </ul>	
<p><b>活動②</b> 行事のお知らせを見る サポーターと話す サポーターと一緒に読む</p> <p><b>まとめ②</b> 発表する</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本では町のお知らせや、地域のお知らせはどうやって知りますか。</li> <li>→市役所のお知らせ(市報)、回覧板 <ul style="list-style-type: none"> <li>※回覧板の実物を提示</li> </ul> </li> <li>・回覧板を知っていますか。 <ul style="list-style-type: none"> <li>※わかることを話してもらおう。</li> </ul> </li> <li>→隣の家から来て、見て、次の家にまわす</li> <li>・例えば皆さんの家にお知らせが届きました。何が書いてありますか。わかることをサポーターに話してください。</li> <li>・それから、次の時、どうしますか。自分だったらどう言うか、話してください。サポーターの人も自分だったらどう言うか話してください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>※サポーターは話しやすいように「どこを最初に見ますか」「これは」など聞くようにする。</li> <li>※サポーターは話し合ったことをホワイトボードに書く</li> </ul> </li> <li>1. 何のお知らせかわからない時、どうしますか。 <ul style="list-style-type: none"> <li>どうやって聞きますか。</li> </ul> </li> <li>2. 係の人に「参加します」をどうやっていいですか。</li> <li>・ではそのお知らせには何が書いてありますか。</li> <li>→〇〇のお知らせ、時間、場所・・・</li> <li>・何のお知らせかわからない時、どうしますか。 <ul style="list-style-type: none"> <li>→人に「読んでください」とお願いする/主人にお願いする</li> </ul> </li> <li>・どうやって言いますか。 <ul style="list-style-type: none"> <li>※誰に言うかも聞く。</li> <li>※全体でどんなことが出たか、ホワイトボードに書いてまとめる。(丁寧度を整理する。相手に対して失礼じゃないかも確認。)</li> </ul> </li> </ul>	<p>提示： 回覧板</p> <p>配布： お知らせ(防災訓練、運動会、清掃など)</p> <p>語彙確認： 参加します</p>



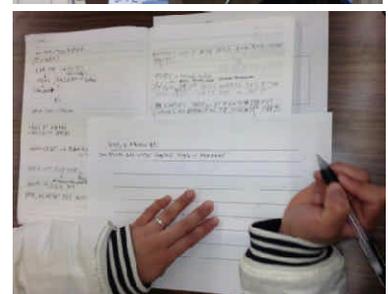


<p>まとめ① 発表する</p>	<p>→上司に休むお願いをする（許可をもらう） →子どもの友達のお母さんに部活の迎えをお願いする ※書くのは学習者。書けない人はVが書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どんなお願いをしますか。話したことを発表お願いします。 ※お願いの事例を「誰に」「何を」がわかるように板書する。 ※その中から一つ取り上げる事例をとりあげて、次に表現の整理をする。</li> <li>・お願いするとき、どんな言い方がありますか。 「すみません。子どもと一緒に迎えに行って・・・」</li> </ul> <p>→子どもを迎えに行ってくれませんか。 ※考えられる表現 例：～していただけませんか。・・・会社の人・上の人・親しくない人 ～してください。・・・会社の人 ～してくれませんか。・・・会社の人、友達、子どもの友達のお母さん ～してよ。／～してくれよ。・・・友達、主人、妻 ～してほしいんですが・・・お願いできますか。・・・会社の人、上司、子どもの友達のお母さん</p> <p>※学習者に発言してもらいながら「お願い」文型を板書し、それぞれがどんな場合に適切か示してゆく。</p>	
<p>活動② 整理した形を使って お願いを会話でやってみる サポーターと話す</p> <p>まとめ② 発表する</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・では、みなさんが出したお願い事例を、今話した形を使って、サポーターにお願いをしてみましょう。 ※話しの切り出し方と終わり方をどうするかを個々に会話を始める前に確認する。 ※Vは学習者のお願いに対し、受ける場合は必要な取り決め事項など提起し会話を終わらせる。断る場合は理由とそれに対する学習者の応答を促す。 ※サポーターはどんなシチュエーションかを確認してから役割を演じる。</li> <li>・では発表をお願いします。 ※使い方、身振りなどがどうだったかフィードバックを行う。</li> </ul>	
<p>活動③ 誘う事例の案出と表現の整理 サポーターと話す</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・では今度は誰を、どんなことに誘いますか。グループで話してください。サポーターも一緒に話してください。それをホワイトボード（小）に書いてください。 例えば、「同僚を食事に誘います」「友達を日本語教室に誘います」とか。 ※活動①と同様の手順で進める</li> </ul>	
<p>まとめ③ 発表する</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・誰をどんなことに誘いますか。話したことを発表お願いします。 ※誘う事例を「誰を」「何に」がわかるように板書する。 ※その中から一つ取り上げる事例をとりあげて、次に表現の整理をする。</li> <li>・誘うとき、どんな言い方がありますか。 「あの、今度みんなで食事に行・・・き・・・」</li> </ul>	

	<p>→「あの、今度みんなで食事に行きませんか。」</p> <p>※考えられる表現</p> <p>例：～ませんか。…上司、同僚、子どもの友達のお母さん、友達 ～ましょう（よ）。…同僚、子どもの友達のお母さん、友達 ～しようよ。…友達 ～しない？…友達</p> <p>※学習者に発言してもらいながら「誘う」ときに使える文型を板書し、それぞれがどんな場合に適切か示してゆく。</p>	
<p>活動④ 整理した形を使って お願いを会話でやってみる サポーターと話す</p> <p>まとめ④ 発表する</p>	<p>・では、みなさんがだした誘う事例を、今話した形を使って、グループで会話をしましょう。サポーターの人をたくさん変えて誘ってみましょう。</p> <p>※話の切り出し方と終わり方をどうするかを個々に会話を始める前に確認する。</p> <p>※サポーターは学習者の誘いに対し、受ける場合は必要な取り決め事項など提起し会話を終わらせる。断る場合は理由とそれに対する学習者の応答を促す。</p> <p>※サポーターはどんなシチュエーションかを確認して、相手になる。</p> <p>・では発表をお願いします。</p> <p>※使い方、身振りなどがどうだったかフィードバックを行う。</p>	
<p>終わりに</p>	<p>・最後に今日、何を覚えましたか。覚えたいことは何ですか。</p> <p>※今日、やったことをふり返る</p> <p>※今日覚えたこと、覚えたいこと、感想を参加者全員発表</p>	

**< 駒ヶ根 こぼれ話 >**

ある女性が一時帰国するので、そのために休みを取らなければならない、上司にどうやって上手に休みのお願いを申し出たらいいのか、サポーターの人と熱心に話していました。その話題が知りたいこと（ニーズ）にはまると学習者の参加する姿勢が違って来るのだなと思いました。また、全体で一つのテーマで進んではいますが、横に一緒に座るサポーターに気軽に自分の気になることをもう少し時間をかけて話したりできるのがこの教室活動のイイところ！！だと思いました。



32	電話対応	電話対応どうしてる？ 緊張する？
----	------	------------------

<背景>

教室には国際結婚で来日した女性が多く参加しています。その皆さんは「きれいな話し方がしたい」と言う人が多かったんです。しかもよく日本語が話せる人でも挨拶やマナー、習慣などは自信がないと口をそろえて言っていました。そこで彼女たちが遭遇する日本語で話す場面を考え、訪問、来客、電話の取り次ぎが今よりちょっとスムーズに対応ができるようになるのではないかと思います、今回は電話対応を取り上げました。

<学習目標・ねらい>

電話対応で、今よりちょっとスムーズに対応ができる  
(今話せるか聞く、呼び出す、かけ直すことを伝える場面に限定)

会話

<準備するもの>

<ゲスト> なし

活動の流れ	進行 (学習者の発話は「→」の後、※小文字は心得)	備考 (教材等)
<p><b>導入</b></p> <hr/> <p><b>活動①</b> 話せるか尋ねる／呼び出してもらう</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今日は電話のマナー・話し方について話します。</li> <li>・電話を…何をしますか？ か… で… き…</li> <li>→ (電話を) かけます／でます (電話に) /切ります (電話を)</li> <li>※基本的な語彙を確認</li> <li>・会社じゃない。仕事じゃない。家の電話に出る時、何といいですか。 どれがいいですか。</li> <li>1. はい、〇〇です。</li> <li>2. はい、〇〇でございます。</li> <li>3. もしもし、〇〇です。</li> <li>4. もしもし、〇〇と申します。</li> <li>※1,3が〇。2は会社で電話に出る時で1も〇。4はかけた側</li> <li>・例えば、子どもの友達のお母さん、学校の先生、地区の人と電話で話します。話しが終わって、電話を切ります。切る時、何と言って切りますか。</li> <li>→失礼します。</li> <li>※話しが終わって、電話を切るサイン</li> <li>・かけた人と出た人と、どちらが先に電話を切りますか。</li> <li>→かけた人</li> <li>※用事があって電話をかけたから、その人より先に切って、もし用事が終わってなかったら失礼になるから。</li> <li>・電話をかけるのと電話に出るのでは、どちらが難しいですか。</li> <li>・電話をかける人は最初、どう話したらいいでしょうか。それから電話にでる人は「今、大丈夫です」の時はいいですが、「今ち</li> </ul>	<p>語彙確認：</p> <p>(電話を) かけます / 切ります / (電話に) でます</p>



<p>活動② かけ直すタイミングを尋ねる</p> <p>サポーターと話す</p> <p>まとめ② 発表する</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・かけ直すとき、どうしますか。かけ直したとき、またいないかもしれません。</li> <li>・1、2の会話で何時にかけ直したらいいか、どうやって聞いたらいいか考えましょう。</li> </ul> <p>※サポーターは活動1同様の働きかけを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どうやって聞きますか。</li> </ul> <p>※表現例</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 何時頃がいいですか。</li> <li>2. 何時頃戻られますか。お戻りになりますか。お戻りですか</li> </ol> <p>※戻られる・お~になる（尊敬語）／お戻り+です 丁寧語</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3はどうしますか。</li> </ul> <p>※サポーターにも聞く</p> <p>※表現例</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>3. じゃ、10分後ぐらいにかけ直します。</li> </ol>	
<p>終わりに</p>	<p>&lt;表現の確認程度&gt;※時間があれば取り上げる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校・中学校の先生、保育園の先生から電話です。</li> </ul> <p>A：はい、〇〇です。</p> <p>先：〇〇小学校1年3組の松岡と申します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・みなさんは先生に何と言いますか。</li> </ul> <p>→〇〇がいつもお世話になっています（おります）。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・その次、先生がこう言いました。</li> </ul> <p>先：〇〇君は熱があるので、迎えに来てください</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・皆さんは何と言いますか。</li> </ul> <p>→わかりました。（ご迷惑をおかけしてすみません）</p> <p>〇時ごろ迎えに行きます。</p> <p>※行く時間を伝えるといい。先生が帰る用意をしてくれる</p> <p>※今日、覚えたこと、覚えたいことを発表、サポーターも感想など</p>	

<p>&lt;駒ヶ根 こぼれ話&gt;</p>	<p>この活動は考えただけで実際の教室は行えませんでした。実は予定していた日、大雪が降り、なんでも10年ぶりの積雪を駒ヶ根市内は記録したそうです。</p> <p>せっかく前日までに外国人の皆さんに「来てね」とメールをしたし、一生懸命準備したのに…という思いもありましたが、朝早く、「大雪のため教室を休みます」との連絡が学習者から入り、私も窓の外を見て「教室に参加する方たちは暖かい国の出身の人が多いで、休みにした方がいいだろう」と思いました。</p> <p>教室自体を休みにしたことを、休みの連絡をくれた女性にメールしたら、「私だけが休みじゃなくてよかった」とお返事をくれました。教室に興味を持って参加してくれているのかなと嬉しく思いました。</p>
-------------------------	---

33	電話対応	忘年会の幹事になって、電話でお店の人と交渉しよう!!
----	------	----------------------------

<背景>

忘年会シーズンが到来し、学習者の方と話していました。聞けば地区の婦人会役員をその年に任されていたのでした。日本語はかなり話せますが、電話で予約をする上でちょっと気になることがありました。それはお店の人が話す言葉は普通に自分達が話している言葉と違い、きっとそれは敬語を使っているの、それを知りたいとのことでした。

そこで担当したボランティアは自身の会社の忘年会や地区の忘年会の幹事等の経験から、予約時のモデル会話を考えて活動をされました。

<学習目標・ねらい>

電話で忘年会の申し込みができる・・・日時・人数・料理の品数・金額・支払い期日  
敬語を聞いて理解できる

会話

<準備するもの>

月刊タウン情報の忘新年会お店リストなど

<ゲスト> なし

活動の流れ	進行 (学習者の発話は「→」の後、※小文字は心得)	備考 (教材等)
<p><b>導入</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会社の行事は何がありますか。</li> <li>・会社の忘年会／新年会に行きますか。</li> <li>・会社の他にどんなグループで忘年会をしますか。 ※会社の行事を用いて、どんな行事(懇親会)を知っているか確認 ※どんなグループで忘年会をするか聞く</li> </ul> <p>→友達、学校の関係、隣組、地区</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どこで忘年会をしたことがありますか。</li> <li>・忘年会や新年会などをする時、誰がレストランの予約をしますか。誰が皆さんに連絡をしますか。その人を何と言うか知っていますか。</li> </ul> <p>→・・・／幹事</p>	<p>語彙確認： 行事、忘年会等、隣組／地区婦人会等</p> <p>語彙確認： 幹事</p>
<p><b>活動①</b> 申し込みできるか、まずやってみる</p> <p>サポーターと話す</p>	<p>※場面設定し、今持っている日本語でどんなふうに言うことができるかやってみる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今は11月下旬です。〇〇さんは地区婦人会の役員として忘年会をするので、お店に予約をします。</li> </ul> <p>※条件カード内容</p> <p>お店：駒ヶ根亭</p> <p>日時：12月15日(土)7時～9時</p> <p>人数：20名くらい</p> <p>料理：寄せ鍋</p> <p>金額：料理 1人4,000円</p> <p>支払：当日払い</p>	<p>提示： 条件カード</p> <p>語彙確認： 当日支払い その時に払う</p>

<p>まとめ① 発表する</p>	<p>※カード内容を確認した後、サポーターがお店の人になり、やりとりを試みる。 ※サポーターには店員の台詞のロールカードを渡し、それに沿って進める。</p> <p>※2 組ほど発表をしてもらう ※難しかったことを聞く、良かった所をフィードバック</p>	<p>配布： 店員のロールカード</p>
<p>活動② 表現を考える サポーターと話す</p>	<p>※次に店員の台詞が入ったシートを配布し、表現等を確認していく ※台詞の漢字のところは振りがなを振っておく</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お店の人が言った言葉です。読んで意味がわかりますか。 ※表現を確認していく ※尊敬語や謙譲語という動詞の形についてはあまり触れず、表現としての意味を伝え、理解することを中心に行う。聞かれたら、触れるくらいに留めるほうが無難</li> <li>・シートと条件カードを見て、どう話したらいいか、どんな言い方があるか、サポーターと話しましょう。できたら会話を練習しましょう。 ※シートの「あなた」のところに書いてもいいし、話すだけでもいい。やりとりができることが肝心なので、仮に表記がローマ字になっても構わない</li> </ul> <p>※店員台詞</p> <p>従業員：はい、駒ヶ根亭です。 あなた：「 従業員：ありがとうございます。 日時はいつでしょうか。 あなた：「 従業員：人数は何名様でしょうか。 あなた：「 従業員：少々お待ちください。・・・・・・・・ 大丈夫です。和室ですがよろしいですか。 あなた：「 従業員：失礼ですが、お名前をもう一度・・・。 あなた：「 従業員：料理は何にいたしましょうか。 あなた：「 従業員：ご予算はいかほどでしょうか。 あなた：「 従業員：料理のみで 4,000 円で、お飲物は別途ということになりますがよろしいでしょうか。 あなた：「 従業員：お支払いはどうされますか。当日お帰りの際にお願いたいですが、後日お支払いにお越しいただいても結構です。 あなた：「 従業員：ありがとうございます。</p>	<p>語彙確認：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日時 日にちと時間</li> <li>・何名様 何人</li> <li>・少々 少し</li> <li>・和室 畳の部屋</li> <li>・よろしいですか いいですか</li> <li>・何にいたしましょうか 何にしますか します 謙譲語</li> <li>・いかほど どのぐらい</li> <li>・別途 別にお金が必要 別に必要のかし こまった言い方</li> <li>・どうされますか どうしますかの 尊敬語</li> <li>・後日 あとで</li> <li>・お越しいただく 来てもらうの謙 譲語</li> <li>・ございましたら</li> </ul>

<p>まとめ② 発表する</p>	<p>人数等変更がございましたら前日までにご連絡ください。それでは、当日、お待ちしております。</p> <p>※その他：次のものは様子を見て提示するか決める</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 送迎有無の聞き方</li> <li>2. 飲み放題の聞き方</li> <li>3. 料理+飲み物で金額を確定する場合</li> </ol> <p>・では会話発表をお願いします。</p> <p>※2組ほどにやってもらう</p>	<p>あったらの尊敬語</p> <p>・お待ちしております 待っているの謙譲語</p>												
<p>終わりに 発表する</p>	<p>・最後に違う条件でお店に予約をする会話をしてみましょう。</p> <p>※条件カードを配って、内容をサポーターと一緒に確認する。</p> <p>※発表は全員にやってもらうが、時間や人数によって調節</p> <p>※よかった所、わかりにくい所などフィードバック</p> <p>※条件カード</p> <table border="0"> <tr> <td style="text-align: center;">A</td> <td style="text-align: center;">B</td> </tr> <tr> <td>日時：12月14日（金）</td> <td>12月22日（土）</td> </tr> <tr> <td>お店：高森亭</td> <td>中島亭</td> </tr> <tr> <td>料理：すき焼き</td> <td>会席料理</td> </tr> <tr> <td>金額：4,500円</td> <td>3,500円</td> </tr> <tr> <td>支払：当日払い</td> <td>後払い</td> </tr> </table> <p>※感想を発表する</p>	A	B	日時：12月14日（金）	12月22日（土）	お店：高森亭	中島亭	料理：すき焼き	会席料理	金額：4,500円	3,500円	支払：当日払い	後払い	<p>提示： 条件カードA、B</p> <p>語彙確認： すき焼き、懐石料理、後払い</p>
A	B													
日時：12月14日（金）	12月22日（土）													
お店：高森亭	中島亭													
料理：すき焼き	会席料理													
金額：4,500円	3,500円													
支払：当日払い	後払い													

<p>&lt;駒ヶ根 こぼれ話&gt;</p>	<p>接客用語は自身がその仕事に就かなければ使うことはないですが、聞いて理解できて対応できるというのも大切ですよね。今回のテーマで学習した後、地区の忘年会の予約でも使えるし、敬語表現を学べてよかったと感想を述べて嬉しそうに帰って行きました。</p> <p>何気ない話からニーズを広い、ボランティアの方の経験の引き出しにあるものを結びつけて活動をされたことはとてもすばらしいと思いました。</p> <p>すぐにこんなふうにはできなくても、いつもこんなふうにはできなくても、教室の場があって参加していると、知らず知らずのうちに発想が広がっていくのかも、と思いました。</p>
-------------------------	---



健康診断 問診票 (Kenkou shindan monshin hyou)

<p>うんどう しよくせいかつ しゆうかん 1.運動や食生活習慣について</p>	<p>(はい) ○</p>	<p>かんたんな ぶんしょうに かえてみましょう。(Kantan na bunsyou ni kaete mimasyou)</p>
<p>とく しおから す 特に塩辛いものが好きである。</p>		<p>しょっぱいものがすきだ。</p>
<p>ちようしよく め しゆう かいじよう 朝食を抜くことが週に3回以上ある。</p>		<p>あさごはんをたべないひが、しゆうに3かいじようある。</p>
<p>はたち とき たいじゆう いじよう ぞうか 20歳の時の体重から10kg以上増加している</p>		<p>はたちのときから、たいじゆうが10kgいじようふえた。</p>
<p>いち ぶん いじよう かる あせ うんどう しゆう かいじよう ねん いじよう じっし 1日30分以上の軽く汗をかく運動を週2回以上、1年以上実施している</p>		<p>1にち30ふんのうんどうを、しゆうに2かい、1ねんいじようつづけている。</p>
<p>いちじようせいかつ ほこう どうとう しんたいかつどう ouchi jikan いじよう じっし 日常生活において歩行または同等の身体活動を1日1時間以上実施している (同等の活動とは買い物・犬の散歩・部屋の掃除など)</p>		<p>1にち30ふんの ほこう、かいもの、さんぽ、そうじ などをしている。</p>
<p>おな ねんれい どうせい ひかく ある そくど はや ほぼ同じ年齢の同性と比較して歩く速度が速い</p>		<p>おなじとしのじよせいとくらべて、あるくのがはやい。</p>
<p>ねん たいじゆう ぞうげん いじよう この1年で体重の増減が±3kg以上あった</p>		<p>1ねんかんで、たいじゆうが3kg ふえた または へった。</p>
<p>しゆうしん まえ じかん いない ゆうしよく しゆう かいじよう 就寝前の2時間以内に、夕食をとることが週に3回以上ある</p>		<p>よるねるまえから2じかんいないに、ごはんをたべることがしゆうに3かいじようある。</p>
<p>ゆうしよくご かんしよく しよくいがい やしよく しゆう かいじよう 夕食後に間食(3食以外の夜食)をとることが週に3回以上ある</p>		<p>ゆうしよくをたべたあと、やしよくをたべることが、しゆうに3かいじようある。</p>
<p>すいみん きゆうよう じゆうぶん 睡眠で休養が十分とれない</p>		<p>ねても、つかれがじゆうぶんととれない。</p>
<p>ひと ひかく た そくど はや 人と比較して食べる速度が速い</p>		<p>ひととくらべて、たべるのがはやい。</p>

# 領 収 証

患者番号	氏 名
[REDACTED]	様

請求期間 (入院の場合)	年 月 日 ~ 年 月 日
平成	平成

受診科	入・外	領収書No.	発行日	費用区分	負担割合	本・家	区分
内科	外来	0012	平成25年6月13日	協会	30%	本人	

初・再診料	入院料等	医学管理等	在宅医療	検査	画像診断	投 薬
127点	点	225点	点	点	点	88点
注 射	リハビリテーション	精神科専門療法	処 置	手 術	麻 酔	放射線治療
病理診断	診断群分類 (DPC)	食事療養	生活療養	合計点数		
点	点	点	点	440点		

前回未収金	前回預り金
0円	0円

選定療養等	その他
(内訳)	
(内訳)	
(内訳)	
(内訳)	

保 険	保 險 (食 事)	保 險 外 負 担
合計	4400円	
負担額	1320円	
請求額合計	1320円	1320円

×10円

3,080円



[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

この領収証は再発行致しませんので大切に保管してください。

医 院

月30万円で仕事がない妻と学生の子2人、アパートぐらしの場合の保険料は？

国保		長野県協会健保		〇〇ンパス組合健保	
年換算	3,600,000	被保険者	14,775	被保険者	11,400
基礎控除	△ 330,000	会社負担	14,775	会社負担	14,100
所得割	3,270,000				
資産割	8.20%				
均等割り	4人				
平等割	18,500				
合計	21,100				
	363,240				
<b>保険料月額</b>	<b>30,270</b>		<b>29,950</b>		<b>25,500</b>

わたし くに けんこう ほけん について 書いてください。

I. 自分で考えて書きましょう。

～では、 ・ ～は

---

---

---

---

---

---

2. 隣の人と話して、直して書きましょう。

---

---

---

---

---

---

III. 発表するために、もう一度考えて書きましょう。

---

---

---

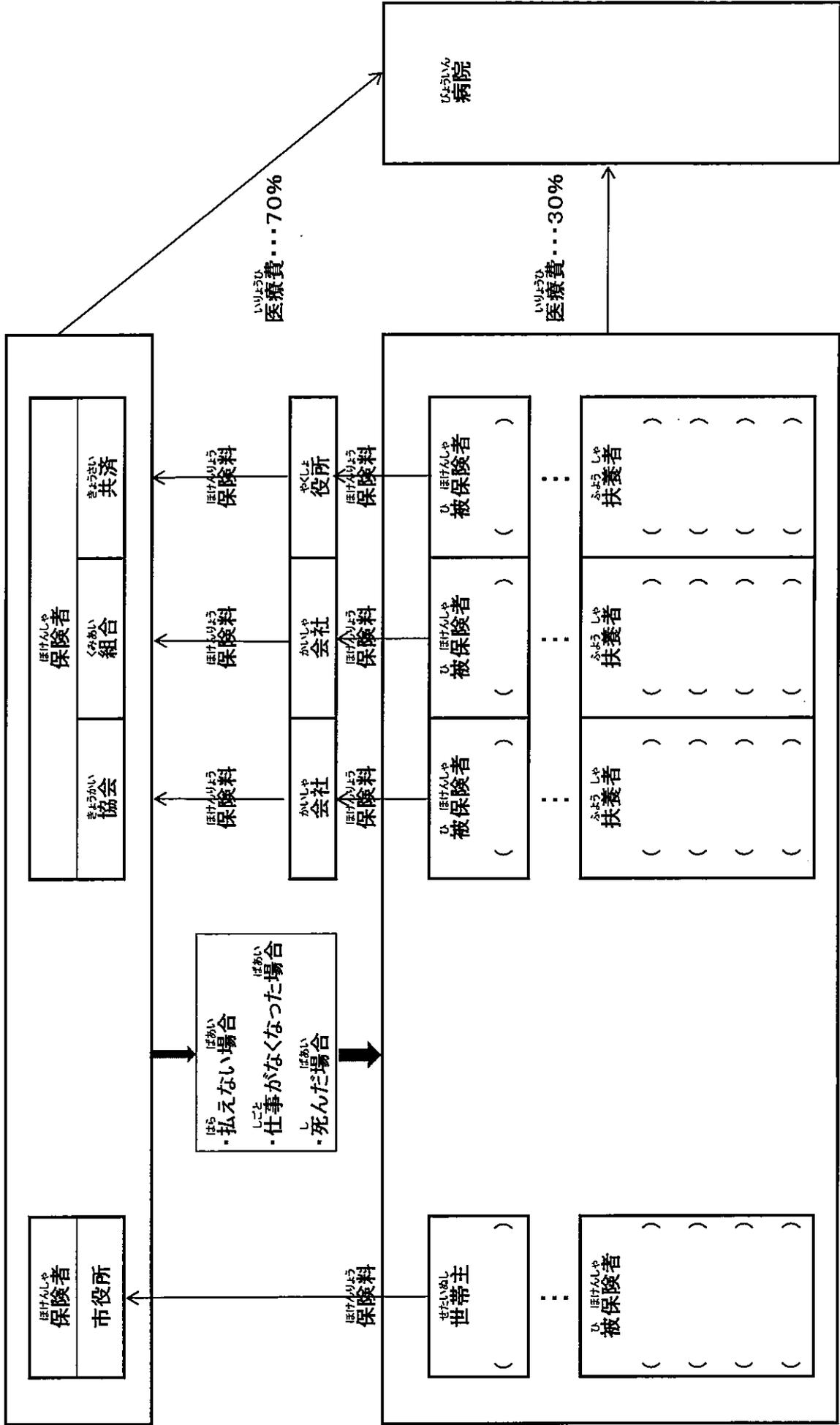
---

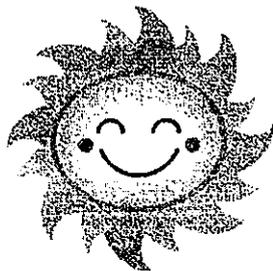
---

---



私の健康保険・・・( )に自分や家族の名前を入れましょう





# 熱中症の予防

☆7~8月がピークです！正しく理解して予防しましょう☆

## 1. 熱中症ってなあに？

暑いところや湿度の高い環境にいたために、

体の体温調節がうまくできなくなり、

体の中に熱がこもったままになる（体温が上がる）状態です。

こんな症状があったら  
熱中症を疑いましょう

めまい、立ちくらみ

筋肉痛

汗がとまらない

軽

頭痛、吐き気

体がだるい（倦怠感）

虚脱感 めまい、立ちくらみ

中

意識がない ふらつき

けいれん 高い体温である

呼びかけに対しても返事がおかしい

まっすぐには歩けない、走れない

重

## 2. どんなときに起こりやすい？

気温が高い日、湿度が高い・風が弱い日、体が暑さに慣れていない時 は

特に要注意。体調がすぐれないときにもなりやすい。

室内でも、熱中症になることがあります。

むしむしする  
じめじめする

### 3、高齢者が気をつけたいこと

熱中症患者のおよそ半数は高齢者（65歳以上）です！！

- ・暑いと感じにくくなる ・喉の渇きを感じにくくなる
- ・体の中の水分が少なくなる ⇒ 熱中症になりやすい！

### 4、熱中症を疑うときには…

#### (1) 涼しい場所へ避難

風通しのよい日陰、クーラーが効いている室内など

#### (2) 衣服を脱がせ、体を冷やす

うちわで扇いだり、氷嚢などをあてる

#### (3) 水分の補給

冷たい水、スポーツドリンクなど

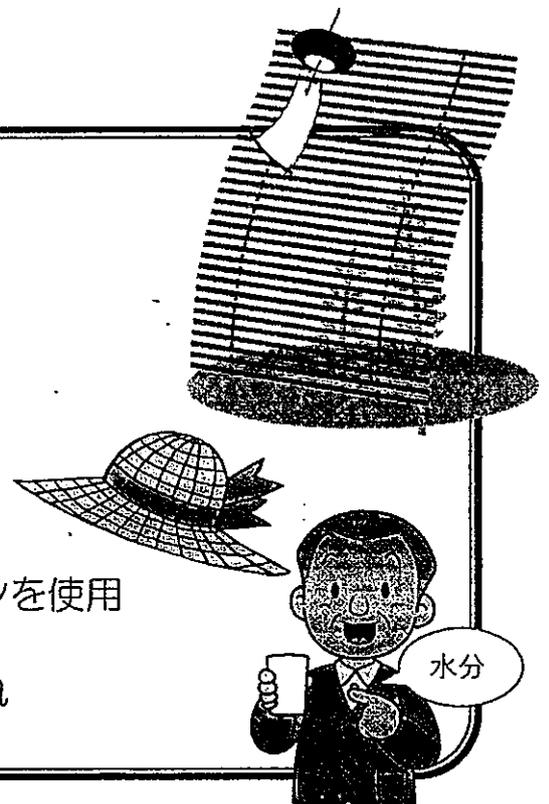
※意識がはっきりせず、自分で水分が摂れない人は、医療機関にかかること。

### 5、熱中症の予防法

- (1) 暑さを避ける …急に暑くなる日に注意！
- (2) 涼しい服装や帽子、日陰の利用
- (3) こまめな水分の補給 …喉が乾かなくても！

1日 1,5 リットルくらい。

- (4) 無理な節電はせず、適度に扇風機やエアコンを使用
- (5) お互いに配慮を…暑さの感じ方は人それぞれ



I. <sup>ねっちゅうしょう</sup>熱中症になったらどうなる？

危険度	症状	英語	中国語	ポルトガル語
軽	めまい	Giddiness	没有头	Vertigem
	立ちくらみ	It leaves and feels dizzy	晕立天黑	Tontice
	筋肉痛	Muscular pain	起来肌	Dor muscular
中	汗が止まらない	Sweat does not stop.	肉痛汗不停的	Suor não pára.
	頭痛	Headache	头痛	Dor de cabeça
	吐き気	Nausea	恶心	Náusea
	体がだるい	He feels languid.	体发倦的虚	Ele sente desfalecido.
	虚脱感	Despondency	脱感	Desânimo
	意識がない	It is unconscious.	意识的痉挛	Está inconsciente.
重	高い体温	High body temperature	高的体温	Temperatura de corpo alta
	けいれん	Spasm	意识已	Espasmo
	意識がもうろう	Consciousness is dim.	经硬焊料	Consciência é escura.

II. <sup>ねっちゅうしょう</sup>熱中症にならないためにはどうしたらいいですか？

- ① \_\_\_\_\_
- ② \_\_\_\_\_
- ③ \_\_\_\_\_

II. <sup>ねっちゅうしょう</sup>熱中症になった私を助けてください。<sup>わたし たす</sup>どうしたらいいですか？

- ① \_\_\_\_\_
- ② \_\_\_\_\_
- ③ \_\_\_\_\_

Q:でんわで こんなとき どうしますか。Aさんと Bさんは どういったら いいでしょうか。みんなで はなしましょう。

### 1. <けいたい 電話>

※Aさんと Bさんは にほんご きょうつの メンバーです。Bさんは これから こどもをおかえに いきます。

Aさん: でんわを かける	Bさん: でんわに での
Bさん ですか。Aです。	はい。
あの、こんどの にちようび、 にほんご きょうつの みんなで りょうりも ってきて、パーティーを しようって はなしなんです、 のみものも みんなが ってくるよう...	あ、はい。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">Bさんの こどもは 20分 まち</div>	
	

### 2. <いえの 電話>

※Aさんは となりぐみの ひとです。Bさんの ごしゅじんと はなしたいですが、Bさんが でんわに でした。ごしゅじんは ツタヤへ いったので、いま、いえに いません。

Aさん: でんわを かける	Bさん: でんわに での
あの、わたし、 となりぐみの ××ですが ごしゅじん は いますか。	はい、〇〇です。
	いま いません。
あ、そうですか。 またあとで かけなおします。	
	

3. <いえの電話>

※Bさんが でんわに でした。こんどは ごしゅじんは いえに います。でも すぐ でんわに できません。

Aさん: でんわを かける	Bさん: でんわに での
<p>あの××と もうしますが、ごしゅじんは いらっしゃ いますか。</p> <p>あ、じゃあ、またあとで かけなおします。</p>	<p>はい、〇〇です。</p> <p>あ、いま トイレに います。</p> 

<おまけ>こんなとき、どうしますか。

Q1. ようちえんの せんせい、しょうがっこう、ちゅうがっこうの せんせいから でんわで す。せんせいに さいしょに なんと あいさつを しますか。

せんせい: でんわを かける	あなた: でんわに での
<p>〇〇しょうがっこうの 1ねん 3くみの まつおかと も します。</p> 	<p>はい、〇〇です。</p>

Q2. つぎに せんせいが「〇〇くん、ねつが あるので、おかえに きてください」とい いました。あなたは こどもを おかえに いきます。せんせいに なんと いいますか。

せんせい: でんわを かける	あなた: でんわに での
<p>〇〇くん、ねつが あるので、おかえに きてくださ</p>	